



# モンゴル NGO ハンドブック



独立行政法人 国際協力機構（JICA）モンゴル事務所

NGO-JICA ジャパンデスク

2022年2月

## はじめに

平素より JICA の活動にご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

モンゴルでは 2003 年以降、65 件の草の根技術協力案件を実施してきており、市民間の草の根レベルの交流が盛んであることから、国際協力活動を行う日本の団体の支援及びモンゴルの NGO 等と JICA の連携促進を行うことを目的に、2021 年 10 月、JICA モンゴル事務所はモンゴル NGO-JICA デスクを開設しました。

モンゴルで国際協力活動を行いたいと考える日本の団体の皆様にとって、モンゴルで活動を共にする団体についての情報を入手するのは容易ではないと思われます。そこで、当事務所 NGO デスクでは日本の団体の皆様への情報提供を目的に、モンゴルで活動する現地 NGO についての情報を収集し、分野ごとにまとめた「モンゴル NGO ハンドブック」を作成しました。

本書では各 NGO の活動内容と連絡先を写真入りでまとめました。不十分な点もあるかとは思いますが、皆様がモンゴルで国際協力活動を行う際にご利用いただき、日本とモンゴルの国際協力活動の推進に、少しでもお役に立てることを期待しております。

尚、本書掲載内容は 2021 年 12 月時点での情報であること、JICA モンゴル事務所 NGO デスクが独自に取りまとめた情報であり、モンゴルの現地 NGO 団体すべてを網羅したものではないこと、JICA モンゴル事務所が推薦する団体ではないことにご留意ください。

最後に、2022 年は日本・モンゴル外交関係樹立 50 周年、JICA 海外協力隊事業 30 周年、JICA モンゴル事務所設立 25 周年でもあります。この記念すべき年を契機に、少しでも多くの団体の皆様から、モンゴルの発展に寄与するお力添えを頂けますと幸いです。

2022 年 2 月  
JICA モンゴル事務所  
NGO-JICA デスク

## 目次

はじめに	P. 1
第1章 モンゴル国概要	P. 4
第2章 JICA 国際協力活動スキーム	P. 6
第3章 モンゴルで国際協力活動を行う際の手続き	P. 9
第4章 モンゴル現地 NGO 団体紹介	P. 11
第5章 関連機関連絡先	P. 220
第6章 モンゴルにおける草の根技術協力案件一覧	P. 222

## 略語表

略語	英語	日本語
AIFO	Associazione Italiana Amici di Raoul Follereau	アイフォ/イタリアの NGO
APWLD	Asia Pacific Forum on Women, Law and Development	アジア太平洋女性法律開発フォーラム
AusAID	Australia Agency for International Development	オーストラリア国際開発庁
EU	European Union	欧州連合
GIZ	Deutsche Gesellschaft fuer Internationale Zusammenarbeit	ドイツ国際協力公社
HIV	Human immunodeficiency virus	人免疫不全ウイルス
IDLO	International Development Law Organization	国際開発法機構
ILO	International Labor Organization	国際労働機関
IOM	International Organization for Migration	国際移住機関
IPPF	International Planned Parenthood Federation	国際家族計画連盟
IUNS	International Union of Nutritional Sciences	国際栄養科学連合
JANIC	Japan NGO Center for International Cooperation	国際協力 NGO センター
JICA	Japan International Cooperation Agency	国際協力機構
KOIKA	Korean International Cooperation Agency	韓国国際協力団
MOU	Memorandum of Understanding	基本合意書
NGO	Non-Government Organization	非政府組織
NPO	Non-Profit Organization	非営利団体
NSO	National Statistics Office of Mongolia	モンゴル国家統計局
UNODC	United Nations Office on Drugs and Crime	国連薬物犯罪事務所
USA ID	United States Agency for International Development	アメリカ合衆国国際開発庁
WHO	World Health Organization	世界保健機関

## 第1章 モンゴル国概要



出典：モンゴルビジネス環境ガイド 2020 年版  
[guide2020.pdf \(jica.go.jp\)](https://www.jica.go.jp/guide2020.pdf)

### 1. 一般事情

面積	156 万 4,100 平方メートル（日本の約 4 倍）
人口	335 万 7,542 人（2020 年、モンゴル国家統計局（以下 NSO））
首都	ウランバートル（人口 159 万 7,290 人）（2020 年、NSO）
民族	モンゴル人（全体の 95%）及びカザフ人等
言語	モンゴル語（国家公用語）、カザフ語
宗教	チベット仏教等（社会主義時代は衰退していたが、民主化（1990 年前半）以降に復活。1992 年 2 月の新憲法は宗教の自由を保障。）
政体	共和制（大統領制と議院内閣制の併用）
元首	大統領（2022 年 1 月現在は 2021 年 6 月 25 日に就任したフレルスフ大統領）
議会	国家大会議（一院制、定員 76 名、任期 4 年）
政府	首相/内閣（2022 年 1 月現在は 2021 年 1 月 27 日オユーンエルデネ首相就任）
外交	モンゴルの外交方針の基本は隣国である中国とロシアとのバランスの取れた外交関係を展開し、両隣国に過度に依存することなく「第三の隣国」との関係を発展させることであり、日本との関係は特に重視されている。

## 2. 略史

年月	略史
1911年	辛亥革命、中国（清朝）より分離、自政府を樹立
1919年	自治を撤廃し中国軍閥の支配下にはいる
1921年7月	活仏を元首とする君主制人民政府成立、独立を宣言（人民革命）
1924年11月	活仏の死去に伴い人民共和国を宣言
1961年	国連加盟
1972年2月	日本とモンゴル外交関係樹立
1990年3月	複数政党制を導入、社会主義を事実上放棄
1992年2月	モンゴル国憲法施行（国名を「モンゴル国」に変更）

出典：外務省ホームページ

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/mongolia/index.html>

## 3. その他

通貨	トゥグルグ（MNT）
レート	ドル対円 1USD=114.674¥ 現地通貨 MNT 対円 1MNT=0.004377¥ 現地通貨 MNT 対ドル 1USD=2,619.92MNT （2022年1月 JICA 独自換算レート）
平均月収	131万4900 トゥグルグ（2021年6月 NSO）
平均寿命	男性 66.71 歳、女性 76.22 歳（2020年、NSO）
人口構造	0～14 歳（31.5%）、15～64 歳（64.4%）、65 歳以上（4.1%） （2021年 NSO）

## 第2章 JICA 国際協力活動支援スキーム

### 1. 「草の根技術協力事業とは」

草の根技術協力事業は、国際協力の意志のある日本の NGO/CSO、地方自治体、大学、民間企業等の団体が、これまでの活動を通じて蓄積した知見や経験に基づいて提案する国際協力活動を、JICA が提案団体に業務委託して JICA と団体の協力関係のもとに実施する共同事業です。

JICA が政府開発援助 (ODA) の一環として行うものであり、開発途上国の地域住民の経済・社会の開発または復興に寄与することを目的としています。多様化する開発途上国のニーズに対応すべく、草の根レベルのきめ細やかな協力を行うことを通じて国内外の様々なパートナーと連携し、持続可能な開発目標 (SDGs) 達成に積極的に貢献することを JICA は考えています。

近年では、開発途上国への貢献に加えて、草の根技術協力事業の実施を通じて培った経験を踏まえ、日本の地域社会が直面する課題解決や、地域の活性化にも役立つ取り組みが期待されています。

草の根技術協力事業は、1. 市民の力による開発への貢献が質・量ともに拡大する。2. 途上国や日本の地域の課題解決への理解・参加が促進される。この 2 つの柱の下で実施しています。JICA の在外拠点 (事務所及び支所) が設置されている ODA 対象国が本事業の対象国となります。

草の根技術協力事業における重要な視点は、次の 3 つです。

- ① 日本の団体が主体的に行う、人を介した「技術協力」であること。
- ② 開発途上国の地域住民の生活改善・生計向上に役立つ事業であること。
- ③ 日本の市民の国際協力への理解・参加を促す機会となること。

事業対象分野・課題についての定めはありませんが、次のような分野・課題での事業提案が期待されます。

- ・脆弱性の高い人々への支援 (子ども・障害者・高齢者等)
- ・市民社会の育成・生計向上
- ・コミュニティ開発
- ・人材育成 (ノンフォーマル教育、教員養成、教育環境改善、職業訓練等)
- ・ジェンダーの主流化・ジェンダーの平等を目指したエンパワメント等
- ・保健医療 (栄養改善、感染症対策等)
- ・防災の主流化 (災害に強いコミュニティづくり等)

## 2. 草の根技術協力事業の事業形態

草の根技術協力事業の事業形態は、次の 3 つです。応募の手続きの詳細は、各都道府県を管轄する JICA 国内機関へお問い合わせください。

- ① 草の根協力支援型
- ② 草の根パートナー型
- ③ 地域活性型

### ①草の根協力支援型

- ・国内での活動実績はあるものの、開発途上国への支援実績が少ない NGO 等の団体を対象にした事業形態です。
- ・支援型の事業実施を通じて提案団体が開発途上国への国際協力の経験を積み、事業終了後も国際協力の担い手として活躍することが期待されます。
- ・対象となる団体は、国際協力の経験が少ない NGO 等非営利団体、大学、公益法人です。海外での経験年数は問いませんが、団体の「組織」としての能力や継続性を判断する目安として、国内外での活動経験が2年以上あることが応募の資格要件となります。
- ・事業規模は総額 1,000 万円以内、期間は3年以内です。
- ・募集は年1回です。

### ②草の根パートナー型

- ・開発途上国への支援において既に豊富な経験と実績を有している NGO 等の団体を対象にした事業形態です。
- ・提案団体のこれまでの経験や強みを活かし、より開発途上国の課題解決に寄与する事業を展開することが期待されています。
- ・対象となる団体は、国際協力の経験が豊富な NGO 等非営利団体、大学、公益法人等です。草の根パートナー型については、日本の法人格を要していること、且つ開発途上国・地域への国際協力活動の実績が2年以上あることを資格要件とします。
- ・事業規模は総額 1 億円以内、期間は3年以内です。

### ③地域活性型

- ・地方公共団体が主体となって提案・実施する事業形態です。
- ・地方公共団体や当該地域の団体の知見・経験・技術等を活用した海外展開と、途上国の開発課題の解決との両立を目指し、途上国の貢献だけでなく日本の地域や経済の活性化にも貢献する win-win の関係を築くことが期待されています。
- ・対象となる団体は、地方公共団体、地方公共団体と連携する団体等です。地方自治体から事業を提案していただきます。なお、実際の事業実施は地方自治体自ら行うか、もし



くは地方公共団体が実施を適当と判断したうえで指定する団体（NGO、民間企業等）と連携することも可能です。

- ・ 事業規模は総額 6,000 万円以内、期間は 3 年以内です。

### 3. 事業の実施

各国の事情に応じて、相手国政府等からの了承の取付及び実施予定国での NGO 登録を行う必要があります。了承の取付方法として、口上書交換、M/M (Minutes of Meeting 会議事録、ミニッツ)、R/D (Record of Discussion 合会議事録)、JICA 在外事務所からの通知の発出、等があり、この方法により日本側と相手国関係者間で事業の実施について合意します。いずれの方法を採用するかは相手国関係者の意向を踏まえて決定します。

モンゴルの場合、相手国の了承取付形態は M/M で、日本側実施団体、モンゴル側援助窓口（大蔵省開発金融局長）及びモンゴル側実施機関の三者で M/M を締結すれば事業を実施出来ることから、所管省庁の承認は必ずしも必須ではありません。しかし、事業の持続性などに鑑み、M/M のサイナーに所管省庁を含めることを強く奨励します。

NGO 登録については、モンゴル側カウンターパート機関が公的機関である場合は、本邦 NGO 団体の NGO 登録は必要ではありません。

### 4. NGO-JICA ジャパンデスク

「NGO-JICA ジャパンデスク」は、開発途上国の現場で国際協力活動を行う日本の NGO・NPO、公益法人、教育機関、自治体等の団体の支援やこれら団体と JICA の連携促進のため、アジア・太平洋・アフリカ・中南米の 25 カ国に窓口を設置し、日本の NGO 等による国際協力活動をサポートしています。

JICA モンゴル事務所の NGO-JICA ジャパンデスクの主な業務内容は、次の 2 つです。

- ・ 本邦/現地 NGO の現地活動・情報収集・情報交流・広報支援
- ・ 草の根技術協力事業等 NGO と JICA 事業や JICA 以外の関係機関との連携支援

※いずれも詳細は以下をご覧ください。

[草の根技術協力事業](#) | [事業ごとの取り組み](#) | [事業・プロジェクト - JICA](#)

### 第3章 モンゴルで国際協力を行う際の手続き

#### 1. モンゴルで外国 NGO が支部・事務所を設立する際に必要な手続き

モンゴルで外国 NGO が国際協力を行う際の手続きを管轄するのは、外国人管理局（イミグレーション）です。モンゴル国において国際・外国 NGO が支部・事務所を登録し、活動許可の取得、許可の延長、支部・事務所を閉鎖する場合は、外国人管理局にて手続きを行います。国際・外国 NGO がモンゴルで活動を行う許可について、外国人管理局が 60 日以内に関係機関から意見を聞き、幹部会議で決定し、通知します。

以下に概要を記載しますが、詳細は外国人管理局のホームページからご確認ください。

モンゴル国外国人管理局（イミグレーション）HP

（モンゴル語）<http://mn.immigration.gov.mn/citizenship/5>

（英語）<http://en.immigration.gov.mn/citizenship/5>

外国人管理局によれば、モンゴルで国際・外国 NGO が支部・事務所を開設し活動する際には、以下の書類が必要と案内されています。

#### モンゴルで国際・外国 NGO が支部・事務所を開設し活動する際に提出する書類

登録に必要な書類

1. 願書
2. 支部・事務所開設許可申請書
3. 支部・事務所開設について本部機関代表幹部の決議書
4. 本部機関規則の写し/ページごとに当該機関の押印、承認済みのものであること/
5. 本部機関幹部についての紹介
6. 本国の法律に基づいて登録された許可書の写し
7. 支部・事務所の資金源についての証明書/当該機関が利用している銀行の証明書/
8. 支部・事務所の活動計画、実施期間、予算
9. 支部・事務所代表についての申請書/写真1枚/
10. 支部・事務所代表に本部機関が与えた委任状
11. 支部・事務所代表の外国パスポートあるいは国民証
12. 支部・事務所代表の本国警察機関が発行した犯罪歴証明書
13. 開設する支部・事務所規則
14. 全職員数

留意点：

- ・支部・事務所の許可を得るのに上記書類をモンゴル語に翻訳し、翻訳所にて承認を

受け、3部写しを取ることに

- ・申請書に支部・事務所名をモンゴル語に翻訳し、キリル文字で記載すること
- ・国家登録を扱う管轄行政機関に登録されている他の支部・事務所、法人名と重複しないこと

モンゴルで活動を行う支部・事務所開設許可は1年間の期間で与えられます。

#### 支部・事務所許可の期間延長

許可の期間が終了する45日前に期間延長願いを外国人管理局に提出します。

1. 許可の期間延長についての願書
2. 行政単位であるバグ、ホロー、区長からの住所証明書
3. 税金電子報告システムから得た証明書
4. 許可証明書/原本/
5. 活動分野ライセンスの写し
6. 活動報告
7. 社会保険料支払い手帳の写し、あるいは管轄地区の社会保険部発行の全職員の社会保険料支払い証明書
8. 協力している行政機関、プロジェクト、プログラム実施機関の証明書
9. 次年度の実施計画
10. 幹部が承認した予算
11. 収入・支出バランス

モンゴルで活動を行う支部・事務所の許可を2年までの期間で延長し、手数料法に記された手数料を支払った証明書に基づき、許可証明書が与えられます。

#### 2. モンゴルの現地 NGO の設立・登録に必要な手続き

モンゴル側カウンターパート機関となる現地 NGO が公的に NGO 登録する場合は、国家登録局に登録する必要があります。詳細はモンゴル国国家登録局ホームページからご確認ください。

モンゴル国家登録局 HP (モンゴル語)

<http://burtgel.gov.mn/archive/index.php/2009-2018-03-20-01-23-34>

## 第4章 モンゴル現地 NGO 団体紹介

モンゴル国家登録局には、2021年8月25日時点で26,441のNGO団体が登録されています（出典：2021年12月31日付けIkon.mnウェブサイト掲載記事）。1998年の登録団体数が1,075団体であったことから、NGO団体の数は20年ほどで20倍以上に増えていることがわかります。

しかし、これら登録されているNGO団体すべてに活動実態があるわけではなく、また外国語学習センター、商業施設の組合、趣味愛好家グループなども含まれています。

そのため、JICAモンゴル事務所では継続的な活動実態があり、JICAの支援事業に結びつく活動を行っている団体に情報提供を呼びかけ、回答のあった73団体をこのハンドブックに掲載することにしました。

	活動分野	NGO 団体名	ページ
1	障害者支援 (19 団体)	ユニバーサルプロGRESSセンター	14
2		モンゴル聴覚障害者国家協会	18
3		モンゴル手話通訳者協会	20
4		モンゴル自閉症協会	24
5		モンゴルダウン症協会	26
6		モンゴル障害者自由労働組合	230
7		モンゴル車椅子利用者国家協会	34
8		モンゴル視覚障害者国家協会	37
9		エネレリン・トゥーチャー	39
10		エールテイ・ユルトウンツ	44
11		We can MN 協会	48
12		サインサイズセンター	51
13		モンゴル障害者協会	54
14		DET フォーラム	58
15		バトエグシグレン	61
16		ハンウール自立生活センター	63
17		モンゴル視覚障害青少年協会	67
18		サルヒチ・ショボー・センター	71
19		障害児親の会	75
20	子ども、女性、支 援 (22 団体)	ラントーン・ドヒオ	79
21		フルフン・ズルフ	81
22		セーブ・ザ・チルドレン・モンゴル事務所	84

23		暴力反対国家センター	88
24		ボルトグシニィ・ポドル	90
25		Open window of future	95
26		ナル・サル・オユー	97
27		ウーマン・リーダー・ファウンデーション	98
28		思春期世代の発達センター	101
29		女性、子ども開発センター	105
30		リベラルウーマン知識基金	106
31		モンゴル女性労働支援協会	110
32		わたしの家協会 NGO 所属「わたしの家」孤児院	114
33		モンゴル SOS 子どもの村	117
34		モンゴル女性法律家協会	119
35		フグジリーン・ヘルヘー	122
36		児童発達支援センター	124
37		モンゴル女性基金	126
38		社会パートナーシップネットワーク	128
39		モンゴル女性生活センター	130
40		バダムリャンファ子どもセンター	133
41		よい未来のために NGO	136
42	教育	モンゴル教育協会	137
43	(4 団体)	ハイル・エルデム・ビリグ	139
44		Mongolian Association of Lesson Study (MALS)	141
45		国民教育センター	144
46	地域開発	トルゴイト地域開発センター	148
47	(3 団体)	シネレグ・トウルフル開発文化センター	150
48		ウールクラフト支援センター	152
49	自然環境	モンゴル自然環境国民委員会	155
50	(4 団体)	WASH Action of Mongolia	158
51		自然環境健康センター	160
52		Institute for Future	162
53	麻薬、依存症	麻薬・薬物から国民を守る会	165
54	(2 団体)	サンライズ・ハーフウェイ・ハウス福祉サービスセンター	169
55	農業	モンゴル養蜂家協会	172
56	(2 団体)	モンゴル農業進歩協会	174

57	人権保護	人権開発センター	177
58	(3 団体)	男女平等センター	180
59		トゥゲーマル権利開発 NGO	181
60	ボランティア (1 団体)	ボランティア開発センター	184
61	保健医療 (13 団体)	心理学国家センター	187
62		ウブディス心理学センター	191
63		イウェール・ツォグツ開発センター	193
64		モンゴル家族の幸せ協会	195
65		モンゴル放射線医学協会	197
66		モンゴル栄養士協会	199
67		モンゴル神経学協会	201
68		モンゴルアートセラピー専門協会	204
69		モンゴル麻酔科医協会	208
70		オルビス国際機関モンゴル支部	209
71		モンゴル看護師協会	211
72		モンゴル助産師協会	216
73		レインボーチルドレン	219

団体名	ユニバーサルプログレスセンター
設立年	2010 年
住所	ウランバートル市バヤンゴル区第 2 ホロー、警察 58—0
電話番号	976-76015800, 976-99856665
E-mail	Info.upmilc@gmail.com
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/MILC.TugeemelKhugjil">https://www.facebook.com/MILC.TugeemelKhugjil</a>
代表者名	Ch. ウンドラフバヤル
活動内容	<p>ユニバーサルプログレスセンターは、障害者の自立生活支援、すべての人に配慮したアクセスビリティ環境整備、障害者の能力向上を目的として活動を行っている NGO です。</p> <p><b>活動内容:</b></p> <p><b>自立生活支援プログラム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 個別支援サービス</li> <li>● 障害者向け相談、カウンセリング</li> <li>● 自立生活プログラム</li> </ul> <p><b>社会参加支援プログラム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 啓発活動</li> <li>● 就労支援</li> <li>● 調査、モニタリング</li> <li>● メンバー開発</li> <li>● バリアフリー普及アドバイス、セミナー</li> </ul> <p><b>教育プログラム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 平等な教育政策支援</li> <li>● セミナー開催</li> <li>● カウンセリング</li> </ul> <p>ユニバーサルプログレスセンターは、メンバーによる会議、理事会、監査委員会、実施部、プログラム部などの構成で活動を行っています。決定組織の 51%が障害者であるという規則があります。</p> <p>職員は常勤職員 10 名、非常勤職員 15 名の全 25 名です。</p>
日本・各国との協力状況	<p>設立以来、障害者国民社会団体と継続的に協力してきました。</p> <p>また、アジア諸国の「ココロザシ」ネットワークのメンバーです。</p>
JICA との協力状況	<p>「ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト」(DPUB) でトレーナー育成プログラム、日本における調査、実施などで協力しています。</p>



JICA 海外協力隊の方々がユニバーサルプログレスセンターの活動に参加しています



スファートル広場にて障害者の権利を訴えました





日本のメインストリーム協会と行った共同セミナーの様子



ユニバーサルプログレスセンターオフィスにて、ボランティアチーム



アジア障害者団体の「コロロザシ」ネットワーク活動

団体名	モンゴル聴覚障害者国家協会
設立年	1978 年
住所	ウランバートル市スフバートル区第 11 ホロー、警察通り、リハビリテーション・職業訓練センター第 2 棟
電話番号	976-94050530
E-mail	deaf.mongolia@gmail.com
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/mgldeaf">https://www.facebook.com/mgldeaf</a>
代表者名	A. エンフータル
活動内容	<p>私たちの団体は、モンゴルの聴覚障害者の非政府組織として最初に設立された団体で、モンゴルの聴覚障害者のために設立されました。</p> <p>モンゴル聴覚障害者国家協会は、国民の権利を守り、聴覚障害者の発展、健康、教育、文化、スポーツ活動を包括的に行うだけでなく、政府及び非政府組織との協力を強化して活動することを目的としています。</p>
日本・各国との協力状況	日本の聴覚障害者協会、Hippon Foundation、The Japan Foundation と情報交換、文化交流、経済支援協力を望んでいます。
JICA との協力状況	JICA のモンゴル国障害者就労支援制度構築プロジェクト（DPUB2）と協力しています。





1978年設立当初の写真



会員の集合写真

団体名	モンゴル手話通訳者協会
設立年	2011 年
住所	ウランバートル市スフバートル区第 10 ホロー、イフトイロー、44 番棟 2 階 6 号室
電話番号	976-70001220, 976- 99624411
E-mail	Masli.mongolia@gmail.com
URL/Facebook	<a href="http://www.masli.mn">www.masli.mn</a> , <a href="https://www.facebook.com/MASLI.MN">https://www.facebook.com/MASLI.MN</a>
代表者名	L. ソヨルマー
活動内容	<p>モンゴル手話通訳者協会は、聴覚障害者が社会に平等な権利で参加し、自立して生活し、学び、就労し、コミュニケーションする際に、手話通訳サービスを行う目的で 2011 年に設立されました。同協会は 2014 年 12 月に当時の人口開発社会保障省の許可書を取得し、2013 年に世界手話通訳者協会の常任団体として加盟しました。</p> <p>モンゴル手話通訳者協会は、教育科学省、労働社会保障省、警察庁などの政府及び非政府の約 40 の機関と手話通訳サービスを行う提携を結んでいます。また、モンゴル手話通訳者協会は聴覚障害者の社会団体、その他障害者の NGO と協力しています。</p> <p>モンゴル手話通訳者協会メンバーの通訳者たちは、専門・会員通訳者、実習生通訳者というレベル別で通訳者を訓練し、理事会に聴覚障害者会員がいます。通訳者らは「手話通訳者の道理規則」を固守し、活動しています。</p> <p>モンゴル手話通訳者協会は、2013 年から聴覚障害者教育 NGO と協力して通訳者を育成しています。現在、モンゴル手話通訳者協会で 11 人の手話通訳者が常勤職員、契約職員として勤めています。</p> <p>2020 年にモンゴル手話通訳者協会は、聴覚障害者に遠隔コミュニケーションサービスを普及させ、手話ビデオフェイスブックアドレスでオンライン通訳サービスを開始し、2021 年から労働社会保障省と共同でオンライン通訳サービス <a href="http://www.duudlaga.mn">www.duudlaga.mn</a> を開始しました。</p>
日本・各国との協力状況	世界手話通訳者協会の常任メンバーであり、モンゴルを代表する手話通訳者団体です。同協会の日本及びアジアの加盟団体と協力し、聴覚手話通訳者協会と協力覚書を結んでいます。
JICA との協力状況	<p>2021 年から「障害児のための教育改善プロジェクトフェーズ 2」(START2)の一環で、聴覚障害児が義務教育学校で手話通訳サービスを通じて共に学ぶ活動を実施しています。私たちはこれまでに、聴覚障害児教育で「2 つの言語方法」プロジェクトを 2~5 年間、聴覚障害教育 NGO と共に実施しました。</p> <p>このプロジェクトの成果として、聴覚障害がある 2 名の生徒が第 29 番小学校で「2 つの言語方法」で学んだあと、6 年生から義務教育学校の第 16 番学校に転校しました。このようにモンゴル手話通訳者 NGO は手話通訳サービスを行い、すべての授業を手話通訳で行っています。</p> <p>聴覚障害児の早期診断プログラム、就学事前教育、初等教育を手話と書き言葉で習得するのに、中等教育から義務教育学校でコーディネーターサービス通訳を介して学ぶ機会を試しています。このプロジェクトの実施により、聴覚障害児が</p>

平等に共に学ぶシステムを支援する教師・通訳者の数、雇用の需要を明らかにし、システムに盛り込むことを目的としています。



モンゴル手話通訳者協会と労働社会保障省共同の [www.duudlaga.mn](http://www.duudlaga.mn) オンライン手話サービスチーム





手話通訳者 P. Сайнбаяр氏



手話通訳者 G. Аяндаг氏



手話通訳者 I. ボロルマー氏



手話通訳者育成セミナー



団体名	モンゴル自閉症協会
設立年	2014 年
住所	ウランバートル市バヤンゴル区第 3 ホロー、ドンドゴル通り、警察 2 タウン 30A 棟 32 号室
電話番号	976-91859191
E-mail	autismassociationmongolia@gmail.com
URL/Facebook	Autism Association of Mongolia
代表者名	
活動内容	<p>モンゴル自閉症協会は、自閉症の子を持つ保護者の提案で設立され、ボランティアによって活動を行っている NGO です。保護者のために、本と情報を準備し出版・発信し、カウンセリング、セミナーを開催しています。また、国内外の政府及び非政府組織と協力し、社会に自閉症についての正しい、ポジティブな理解を広めるために活動しています。</p> <p>私たちは特別支援教育を受けている自閉症の子どもたちの教育を改善するために、ウランバートル市と地方の特別支援学校の生徒向けにリラックスルーム、教室を設け、教師たちに研修を行い、本、ハンドブック、資料を提供してきました。</p> <p>また、自閉症の子どもたちが平等な教育を受ける機会を増やすことを重視し、教師向けハンドブック「自閉症の子どもたちに平等な教育を」を作成・出版し、モンゴルのすべての教師たちに広め、試してもらっています。</p>
日本・各国との協力状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アメリカのフォーブライイトプログラムの専門講師を招待し、平等な教育についての研修を開催しました。</li> <li>● アメリカのイリノイ大学の行動専門家教師を招待し、保護者にセミナー、カウンセリングを実施しました。</li> <li>● カナダ基金の支援で、地方の特別学校の生徒たち向けのプロジェクトを実施しました。</li> <li>● オーストラリア政府の支援で、ウランバートル市の特別学校で、自閉症の生徒たちが学びやすい環境を作るプロジェクトを実施しました。</li> <li>● Zonta 国際機関の支援で母親たちにセミナーを開催し、自閉症の子どもたちが学ぶ資料を出版しました。</li> <li>● 日本の Sport for Tomorrow 団体の支援で、モンゴルのパラリンピック卓球チームの卓球台、ユニホーム、必要品を提供し、試合を開催しました。</li> <li>● 日本の自閉症児東田直樹君の絵本「自閉症の僕が跳びはねる理由」を翻訳出版しました。</li> </ul>
JICA との協力状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>● JICA の障害児のための教育改善プロジェクト（START）と協力し、同案件の専門家から研修、アドバイスを受けました。</li> <li>● JICA の障害児のための教育改善プロジェクト（START）と書籍「自閉症児と保護者が質問する一般的問題」を共同出版しました。</li> <li>● JICA の障害児のための教育改善プロジェクト（START）と「自閉症」ビデオ授業を作成する際に協力しました。</li> <li>● JICA の障害児のための教育改善プロジェクト（START）の子どもの成長の遅れをなくす早期段階の参加「ポルテージ」プロジェクトをモンゴル</li> </ul>

	<p>で根付かせ普及させるのに、パートナー的に活動しました。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● JICA モンゴル事務所の支援ですべての郡、地区の専門家らに「自閉症についてのハンドブック」を送付しました。</li><li>● JICA モンゴル事務所の協力で、遠隔地の5県の家族に調査、カウンセリングを行いました。</li><li>● JICA モンゴル事務所の支援で「自閉症について」ビデオ授業シリーズを作成しました。</li></ul>
--	---

団体名	モンゴルダウン症協会
設立年	2007 年
住所	子ども開発センター ウランバートル市ハンウール区第 15 ホロー、ホルド地区ラピドハルシ、マハトマ ガンディ通り、28 棟 1 号室 職業訓練センター（オフィス） ウランバートル市スフバートル区第 1 ホロー、平和大通り 17、ゾリグ基金柵内
電話番号	976-70009688, 976-99116663, 976-99844884
E-mail	321dsamongolia@gmail.com
URL/Facebook	DSAMmn
代表者名	B. ガンゾリグ、B. ナランジャルガル
活動内容	<p>モンゴルダウン症協会は、保護者の提案で 2007 年に設立された非営利、非政府組織で、首都及び地方で約 600 名のメンバーが共に活動しています。協会の主な目標のひとつは、知的障害の一種であるダウン症の子どもとその家族の権利を保護し、成長を支援し、社会参加の機会を提供するために、すべての人々に共通理解を届けることです。</p> <p><b>私たちの目的:</b>ダウン症の人々の発達、権利保護、ダウン症を社会でポジティブに理解してもらうことを手伝えること。</p> <p><b>ビジョン:</b>ダウン症の国民が社会活動に平等に参加し、モンゴル国の納税者として自立できるようにすること。</p> <p>私たちは設立以来、積極的に活動を行い、アジア太平洋ダウン症協会正式メンバーであるだけでなく、国際的に著名な団体の代表理事投票権所有団体に選ばれています。私たちは世界ダウン症協会のメンバーで、国連のニューヨーク本部、ジュネーブの本部に世界ダウン症の日に招待され、スピーチをし、国際的に積極的に活動しています。</p> <p>ダウン症とは何か、その特徴、早期発見、発達段階、教育、メンタルについてモンゴルで不足している知識を保護者と社会に与え、ダウン症児に接する方法を提供し、ポジティブな社会の傾向、活動、正しい理解を与える目的で、近 10 年間国内外で様々な動画を作っています。</p>
日本・各国との協力状況	世界ダウン症協会、アジア太平洋ダウン症協会、ポーランド大使館、アジア基金、JICA
JICA との協力状況	<p>モンゴルダウン症協会は設立以来、日本のダウン症協会、ボランティア団体職員、学術研究者、医者と親密に協力してきた歴史があります。私たちの協会の幹部、教師、医者、保護者が何度も日本を訪問し視察したほか、日本から特別専門ボランティア2名を招待し、モンゴルで2年間活動し、特別教育分野に多大な貢献をしました。</p> <p>モンゴル・日本の友好関係、技術協力がこの 50 年近く発展し、日本がモンゴルに行う支援の枠組みが年々拡大し、モンゴルのすべての分野が含まれました。このうちの一つが、モンゴル人専門家が短期・長期の研修、技術セミナーに参加していることです。これらの研修を JICA が実施し、1968 年からモンゴル政府機関の公務員の研修参加が始まりました。様々な分野の 2900 名近くが、日本政府の 100%奨学金で留学しています。</p>

協会のガンゾリグ会長、バトツェツェグ元理事長らは JICA の「地域活動としての知的・発達障害者支援」課題別研修に参加し、日本、カンボジア、タイの優秀な経験をモンゴルに普及させ、研修の過程で発見した知識、経験を母国で実施することを目的に活動しています。これらの協力、パートナーシップの一環で、モンゴルダウン症協会から保護者向けのハンドブック、専門家らのアドバイスを載せた小冊子を出版し、JICA モンゴル事務所及び日本研修生帰国同窓会がモンゴル国の隅々まで配布する活動を支援したことに、深く感謝を申し上げます。この本が保護者だけでなく、教師、医師、ソーシャルワーカー、ボランティアの方々の欠かせない本になったと信じています。

新型コロナウイルス感染拡大によるロックダウンの困難な時期に保護者、教師、医師、ソーシャルワーカー、ボランティア、マスコミの各分野の方々向けにビデオ授業シリーズを用意し、オンラインで協会のすべてのメンバー及び社会に広める活動を成功裏に行いました。

2021 年には国際障害者デーに合わせて、ダウン症について正しい知識と情報を社会に広め、JICA と協力実績を社会に紹介するために、ウェブメディアにインタビュー記事掲載を共同で行いました。

現在、JICA のモンゴル国障害者就労支援制度構築プロジェクト (DPUB2) と協力しています。







団体名	モンゴル障害者自由労働組合
設立年	1999 年
住所	ウランバートル市バヤンゴル区第 2 ホロー第 26 番棟
電話番号	976-99152896,976- 89152896.,976-70052530
E-mail	Enkhee_0910@ yahoo.com
URL/Facebook	
代表者名	L. エンフバヤル
活動内容	<p>モンゴル障害者自由労働組合は、障害者の労働権利、それに関連する一般的権益を保護し、自立的に活動を行っている NGO です。</p> <p>同組合は 1999 年 12 月 3 日に設立され、ウランバートル市の 9 つの区、21 の県で労働組合顧問国家支局によって、全国で活動を継続的にを行っています。</p> <p>モンゴル障害者自由労働組合の国家支局長の 68%は女性で、32%は男性の幹部であり、2020 年末の時点で労働組合公式登録の 18618 名のメンバーで活動を行っているほか、労働組合所属の障害者マイクロビジネス開発支援センター、遠隔研修情報センターを通じて活動を行い、メンバーと支援者らの能力を強化し、専門技能を与え、情報普及を高めるために、活動を行っています。</p> <p>私たちは障害者の労働権利の確立と保護のために、様々な活動を行ってきました。国連から承認された障害者の人権コンベンションをモンゴルで承認する際に役割を果たし、アジア太平洋地域諸国の政府ハイレベル会談で出されたインチョン宣言を実施し、精神の健康法、福祉社会保障法を新規編集し、障害者の人権法などの作成承認ワーキングチームで活動してきました。これらすべてが、同組合の職員の能力、誰かのためにという統一された考えのもと活動していることの表れです。</p>
日本・各国との協力状況	ロシアのバイガル市、中国内モンゴル自治区のいくつかの省と協力しています。
JICA との協力状況	2009 年に労働組合所属のスタート研修センターの能力強化案件で協力しました。









団体名	モンゴル車椅子利用者国家協会
設立年	2005 年
住所	ウランバートル市ハンウール区第 2 ホロー、チンギス通り、ノミンユナイテッド 8—3 号室
電話番号	976-75952929, 976-89982929,
E-mail	wheelchairusersmongolia@gmail.com
URL/Facebook	<a href="http://www.facebook.com/MNAWU/">www.facebook.com/MNAWU/</a>
代表者名	B. チョロンドルゴル、P. サランゴー
活動内容	<p>モンゴル車椅子利用者国家協会は、会員の積極的な社会参加、会員への情報提供、精神的・知的支援、生活能力改善、車椅子利用者の一般的権益保護のために、活動を行っている NGO です。</p> <p><b>目的:</b> 行政サービス、社会の傾向を優しく包括的にするために、行動制限がある車椅子利用者の一般的権益を保護すること。</p> <p><b>目標:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国家・地方政策を障害者の権利議定書に適合させる</li> <li>2. 障害者が困難なく行き来し、社会的基本サービスを同様に受ける際に直面しているインフラ普及を改善するのに提言する</li> <li>3. 障害を持った女兒、女性の権利を保護し、保健サービスを改善するために多方面でイベントを開催する</li> <li>4. 会員の能力強化、活性化、情報提供、就労支援</li> </ol> <p><b>プログラム:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>会員参加増進、社会支援コーディネートプログラム:</b>        会員向けに年に 3~4 つの活動を定期的に開催し、就労コーディネート、世帯収入を増やすためのプロジェクトやプログラムを行い、ビジネス団体の援助・支援に結びつけ、年に 400 名ほどの会員に提供しています。</li> <li>2. <b>インフラ普及改善プログラム:</b>        2013 年から建築都市計画省の大臣顧問として、建築分野のエキスパートとエンジニア向けに能力強化研修を定期的に行っています。このプログラムでは書籍「ユニバーサルデザイン」を出版したほか、インクルーシブな環境を増やすために動画を作成し、オンラインで広報活動をしています。</li> <li>3. <b>障害を持った女性の能力強化プログラム:</b>        2017 年から障害を持った女性の生殖保健サービスの普及を改善するために、5 つの県とウランバートル市の障害者能力強化支援団体と協力し、約 100 名の住民向けに活動しています。</li> <li>4. <b>社会と政策への提言プログラム:</b>        労働社会保障省の障害者政策顧問、建築都市計画省の大臣顧問、保健省の国民社会顧問をそれぞれ務め、障害者関連政策決定に声を上げる運動をしています。</li> </ol>
日本・各国との協力状況	フィンランドのフロム国際団体と共同で実施している「障害を持った女性支援団体の能力強化のために生殖保健サービス改善に提言する」プロジェクト

JICA との協力状況

「ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト」(DPUB)  
(2016~2020年)





団体名	モンゴル視覚障害者国家協会
設立年	1978 年
住所	ウランバートル市ハンウル区チンギス通り、視覚障害者職業訓練開発センターA棟
電話番号	976-70044179 ,976-86574444, 976-88077700
E-mail	info@mnfb.mn
URL/Facebook	Монголын Хараагүйчүүдийн Үндэсний Холбоо
代表者名	D. Ганбат
活動内容	ブライリ出版センター、専門訓練労働センター、ナルニイ・ハーンフードドゥ幼稚園、ベストマッサージ1~3センター、CAFE MORE コーヒーショップ、FM98. 5、リハビリセンター、労働センターなどと活動を行っています。
日本・各国との協力状況	日本の筑波大学、視覚障害者協会、デンマークの視覚障害者協会、パデム国際団体、韓国のシオラム国際団体
JICA との協力状況	





団体名	エネレリン・トゥーチャー
設立年	2012年
住所	ウランバートル市バヤンズルフ区第1ホロー、東京通り、ニソラ・タワー607号室
電話番号	976-89069935, 976-89008668
E-mail	info@etuuchee.mn
URL/Facebook	<a href="http://www.etuuchee.mn">www.etuuchee.mn</a> <a href="http://www.facebook.com/tuuchee.tbb">www.facebook.com/tuuchee.tbb</a>
代表者名	A. バダムツェレン
活動内容	<p>エネレリン・トゥーチャーは2012年に設立され、障害児の発達支援活動を行っています。現在、私たちは障害児と保護者、教師向けに次の活動を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 40～45人の子どもたちを受け入れる4つのクラスから成る「希望の宮殿」特別幼稚園</li> <li>- 特別支援が必要な子どもたちに接する教師、職員、保護者に情報提供、能力強化する「研修・研究センター」</li> <li>- 障害が重い子どもたち向けに家庭訪問する「訪問サービス」を、毎年15～20人の子どもに行っています。</li> <li>- 知的障害の若者の就労準備「手芸プログラム」</li> <li>- 知的障害の若者の就労支援「移住プログラム」</li> </ul>
日本・各国との協力状況	<p>2012年—ドイツ・スウェーデン共同「Froindeskrais Mongolai」協会  2016年—カナダ「Dufresne Gotierin Foundation」  2018年ドイツのザクセン州若者基金の「Genialsotial」特別支援プロジェクト  2019年—日本の三菱社「発達の遅れを早期発見するワデミコム開発ガイド」プロジェクト  2018年11月12日に日本の外務省の支援でセーブ・ザ・チルドレン、モンゴル国教育科学省共同案件「すべての子どもたちに平等な教育を受けさせる原則支援」で、学習モジュール作成に参加しました。  義務教育学校の教師たち向けに専門を高める学習モジュール作成</p>
JICAとの協力状況	











団体名	エールテイ・ユルトウンツ
設立年	2009 年
住所	ウランバートル市ハンウール区第 4 ホロー、ヴィバシティ地区 N1 ブロック
電話番号	976-9411568
E-mail	<a href="mailto:Tuya2278@gmail.com">Tuya2278@gmail.com</a>
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/MercifulWorld">https://www.facebook.com/MercifulWorld</a>
代表者名	T. トヤジャルガル
活動内容	 <p>エールテイ・ユルトウンツは、日常的に介助が必要な子どもたちが自立して発達するのを支援し、保護者の社会参加を増やし、生活の質を向上させるために、2009 年から現在まで活動を行っています。子ども発達センターを開設し、脳麻痺筋肉収縮診断の 12 名の子ども、重度の知的障害の 12 名の子どもに 24 時間サービスを行うようになって 4 年目になります。</p> <p>知的発達の特徴の違いが、子どもたちの自立した社会参加のチャンスを制限していますが、支援によって可能になります。私たちは、5 年後に「ハンニぬいぐるみ工房」でアシスタントとして働けるレベルにまで育成するプログラムを作成しました。</p> <p>日常的に介助が必要な子どもたちと保護者の参加・協力で、子どもたちの発達プログラムの効果が出るため、両親が参加する時間を作り、研修を行いました。保護者は専門チームの助言の下、子どもと接することで、子どもたちがノートとペンを使って学ぶ、動作が改善される、保護者が子どもの特徴を正しく理解する等ができるようになります。私たちは理学療法、作業療法、言語療法、食事という順序で 9、10 月に全 6 回の会合、活動をナイラムダル別荘地、ナモン基金、第 63 番学校などと共同開催しました。</p> <p>エールテイ・ユルトウンツ所属エネレル子ども発達センターは、2021～2022 年新学期の学習カリキュラムに音楽療法 (Music therapy) を追加し、2 つのクラスの子どもたちに良い効果が表れています。目だけ動かせる状態の子どもまで、音楽を聞き、教師の指示で楽器に触れると、筋肉を動かそうとし、手を自分で動かそうとするようになっています。知的障害の子どもたちはギタープログラムに集中し、メロディーに合わせて動くなど理学療法の 1 部に効果的です。2021～2022 年度の新学期に脳性麻痺と知的障害の子どもに行ったサービス：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 理学療法: 背中とお腹の体操、手の体操、足の体操など、筋肉の動きを促す療法</li> <li>- マッサージ: 収縮時、筋肉緩和マッサージ、リラクスマッサージ</li> <li>- 水療法: リラックス、体操、動きを促す水圧療法</li> </ul>

- 特別教育開発サービス: 子どもたちの特徴に合わせた個別プログラム研修
- 正しい食事: 栄養補給、食事を通じて身体の発達を促し、総合的な体の発達に良いサービスを行う

今年の新学期に理学療法及び特別教育開発サービスの種類を増やし、より良い改善プログラムに沿って活動を行いました。



このセンターの活動を支援する目的で、保護者の職場となる「ハンニぬいぐるみ工房」を開設し、販売資金で子どもたちを受け入れています。

ハンニぬいぐるみ工房は、2011年から家庭生産と日常的に介助が必要な子どもの世話をしている母親たちの就労を目的に開設しました。これまでに約100名の女性が参加し、国からの手当のほかに、子どものために使える収入源になりました。多くの保護者達がひとつになったことで、7年後にはハンニぬいぐるみ工房に依拠した24の子ども発達センターが設立されました。子ども発達センターの資金を政府が支援する制度がないため、この工房で生産される製品の利益で、子どもたちを受け入れています。

私たちはモンゴル初のぬいぐるみ工房という意味で誇りをもって、ひと月に1万個のおもちゃを市場に出しています。現在、モンゴルの家畜を代表する仔馬、子ラクダ、子羊、子ヤギなどモンゴルらしさを出した製品のほか、ウサギ、子犬、こぐまなどや、注文を受けて希望のデザインやサイズのおもちゃを作っています。朝、発達センターに子どもを預けて仕事に行き、夜は発達センターに子どもを迎えに行き帰る保護者のほか、障害者、45歳以上の就職困難な人々など18名を雇用し、活動を行っています。

私たちはより大きい夢のためにぬいぐるみを作り、数年後に障害児向けの介護福祉療養所を建設したいと考えています。

日本・各国との協力状況	三菱商事から2018年、2019年に支援を受けました。
JICAとの協力状況	



**ХАННИ**  
ХАМГААГАХ  
ХАМГААГАХ

МАШ ХЯЛБАРХАН

БИДНИЙ ОРОЛЦОО

“Ээлтэй Ертөнц” ТББ since 2009  
Байнгын асаргаа сувилгаа шаардлагатай  
хүүхдэд ЭЭЛТЭЙ орчин бүрдүүлгээ

Фэйсбүүк хуудас: Ээлтэй Ертөнц ТББ New Merciful World NGO,  
Ханни зөвлөлөгчид  
Хүүхэд хөгжүүлэх Энэрэл төв  
Хаяг: Хан-Уул дүүрэг-4-р хороо, Виза сити хороолол N1 Блок  
Утас: +976-94115568

**ХАННИ**  
ЗӨВЛӨЛ  
ТОГЛООМ

Хүний төлөө шалгах зүрх бүрэн оршиж байх,  
Хүүхдийн эрхийг тэмцэхэд зоч мөр тэнц байх  
“Ээлтэй Ертөнцийнхон”





団体名	We can MN 協会
設立年	2013 年
住所	ウランバートル市バヤンゴル区第 7 ホロー、12-220
電話番号	976-99741916
E-mail	bidchadnadpo@gmail.com
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/BidchadnaMN">https://www.facebook.com/BidchadnaMN</a>
代表者名	オトゴントヤ
活動内容	<p>障害者が平等な権利で働き、生活することができる環境をつくり、雇用を増やし、社会的責任ある雇用主を支援・宣伝し、社会にポジティブな傾向を広める目的で、2011 年に国際プロジェクトの一環で bidchadna.mn ウェブサイト開発事業を提唱し、開始しました。2013 年にこのウェブサイトの活動に基づき「We can MN 協会」NGO を設立し、障害者への情報提供、能力強化、文化芸術を通じて社会に紹介する活動をしています。</p> <p>障害者についての見方を変える目的で、車椅子利用者のファッションショー、車椅子利用者のミスコンテスト、国際現代舞踊プロジェクト、学生たちのボランティア活動「We can ボランティアプログラム」、障害を持った若者向けの「成功のスタート」メンターシッププログラム、障害を持った女性の権利保護、車椅子利用の子どもたちの出来事についての「ズルルグ」絵本シリーズなど、文化芸術、就労を向上させる国内外の多くのプロジェクトを提唱し実施しました。</p>
日本・各国との協力状況	<p>ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト（DPUB）で開催された障害と平等研修に、私たちの団体の設立者 O. オトゴントヤ、Kh. バトチメグが参加し、トレーナーになり、当団体が開催しているボランティアプログラム参加者の学生たちと民間セクター、行政機関の約 500 名に教えました。Kh. バトチメグはトレーナーNGO の理事会理事長であり、活動を兼任しています。</p> <p>B. オトゴントヤは JICA の上記プロジェクトと協力し、2016~2020 年に活動していました。同委員会が開催したタイの障害者権利保護 NGO ネットワークの研修に参加し、アジア太平洋諸国の障害者センターに視察に行きました。</p>
JICA との協力状況	



We can ボランティアプログラム



プロと障害者のダンス公演（2013年）



現代舞踊国際プロジェクト公演（2019年）



車椅子利用者とモデルのファッションショー（2013年）

団体名	サインナイズセンター
設立年	2014 年
住所	バヤンズルフ区第 17 ホロー、エルデネトルゴイ 35—924
電話番号	976-89555755,976- 96889713
E-mail	<a href="mailto:uguumursetgeltbb@gmail.com">uguumursetgeltbb@gmail.com</a> gkeymn@gmail.com
URL/Facebook	<a href="#">Сайн Найз   Facebook</a>
代表者名	J. アルタントウルフール
活動内容	<p>サインナイズセンターは、障害を持った青少年の権利を尊重し、彼らの発達と社会参加を支援し、両親、保護者、専門家、社会の傾向を変え、能力強化する活動と研修プログラムを実施している NGO です。私たちは青少年の社会における平等な参加を重視し、障害によって差別されずに同世代の友人や仲間たちの間で学び、発達し、仕事の方向性を与え、就労の機会を提供し、創造的で一人前の人間になるのを支援しています。障害を持った青少年が友人や仲間と共に活動に参加するのは、障害についてポジティブな見方を作り、相互理解を促し協力することに影響を与えています。</p>
日本・各国との協力状況	<p>私たちは毎週土曜日に障害児と両親、保護者向けに「ニンジンの日」を特定非営利法人ニンジンと共同開催しています。</p> <p>Young Life Mongolia 国際機関と共同で、重度の障害児にサマーキャンプを開催しています。</p> <p>World Vision モンゴル国際機関の支援で暖房の設置ができたのは、持続的に活動を行うのに大きな支援になりました。</p>
JICA との協力状況	2016～2019 年に JICA の草の根技術協力案件で「モンゴル障害児療育・教育支援および療育関係者育成事業」を実施しました。







団体名	モンゴル障害者協会
設立年	2009 年
住所	ウランバートル市スフバートル区第 7 ホロー、リハビリテーションセンター203 号室
電話番号	976-9994444, 976-95044444
E-mail	<a href="mailto:Nkh.uadm@gmail.com">Nkh.uadm@gmail.com</a>
URL/Facebook	Монголын ХБИ-ийн Нэгдсэн холбоо Fage хуудас
代表者名	D. パータルジャブ
活動内容	<p>モンゴル障害者協会は、障害者の権利保護のために活動している約 40 の NGO をまとめ、活動の統一政策管理を行い、障害者権利法、障害者権利コンベンションを実施し、実施監査の目的で政府、非政府組織、国際機関と共同で活動を行っています。</p> <p>活動方針:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 障害者についての国際契約コンベンション、障害者権利法及び憲法、その他法律で示された権益を守る多方面の活動を行う</li> <li>✓ モンゴルの障害者の権益を守るために活動を行っている NGO の活動に統一政策を提供し、導き、協力する</li> <li>✓ 障害者に対する社会の心理を変え、啓発活動を主催し、広報、研修活動を行う</li> <li>✓ 障害者の社会におけるすべての面での平等な参加を提供するために、教育、文化、芸術、スポーツ、保健分野の多方面の活動を行う</li> <li>✓ 障害者の生活水準を改善し、向上させるために、政府及び NGO と共同で就労支援の総括的活動を行う協力方針を固守し、活動する</li> </ul>
日本・各国との協力状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際労働機関、モンゴル労働者連合協会、雇用主協会と共同で「障害者就労準備総括的対策実施」プロジェクト（2011 年）</li> <li>● AIFO 国際団体の支援で、障害者就労センターコンベンションの初報告発表を NGO と共同で作成し、報告会議に出席（2015 年）</li> <li>● AIFO 国際団体の支援で、管理アカデミー障害者 NGO の幹部能力強化研修プログラム（2013 年）</li> <li>● カリタス・チェコ・レパリック「若者就労支援」プログラム（2020 年）</li> <li>● アメリカ大使館がアメリカの障害者団体とオンライン会談を開催し、障害者権利法提唱作業を開始し、労働社会保障省と NGO の代表らがアメリカを公式訪問（2015 年）</li> <li>● オーストラリア政府の奨学金プログラム調整委員会で活動し、障害者をプログラムに参加させる希望を提出し、決定され、2019 年から現在まで継続しています。</li> <li>● 静岡県の障害者団体の支援で、フリスピースポーツ普及活動を始め、フリスビー協会を設立し、静岡県と協力しています。（2017 年）</li> <li>● 韓国済州市の障害者団体、スポーツ協会と共同で、障害者の経験共有、観光</li> </ul>

	<p>事業を開始しています。(2018年～)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 国連開発計画と共同で「障害を持つ若者の発展を妨げるものをなくそう」プログラム(2014年)</li> </ul>
<p>JICA との協力状況</p>	<p>当協会加盟 NGO が「ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト」(DPUB) の DET (Disability Equality Training: 障害平等研修) トレーナー育成プログラムに参加しました。</p>









団体名	DET フォーラム
設立年	2017 年
住所	ウランバートル市バヤンズルフ区第 8 ホロー、バヤンズルフ・タウン 109 ビル 58 号室
電話番号	976-85110109, 976-94230846
E-mail	detforummongolia@gmail.com
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/DET-%D0%A4%D0%BE%D1%80%D1%83%D0%BC-%D0%9C%D0%BE%D0%BD%D0%B3%D0%BE%D0%BB-100949344588591">https://www.facebook.com/DET-%D0%A4%D0%BE%D1%80%D1%83%D0%BC-%D0%9C%D0%BE%D0%BD%D0%B3%D0%BE%D0%BB-100949344588591</a>
代表者名	B. エンフジン
活動内容	<p>私たちは国連障害者権利コンベンションのイニシアティブを啓発することに基づき、すべての人にインクルーシブな社会をつくることを目的にしています。</p> <p>DET 研修には総勢 46 名のトレーナーがいて、全員が障害者であるという特徴があります。</p> <p>研修に使用する研修資料及びビデオ動画にはすべて著作権があるため、DET のトレーナー以外の方が利用することは不可能です。DET 研修のスタンダード期間は 3 か月で、基本的な 2 部体制から構成されます。</p> <p>第 1 部であるはじめの 1 時間 30 分で障害とは何か、障害はどこにあるか、という問題について参加者がグループで話し合い、3 つの練習を行います。第 2 部である 1 時間 30 分で私たちは何ができるか、という問題についてグループで活動計画を作り、これらの問題の解決方法を見つける総合的研修です。</p> <p>DET 研修のチーム構成は 2 名の常勤講師、研修に参加している参加者の数によってチームのファシリテーター、2 名のアシスタントがつかます。</p> <p>研修形態: グループワーク</p> <p>研修の種類:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害と平等研修 (DET)</li> <li>2. DET+障害者をどのように支援するか</li> <li>3. DET+障害者権利法</li> <li>4. DET+障害者権利コンベンション</li> <li>5. DET+スタンダード</li> <li>6. DET+紹介セミナー</li> </ol>
日本・各国との協力状況	JICA の「ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト」(DPUB) の支援で設立しました。
JICA との協力状況	ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト (DPUB) が団体の設立を支援し、その後モンゴル国内で 1 万人への障害平等研修 (DET 研修) の実施を達成しました。





団体名	バトエグシグレン NGO
設立年	2007 年
住所	ウランバートル市バヤンゴル区第 1 ホロー、57-67
電話番号	976-94161919,976-88189106
E-mail	Yundenbaterdene68@gmail.com
URL/Facebook	Yunden Baterdene
代表者名	Yu. バトエルデネ
活動内容	1.バリアフリー化 2. 革を使った絵画
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	





団体名	ハンウール自立生活センター
設立年	2014 年
住所	ウランバートル市バヤンゴル区第 18 ホロー-A0C5 号
電話番号	976-99853849
E-mail	khanuul.ilc@gmail.com
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/Хан-Уул">https://www.facebook.com/Хан-Уул</a> бие даан амьдрах төв
代表者名	Ts. エンフトヤ
活動内容	<p>障害の重さ、種類に関係なく、自立生活の見解に基づき実施されるインクルーシブな環境を提供し、社会福祉サービスをより洗練されたものにし、障害者の能力向上を目的に活動を行っている NGO です。</p> <p>ハンウール自立生活センターは次の目的のために活動を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別介助者</li> <li>・ 障害者カウンセリング</li> <li>・ セミナー、情報</li> <li>・ 政策提言</li> <li>・ 就職支援</li> </ul>
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	











団体名	モンゴル視覚障害青少年協会
設立年	2016年
住所	ウランバートル市バヤンゴル区第18ホロー、83a棟2番入り口1階
電話番号	976-77038003, 976-94743838
E-mail	<a href="mailto:Go.bolormaa@gmail.com">Go.bolormaa@gmail.com</a> <a href="mailto:mhbhzh01@gmail.com">mhbhzh01@gmail.com</a>
URL/Facebook	монголын харааны бэрхшээлтэй хүүхэд залуучуудын холбоо
代表者名	G. ボロルマー
活動内容	<p>当協会は2016年に設立されました。私たちは視覚障害を持つ青少年の権利保護、健康、教育、就労、自立的生活知識の能力を与えることを目的に、活動を行っている非営利、非政府組織です。</p> <p>2019年に労働福祉サービス局から「研修、カウンセリング認定証」を授与されました。2020年に家族青少年開発庁から「子ども保護対策サービス」認定証を授与されました。</p> <p>また、協会所属の「夢の家開発センター」「心理学教育センター」が活動を行ってきました。「夢の家開発センター」を通じて視覚障害の青少年に文化、芸術、スポーツ、コンピューター、外国語の知識を与えています。</p>
日本・各国との協力状況	EU、World Visionと共同で「共に乗り越えよう」プロジェクト (2021年4月～2022年4月)
JICAとの協力状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト (DPUB)</li> <li>2. 障害者就労支援制度構築プロジェクト (DPUB2)</li> <li>3. 障害児のための教育改善プロジェクト (START2)</li> </ol>









団体名	サルヒチ・ショポー・センター
設立年	2003 年
住所	ウランバートル市スフバートル区第 4 ホロー、50 ミヤンガト 22—40
電話番号	976-99746900, 976-96336668
E-mail	<a href="mailto:salkhichshuvuus@gmail.com">salkhichshuvuus@gmail.com</a> , khandaa22@yahoo.com
URL/Facebook	Салхич шувуу ТББ
代表者名	D. バダムハンド
活動内容	<p>サルヒチ・ショポー・センターは、障害者と社会に情報を提供する目的で、教師とジャーナリスト専門の D. バダムハンドの提案で 2003 年に設立されました。また、障害者に対する見解をポジティブにするために、マスコミと共同でラジオ、テレビ放送を行い、社会の傾向に啓発する活動をボランティアと行ってきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 2003～2007 年に、就労している障害者を支援し、雇用主に感謝し、宣伝し、法的環境を改善する目的で、「シンドルギオン 107.5 FM」ラジオと共同で「生活の輪」番組を作り、毎週再放送も放送しました。</li> <li>➢ 2004～2008 年に、モンゴル障害者団体連盟の広報担当として、国会に障害者を支援する「ロビー」団体を設立し、モンゴル障害者団体連盟とその他協会、著名な法律家と共同でモンゴル国憲法改正作業を担当し、政党と「ロビー」団体メンバーに情報提供し、議会の記者と共に広報活動を担当しました。</li> <li>➢ 2010 年に、在モンゴルアメリカ大使館の広報担当と「発展のために共に」スローガンで障害者、記者の視察旅行をアメリカではじめて開催することを決定し、2010 年 10 月 22 日から 11 月 6 日に「優秀者の短期研修」に参加することができました。D. バダムハンド記者は 2006 年からモンゴル雇用主連盟管轄の障害者副委員会のリーダーを務め、雇用者らに障害者についての正しい理解を与え、障害者への見解を改善する目的で記事、番組を作成してきました。</li> <li>➢ 「サルヒチ・ショポー・センター」管轄の「オユニー・エルチ」思春期若者クラブを 2010 年に設立し、職場を提供し、生活の正しい習慣を身に付けさせる活動を開始しました。</li> </ul>
日本・各国との協力状況	1997 年以降、モンゴル障害者団体連盟を通じて中国、韓国、ロシア、日本、ドイツ、アメリカ政府国務省の支援で視察、経験共有するチャンスをいただけたことに感謝しています。今後もマスコミ機関と協力し、経験共有の機会が与えられると期待しています。
JICA との協力状況	2016～2020 年に実施された「ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト」(DPUB) の研修に参加しました。









団体名	障害児親の会
設立年	2000年
住所	ウランバートル市バヤンゴル区第20ホロー、障害児リハビリ発展センター213号室
電話番号	976-70123336, 976-95907012
E-mail	info.apdcmongolia@gmail.com
URL/Facebook	Facebook page: APDC Mongolia , Website: <a href="http://www.apdc.mn">www.apdc.mn</a>
代表者名	S. セレンゲ
活動内容	<p><b>目標:</b></p> <p>障害を持った青少年一人一人を尊重し、権利を十分に行使し、社会生活において自立して積極的な国民になる環境を提供することが目標です。障害児親の会は障害児の保護者の提案で設立され、16の県に支部があり、約4300名の会員がいます。政府からのサービスを質の良いものにするために、保護者が知識と情報を持って参加し、権限を持つために、プログラムを実施しています。</p> <p><b>実施しているプログラム:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>子ども発達センター/</b>幼児に発達支援を行い、余暇時間の発達イベントを開催しています。政府による障害児向けのサービスがない、あるいは不足しているため、障害児の保護者たちが2002年に子ども発達センターを設立しました。子ども発達センターはバヤンウルギー県、バヤンホンゴル県、ダルハンウル県、ドルノド県、オルホン県、ホブド県、フブスグル県にあり、子ども発達特別教室がドルノゴビ県、ヘンティー県にあります。7つの県の子ども発達センターに、約200名の子ども向けサービスがあります。</li> <li>2. <b>グリーン手工芸/</b>知的能力が異なる若者たちの就労育成、就労支援の法的環境を作るために活動しています。また、知的能力が異なる若者が就職できることを、社会と雇用主にアピールしています。主に手工芸製品を生産し、販売しています。売り上げはよくないですが、私たちは若者に製品を生産させ、展示販売会に参加し、自分で開催し、生活に喜びを与えるために全国規模で政策提言を行い、活動しています。グリーン手工芸は、ウランバートル市、オルホン県ですでに3~5年になり、15名近くの若者に非正規・正規の職場を提供しています。ドルノド県、ホブド県にも設立予定です。</li> <li>3. <b>顧問保護者プログラム/</b>法律で与えられたチャンスがすべての障害児に届くように保護者を能力強化し、権限を持たせています。現在5名の法的ガイド（パラリーガル）、50名の顧問保護者を通じ、全国規模で保護者に法的助言を与え、直面している問題を法的に解決するのを援助しています。2021年にオンラインで顧問保護者プログラムを1年間にわたり実施し、21の県、8つの区の100名の子どもを人権、差別・偏見、児童の発達、早期診断、行政サービス改善における保護者の参加などのテーマでオンラインセミナー、情報提供を毎週土曜日に実施しました。障害児の権利を確立する法的アドバイスを保護者に与えることを、顧問保護者プログラム基本目的にし、17回のケース協議を開催し、権利違反の際にどのように法的調査</li> </ol>

	<p>を行い、助言し、仲介するかの方法について研修を行いました。現在 50 名の顧問保護者を育成し、将来それぞれの地元で障害児の保護者の権利を要求し、行政サービスの質を高めるために法的知識を持って参加するのを援助し、自発的に活動できるようにしています。2021 年に保護者向け法律ハンドブックを作成し、出版しました。</p> <p>4. <b>啓発プログラム</b> /全国及び地方で政策提言啓発活動をしています。法律、規則を作成する作業に保護者を代表して参加し、地方でモニタリングを行うことで、障害者が行政から質の良いサービスを受けるチャンスをつくるのに影響を与えています。障害者権利法改正案に、インクルーシブ新法律の意見を提案し、ワーキングチームが活動しています。これは保護者が法律作成活動に障害児の権利を確立するために参加していることの表れです。また、社会の傾向を変え、ポジティブにするために、「ドアを開けよう」キャンペーンを開催しました。</p>
日本・各国との協力状況	<p>国連人権委員会に子どもと障害児の報告書を送り、協力しています。</p> <p>また、日本の 3 つの NGO と協力しています。パレット NGO 東京、Empowerment Okinawa NPO、NPO さおりひろばネットワーク Inclusion International 国際機関のメンバーです。</p>
JICA との協力状況	<p>2018 年に S. セレンゲ代表が沖縄で JICA の「地域に根差したインクルーシブアプローチによる障害者の社会参加と生計」課題別研修に参加しました。</p> <p>2016～2020 年に JICA 海外協力隊の 2 名の隊員が、子ども発達センターで活動しました。</p> <p>2016～2019 年に草の根技術協力「モンゴル障害児療育・教育支援および療育関係者育成事業」案件で、障害児の保護者を通じて療育を広めることに協力しました。</p>





「僕は学ぶことができる、でもあなたの助けが重要」 「あなたの態度が体の障害よりもつらい」



団体名	ラントーン・ドヒオ
設立年	2013 年
住所	ウランバートル市バヤンゴル区第 23 ホロー、バータルハイルハン通り、2B—1545 号
電話番号	976-7707-6996, 976-94222888, 976-88084470
E-mail	info.mng@lantuundohio.org
URL/Facebook	<a href="http://www.facebook.com/lantuundohio">www.facebook.com/lantuundohio</a> <a href="http://www.facebook.com/idshidiinoron">www.facebook.com/idshidiinoron</a>
代表者名	U. ガンバヤル、O. ウンドラー
活動内容	<p>ラントーン・ドヒオは、2013 年から人身売買、子ども・女性に対する暴力防止等の活動を行い、関連法律を社会に紹介し、段階を踏んだセミナープログラムを作成・開発し、世界中で実施されている暴力反対社会参加活動をモンゴルで実施することを目的とする、非営利の、国連協議権利所有ステータスがある NGO です。</p> <p>私たちは 2017 年から 2020 年に「魔法の国 1」及び「魔法の国 2」子ども保護・発達センターをウランバートル市最多の人口を有し、事件発生率が高いソンギノハイルハン区とバヤンズルフ区の郊外ゲル地区地帯に 100%社会の寄付と支援で建設しました。</p> <p>これらのセンターは、暴力の被害者である子どもたちに「子ども保護包括的サービス」を行うだけでなく、郊外のゲル地区に暮らす子どもたちに平等なチャンスを与えるために就学事前教育を行い、図書館、遊び場、緑地公園、全 25 種類のコースを無料で提供しているという特徴があります。</p> <p>上記に述べたすべての活動にアメリカのラントーン・ドヒオ NGO メンバー、及びアメリカ、オーストラリア、ベルギー、イギリスのマンチェスター、韓国、日本などの国々で活動している「魔法のお兄さん、お姉さん」らの恒常的・持続的支援、また約 300 名のボランティアメンバーの寛大な心と努力が最も重要な部分になっています。</p>
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	







団体名	フルフン・ズルフ
設立年	2012 年
住所	ウランバートル市スフバートル区平和大通り第 1 ホロー、58 番棟 Y-4 号
電話番号	976-70159688,976- 95959688
E-mail	<a href="mailto:huurhunzurh@gmail.com">huurhunzurh@gmail.com</a> <a href="mailto:oyundari@btifulhearts.org">oyundari@btifulhearts.org</a>
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/btifulhearts">https://www.facebook.com/btifulhearts</a>
代表者名	B. オユンダリ
活動内容	<p>フルフン・ズルフ は、子どもに対する性暴力をなくすために、2012 年から活動している非政府、非宗教的、非政党、非営利組織です。私たちは、健康で安全な社会のために政策に提言し、人権とジェンダーの平等な権利、ジェンダーに基づく暴力についての国民と社会の理解・知識を高め、啓発し、起こり得る危険を事前回避し、宣伝・広報活動をポジティブな方法で行い、社会の傾向を変える目的のもとにひとつになった若者たちの団体です。</p> <p>フルフン・ズルフ には、次の 4 つの基本プログラムがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 啓発；ジェンダーに基づく暴力を予防し、被害者を保護し、人権に基づいた法的制度を整えるために政策に提言する。</li> <li>✓ サービス；性的暴力に遭った子どもたちに心のケアとリハビリの社会的・メンタルサービスを行う。</li> <li>✓ 予防；子ども、思春期の女子・男子のジェンダーに基づく暴力による問題を予防するために宣伝・広報を行う。</li> <li>✓ 能力強化；被害者の権利保護観察分野の専門家の専門能力、知識、経験を深め、能力強化する。</li> </ul> <p>毎年定期的で開催しているキャンペーン活動、イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「ONE BILLION RISING」 女児、女性に対する暴力反対撲滅国際キャンペーン活動</li> <li>✓ 「性暴力防止」 キャンペーン活動（5 月）</li> <li>✓ 「PEER CONSULTATION」 被害者と接する専門家らの毎月の会合、イベント</li> <li>✓ 「国際女の子の権利の日」 に合わせ、予防キャンペーン活動</li> <li>✓ 「16 日間の旅」 ジェンダーに基づく暴力の予防キャンペーン活動</li> <li>✓ 専門家らの能力強化専門セミナー（毎年 3 日間）</li> <li>✓ 思春期の女子・男子にジェンダーに基づいた暴力防止セミナー</li> </ul> <p>組織の構成は、理事会の 7 名（57%女性、43%男性）、全 28 名の常勤職員。活動部署に 8 名（100%女性、ソーシャルワーカー、心理学士、ジャーナリスト）が常駐しています。</p>
日本・各国との協力状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン・モンゴル事務所</li> <li>✓ 子どもの権利連合メンバー（アジア太平洋）（2018 年～）</li> <li>✓ ONE BILLION RISING 国際運動メンバー、モンゴル国コーディネーター（2013 年～）</li> <li>✓ FRIDA レディフェミニスト国際機関（2017～2022 年）</li> <li>✓ APWLD 国際機関のメンバー</li> <li>✓ With and For Girls</li> </ul>
JICA との協力状況	



**ADVOCACY PROGRAM** Advocate for policies and legislation that are based on respect for human rights of women and children, and aim to prevent.

**Offline**



**Online**

Through the online activities we reached **3,600,000** people

- "PREPARING YOUTH FOR DEMOCRACY IN MONGOLIA" PROJECT - designed to empower young people to participate in decision-making processes through raising their awareness of democratic values, citizen participation, and electoral processes.
- "ONE BILLION RISING" INTERNATIONAL MOVEMENT
- "MOVING GENDER EQUALITY FORWARD THROUGH CIVIL SOCIETY ENGAGEMENT" CAMPAIGN
- "SCHOOL IS NOT A HOSPITAL" CAMPAIGN
- "I PROMISE" CAMPAIGN

**PSYCHOSOCIAL SERVICE PROGRAM**

Provision of psychosocial support to strengthen resilience and coping capacity of children and their family affected by sexual violence.



33 clients / Ulsterbatar - 25. Other provinces - 7.  
1 male, 32 female  
7 clients 8-9 age, 10 clients 10-14 age, 16 clients 14-18 age



**Social work**  
308 clinic hours

**Psychotherapy**  
312 clinic hours



9 Stronger hope  
2 Dating rape  
22 Incest

Who are the perpetrators of incest?  
- Father 1  
- Step father 5  
- Uncle 2  
- Brother 1  
- Brother-in-law 3  
- Teacher 1  
- Grandfather 2

**PUBLIC AWARENESS PROGRAM**

Increase awareness of gender-based violence in particular violence against women and child sexual abuse to facilitate behavior and attitudinal change, and achieve prevention and early detection of abuse.



**CAPACITY BUILDING PROGRAM**

Improve the knowledge and skills of professionals who work with survivors of domestic and sexual abuse.



1,084 Multi-disciplinary team members



39 CSD capacity building trainings



12 Peer consultation meetings



548 clinic hours



40 percents



@bitfulhearts

976-7015988

Annual report 2020

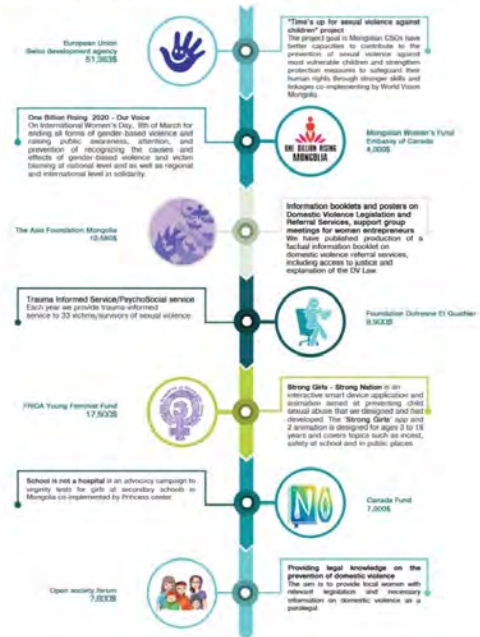


**"Beautiful Hearts" NGO**  
Together we can end child sexual abuse!

I promise,



**BEAUTIFUL HEARTS' ACTIVITY | IN 2020**



団体名	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン・モンゴル事務所
設立年	2009年
住所	ウランバートル市チンゲルティ区第1ホロー、アリゾナセンター内
電話番号	976-11-329365,976-11-329371
E-mail	mongolia.secretary@savethechildren.org
URL/Facebook	Save the children in Mongolia
代表者名	L. バヤンアルタイ
活動内容	<p>セーブ・ザ・チルドレンは教育、子ども保護、子どもの権利ガバナンス、子どもの貧困解消、人道的プログラム、保健などの分野で、次の案件を実施しています。</p> <p><b>1. 案件名: “モンゴルのすべての子どもに平等な教育を”</b>  <b>期間:</b> 2021年4月～2024年4月  <b>融資者:</b> 日本国外務省  <b>目標、目的:</b> ウランバートル市のバヤンズルフ区、チンゲルティ区、ソングノハイラン区、ウブスハンガイ県、ホブド県の対象校の小中学生が教育を平等に受けられるよう支援する。  <b>対象者;</b> 対象校の5～9年生の生徒、保護者、対象校の教師、地域の教育機関関係者</p> <p><b>2. 案件名: “地方の思春期の子どもたちに個人能力、起業家教育を与える”</b>  <b>案件期間:</b> 4年間 (2019～2023年)  <b>予算:</b> 270万USD  <b>融資者:</b> 世界銀行を通じて日本社会発展基金  <b>目標、目的:</b> 思春期の青少年に個人の能力、起業家教育を与えるために、学習成果を改善し、将来就労する際の準備を目的とする。  <b>対象者:</b> 失業率が高いモンゴルの西部、東部、中央部及びハンガイ地域の代表になるホブド県、サブハン県、ウブスハンガイ県、ゴビスンベル県、スフバートル県の25の郡の14～24歳の貧困層で学校に通っていない、失業に陥るリスクのある6,000名の思春期の若者と、郡の20,000名の住民</p> <p><b>3. 案件名: “民主主義のための新時代”</b>  <b>期間:</b> 2020年3月～2022年2月  <b>予算:</b> 176,000USD  <b>融資者:</b> 国連民主主義支援基金  <b>対象者:</b> 同案件は民主主義の価値、国民参加、選挙過程についての青少年の教育向上のために、民主主義ガバナンスを現在と未来の有権者の知識と行動を通じて強化することが目的です。案件では民主主義統治、国民参加について教える国民教育、社会知識の授業学習カリキュラムの内容、教授法を調査し、民主主義についての理解について思春期世代、若者に調査を行います。</p> <p><b>4. 案件名: “女の子を暴力・搾取から保護する”</b>  <b>期間:</b> 2021～2024年 (3年間)  <b>融資者:</b> 国連信託基金  <b>目標、目的:</b> ウランバートル市の社会的、経済的水準が低い5つの区の12～18歳</p>

	<p>の女の子を、新型コロナウイルス感染拡大により悪化した暴力、搾取に遭うリスクから保健、子ども保護、教育サービスを通じて保護する。地方の子ども保護専門家が新型コロナウイルス感染拡大により悪化した暴力、性暴力、人身売買の犯罪被害者の12～18歳の女の子がサービスを受けられるようにする。</p> <p><b>対象者:</b>家族子ども若者開発委員会の専門家、専門家チームメンバー、警察庁の子ども担当、非常事態局の専門家、学校幹部、教師、家庭病院医、区の子精神科医、心理学者、保護施設、家族子ども若者開発委員会、区の警察、NGOの心理カウンセラー、ソーシャルワーカー、12～18歳の女の子、義務教育学校の生徒</p> <p><b>5. 案件名: “デナン”</b>  <b>期間:</b> 2021年  <b>融資者:</b> アメリカのデナンプロジェクト  <b>目標、目的:</b> 地方の保健センター事業を支援し、能力向上、保健援助サービスを改善する。  <b>対象者:</b> アルハンガイ県のエルデネマンダル郡、タリアト郡の総合病院でサービスを受けている郡及び周辺郡の住民</p> <p><b>6. 案件名: “モンゴルにおける透明性、社会参加を増やすために社会の責任を強化する” MASAM II 案件</b>  <b>期間:</b> 2021～2023年  <b>融資者:</b> スウェーデン開発庁、世界銀行  <b>目標、目的:</b> 主な分野で案件の資金をより効果的に利用するためにモンゴルの21の県、ウランバートル市で行政サービスを届ける、投資を改善するために社会の責任を高める能力を強化し、技術援助を提供する。  <b>対象者:</b> バヤンゴル区、チンゲルテイ区、スフバートル区、ゴビスンベル県、ドンドゴビ県、ドルノゴビ県、ドルノド県、ヘンティール県、スフバートル県、ウムヌゴビ県</p>
日本・各国との協力状況	日本の外務省、日本社会開発基金、JICAなどと協力しています。
JICA との協力状況	<p><b>案件名:</b>モンゴルにおける子どもの権利・保護法成立後の要保護児童支援制度定着化支援事業, 2018-2022  <b>目的:</b>子どもの権利法・保護法およびDV撲滅法が成立・改正されたモンゴルにおいて、すべての子どもがあらゆる暴力から守られる権利を実現するため、要保護児童支援制度がモンゴル政府によって強化され、かつ持続的に運営される。  <b>融資者:</b> JICA  <b>案件目標:</b>要保護児童支援制度を担う政府機関（多職種専門家チーム、家族子ども若者開発庁、省）の人材の能力と体制が強化される。  <b>直接受益者:</b>対象地域の128名の多職種専門家チームメンバー及び子ども保護権利を提供する義務がある全ての120名の公務員、選ばれた対象の郡、バグ、ホローの1065名の両親と養育者、160名の子ども  <b>間接的受益者:</b> 50,000名の両親と養育者、10,600名の地方住民、44,225名の子どもたち</p>







団体名	暴力反対国家センター
設立年	1995 年
住所	ウランバートル市チンゲルテイ区バगतイロー、4 棟ビル 03 号室
電話番号	70119949
E-mail	mongolcav@gmail.com
URL/Facebook	Хүчирхийллийн Эсрэг Үндэсний Төв ТББ / National Center Against Violence NGO
代表者名	N. アルビントリア
活動内容	<p>ジェンダーに基づく暴力、中でも家庭内暴力及び性暴力被害者に法的アドバイス、信頼できる電話サービス、一時保護施設サービスを早急に行っています。設立以来 26 年間、継続して活動し、家庭内暴力及び性暴力被害者約 22,000 名の女の子、女性を支援してきました。暴力反対国家センターは、家庭内暴力反対センターと法的義務を負った専門家の能力を強化し、社会の理解と知識を高め、政策への提言を合わせて行っています。</p> <p>2004 年に家庭内暴力反対の初めての法律がモンゴルにおいて承認されるための活動に、率先的に参加しました。またこの法律の施行を改善する目的でモニタリングを行い、2016 年に家庭内暴力反対法の改正を国会で承認させることができました。モンゴルで初めて家庭内暴力を犯罪と定め、刑法、違反法に盛り込みました。その他、法律に家庭内暴力の被害者保護に関連する調整を盛り込み、家庭内暴力に反対する合法的環境を整えることができました。</p> <p>暴力反対国家センターは、家庭内暴力撲反対法の施行に、毎年部分的モニタリングを行い、結果、助言を行政機関に提出しています。</p>
日本・各国との協力状況	<p>日本政府の「草の根安全保障」案件で、暴力反対国家センターバヤンホンゴル県支部に「家庭内暴力被害者保護施設」を 2016 年 10 月 8 日に開設しました。現在まで継続的に活動を行っています。</p> <p>暴力反対国家センターは世界の保護施設ネットワーク、アジアの保護施設ネットワーク、FORUM ASIA、ISS、APWLD の加盟機関です。</p>
JICA との協力状況	



バヤンホンゴル県の「家庭内暴力被害者保護施設」の開所式（2016年10月8日）

団体名	ボルタグシニィ・ボドル
設立年	2019年
住所	アルハンガイ県エルデネボルガン郡第4バグ
電話番号	976-99339590,976-94339590
E-mail	bor.tagsh@yahoo.com
URL/Facebook	Бор тагшны бодол
代表者名	A. ドゥルグーン、Ch. ウランツェツェグ
活動内容	<p>ボルタグシニィ・ボドルは非営利、如何なる政党、政治的力、宗教に属さない NGO です。社会の第一単位で、人間の発達の基本となる家族及び家族のメンバー、特に子ども、女性の発展、保護、教育、保健分野の発展と持続性を支援するセミナー、啓発活動を行うために、家族と社会の発展に実践的貢献をするのが目標です。</p> <p>目標のために下記の活動を行っています。</p> <p>A.自己開発、健康、教育、ファイナンス、裁縫、外国語、料理の職業訓練</p> <p>B.心理的及び法的アドバイス、援助</p> <p>C. 社会に向けた活動、福祉活動を行っている政府及び非政府、国際機関の職員に研修を行う</p> <p>D.人権保護、人権侵害防止研修、啓発活動</p> <p>E.権利侵害後に保護対応サービスを行う</p> <p>F.人間開発、保護支援の人道活動を開催する</p> <p>G.健康、教育、開発、保護についての学術研究、調査活動を行い、調査結果を出す</p> <p>H.ボランティア活動を主催し、経験共有する。</p> <p>I.観光</p> <p>J.生徒間交流</p>
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	JICA「モンゴルにおける子どもの権利・保護法成立後の要保護児童支援制度定着化支援事業」フェーズ1、2でセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと一緒にポジティブ・ディシプリンの啓発、普及、実施の活動を行っています。









団体名	Open window of future
設立年	2018 年
住所	ウランバートル市バヤンゴル区第 13 ホロー、ダコビジネスセンター802 号室
電話番号	976-99878556
E-mail	openwindowfff@gmail.com batkhishig@f-openwindow.mn
URL/Facebook	
代表者名	A. バトヒシグ
活動内容	<p>Open window of future は、設立者たちが青少年、家族の発達、保護の分野で約 20 年間活動してきた国内外の経験に基づき、2018 年 8 月に NGO として設立しました。</p> <p>Open window of future は確証に基づいた知識、調査に依拠し、青少年、家族の発達、保護を支援し、権利を保護し、能力強化に貢献することを目的としています。私たちは平等な参加、安全、人権、違いを尊重する原則を固守しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもの発達、参加</li> <li>• 児童保護</li> <li>• 思春期の若者の発達、参加</li> <li>• 家族教育、発展</li> <li>• 対象とする青少年の発達、保護</li> </ul> <p>Open window of future の対象者に向けた活動として障害、貧困、差別・偏見に遭った人々、家族向けに活動を行っています。</p>
日本・各国との協力状況	<p>2018 年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 国連児童基金、教育文化科学省の依頼で、義務教育学校における子ども保護政策の原本作成に顧問サービス</li> <li>• World Vison 国際機関の依頼で、バヤンゴル区の 5 つの学校、3 つの幼稚園のすべての教職員向けに子ども保護研修</li> </ul> <p>2019 年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• アジア開発銀行の支援で行われた Universal Progress センター、公共建築 NGO と共同で、公共交通サービス改善使用評価</li> <li>• アジア開発基金、労働社会保障省、グリーン・イニシアティブ NGO の家族青少年分野の職員能力強化案件に参加し、調査評価、人事戦略、ハンドブック作成</li> </ul> <p>2020 年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 国連児童基金、労働社会保障省の社会サービス人材能力強化プロジェクトで行われた子ども保護における直接実践スタンダードプロジェクト、専門的管理試験プロジェクト作成に顧問サービス</li> </ul> <p>2021 年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 国連児童基金、家族青少年開発庁の依頼で、108 支援電話アドバイザーカード作成に顧問サービス</li> <li>• World Vision のダルハンウル県のプログラムの依頼で「悪習慣の予防」トレーナー育成研修</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>国連児童基金、労働社会保障省の支援で、子ども保護サービスを行う法人を認証する新規規則案作成に顧問サービス</li> <li>国連児童基金、労働社会保障省の支援で、子ども保護法の改正、新規編集、ソーシャルワーカーの道徳法の初期案作成に顧問サービス</li> </ul>
JICA との協力状況	JICA の「モンゴルにおける子どもの権利・保護法成立後の要保護児童支援制度定着化支援事業」で 2018 年に多職種専門家チームのソーシャルワーカー向けにハンドブック作成、2019 年にケースマネジメントのトレーナー育成研修参加、ファシリテーター研修に参加し、バヤンズルフ区第 16 ホローの若い保護者向けにファシリテーターとして 8 回のセミナーを行いました。



2021 年 4 月に開催された World Vision のダルハンウール県支局の依頼で行った「悪習慣予防」トレーナー育成オンラインセミナーの様子



JICA とセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンで開催したケースマネジメントのトレーナー育成研修を行う A.バトヒシグ代表



ウランバートル市の家族青少年開発庁の融資で家族支援実験プログラム評価の際に、家族のメンバー、家族支援活動機関の代表とのミーティング

団体名	ナル・サル・オユー
設立年	2013 年
住所	アルハンガイ県エルデネボルガン郡
電話番号	976-96969644, 976-85156023
E-mail	<a href="mailto:nrentsendorj2@gmail.com">nrentsendorj2@gmail.com</a> , <a href="mailto:damba_avraa@yahoo.com">damba_avraa@yahoo.com</a>
URL/Facebook	Avarzad Avraa, Рэнцэндорж Нарантуяа
代表者名	D. アワルザド、R. ナラントヤ
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナル・サル・オユーは、住民と障害者の教育を向上させるために貢献し、プログラムを実施し、子どもをリスクから予防する研修、セミナー、会合、面接を開催する活動基本方針で活動しています。アルハンガイ県で研修や会合を開催し、必要な住民に社会的・心理的支援を行っています。</li> <li>2018 年からアルハンガイ県で子ども保護、予防、リハビリ分野で多職種専門家チームメンバーを能力強化し、協力しています。</li> </ul>
日本・各国との協力状況	スイス開発庁の融資により、国際移住機関の支援で「移住者を私たちは助ける」プロジェクトを 6 か月間実施し、移住してきた住民に社会的・心理的支援を行ってきました。
JICA との協力状況	アルハンガイ県で JICA が行っている「モンゴルにおける子どもの権利・保護法成立後の要保護児童支援制度定着化支援事業」案件で、職員が「多職種専門家チーム能力強化」「ポジティブ・ディシプリン」研修のトレーナーとして育成されました。アルハンガイ県の家族青少年開発局と共同で、子ども保護の多職種専門家チームの能力強化研修を共同開催しています。

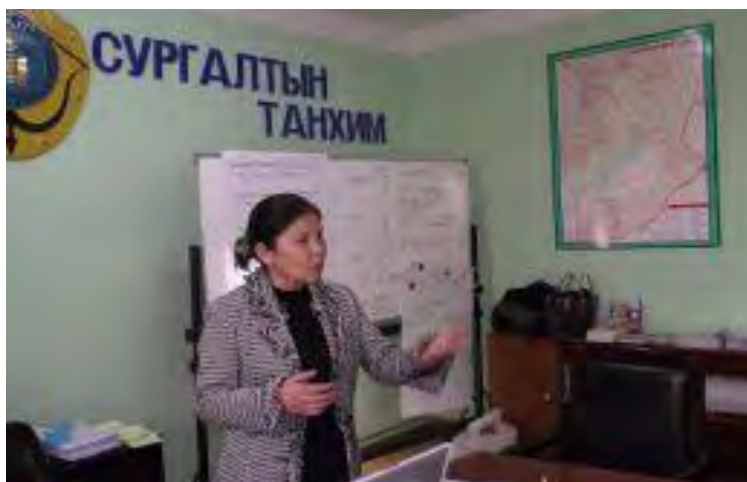


多職種専門家チームの能力強化



研修の様子

団体名	ウーマン・リーダー・ファウンデーション
設立年	2000年
住所	ウランバートル市スフバートル区平和大通り UBH Center7—718
電話番号	976-99099143; 976-99183611
E-mail	<a href="mailto:womanleaderfound@gmail.com">womanleaderfound@gmail.com</a>
URL/Facebook	Эмэгтэй удирдагч сан (Women Leader foundation)
代表者名	Kh. ボルガン、M. ポロルマー
活動内容	<p>ウーマン・リーダー・ファウンデーションは、2000年に設立されました。</p> <p><b>ビジョン</b></p> <p>ウーマン・リーダー・ファウンデーションは、社会に民主主義、正義、透明性、良いガバナンスを社会で発展させるのに女性の参加を増やし、ジェンダーの平等を確立し、女性の人権保護に貢献することをビジョンにしています。</p> <p><b>目的</b></p> <p>ウーマン・リーダー・ファウンデーションは、ジェンダーの平等を確立し、女性の人権を保護し、政治と決定機関における女性の参加と優等的立場を増やし、良いガバナンスを開発するのに女性の能力向上を目的としています。</p> <p><b>原則</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 女性が社会を変えるのに参加する機会をつくる</li> <li>• 政治に新しい評価、価値、傾向を開発する</li> <li>• 良いガバナンスの見本となる</li> <li>• 透明性がありオープンで、正義感があり、道理的であること</li> <li>• 社会参加、多様な見解を重視する</li> <li>• 社会に声を届け、啓発する</li> <li>• オープンな協力、パートナーシップを発展させる</li> <li>• ジェンダーの平等性を確立する</li> </ul> <p><b>目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ジェンダー主義、ジェンダー政策、プログラム作成、実施に政策提言し、モニタリング、評価を行い、提言書を作成する</li> <li>• 女性の参加を増やすために、女性の能力を国家及び地域レベルで、すべての分野において改善する</li> <li>• ジェンダーに基づく暴力反対、特に職場のセクハラ、人身売買の防止、啓発</li> </ul> <p><b>活動形態</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 啓発</li> <li>• 研修開催</li> <li>• ジェンダー評価、アドバイス</li> <li>• 調査</li> </ul> <p>2021～2023年の活動方針</p>

	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 女性の優等的立場、決定機関レベルにおける参加を増やすために、2000年からプロジェクトを実施しています。</li> <li>2. 女性の権利保護、特に職場におけるセクハラを撲滅するために、2002年から現在まで活動しています。</li> <li>3. 気候変動と女性、ジェンダー分野で2017年から低所得者層の女性、子どもたち、家庭病院、県、地方に住む女性、国民議会と協力し、プロジェクトを実施しています。</li> <li>4. フェミニスト運動を拡大し、女性の権利保護分野で、若者世代を育成する活動を行っています。</li> <li>5. ジェンダー政策プログラムを作成する際のジェンダー調査を行う経験があり、また政策作成、決定機関レベルに政策提言活動を行っています。</li> </ol>
日本・各国との協力状況	<p>ウーマン・リーダー・ファウンデーションは設立以来、アジア基金、世界銀行、オープンフォーラム、国連開発計画、Mama Cash、Global Women's fund、Canada fundの支援で、プロジェクトを実施すると共に、Information center for Women's Education in Japanから関連季刊誌を受け取っています。</p> <p>2004年に在モンゴル日本国大使館の草の根・人間の安全保障無償資金協力案件で、シングルマザー向けに雇用を作り、小さい産業を興し、ウランバートル市とボルガン県に研修センターを設立しました。</p>
JICAとの協力状況	





団体名	思春期世代の発達センター	
設立年	2005 年	
住所	ウランバートル市スフバートル区第 6 ホロー、バガトイロー、ノゴーンウルランタウン 73—1 ビル	
電話番号	976-11-324333、976-99028922	
E-mail	enkhtuya@adc.org.mn	
URL/Facebook	Өсвөр Үеийнхний Хөгжлийн Төв/ADC	
代表者名	D. エンフトヤ	
活動内容	<p><b>目的:</b> 子どもや思春期の若者たち（12～22 歳）の発達、保護、社会参加の分野で国内外の NGO、国際機関、政府機関と積極的に協力し、新規プロジェクトを地方のチーム、ボランティアと共に開催し、効果的に実施することが私たちの目的です。</p> <p><b>活動分野:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> リスク下にある子どもや思春期の若者たちの権利、義務、参加、生活の知恵・知識能力を高める様々な研修方法を作成し、実施し、社会で自立した正しい人間になることを手伝う。</li> <li><input type="checkbox"/> 青少年の将来の専門選択に役立つ助言・情報を与える。</li> <li><input type="checkbox"/> 子ども、家族との活動に興味がある地方の生徒、ボランティアを支援し、能力強化し、参加を増やす。</li> <li><input type="checkbox"/> 子どもに対する暴力、人身売買や売春を防止する協力活動強化に貢献する。</li> </ul> <p><b>協力機関:</b></p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;">モンゴルボランティア団体（2005 年～）</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;">子どもの労働反対国家ネットワーク（2008 年～）</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;">すべての教育のために国家連合（2005 年～）</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;">人身売買防止 NGO 国家ネットワーク（2008 年～）</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;">子どもの権利フォーラム（2019 年～）</div> </div>	

<p>日本・各国との協力状況</p>	<div data-bbox="481 285 570 440" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="594 282 1190 343">ECPAT - / End Child Prostitution Child Pornography and Trafficking of Children for Sexual Purposes/</p> <p data-bbox="594 397 1190 504">子どもをすべての性的搾取、人身売買から守る国際ネットワーク機関加盟、モンゴルにおけるコーディネーター機関として2005年から活動しています。</p> <ul data-bbox="470 517 1190 624" style="list-style-type: none"> <li>2014～2020年に国際移住機関（IOM）と共同で、モンゴル国内で移住した家族と青少年の権利を保護し、知識情報を広め、地方行政機関、人々と協力するプロジェクトを実施しました。</li> </ul> <div data-bbox="436 643 721 823" data-label="Image"> </div> <ul data-bbox="738 639 1190 861" style="list-style-type: none"> <li>2012～2020年にカナダのドゥフレスネ・ゴッテリー基金の支援で、思春期の低所得者層の女子を性的搾取や人身売買から保護する「ドリーム・キー」プロジェクトを実施し、毎年25～30名の女子をリスクから保護し、将来の正しい生活のために準備させるプロジェクトを実施してきました。</li> </ul>
<p>JICA との協力状況</p>	



人権についての知識を持ち、違いを尊重し、ジェンダーについて理解するガールスカウト「虹の戦士たち」





団体名	女性、子ども開発センター
設立年	2003 年
住所	ウランバートル市チンゲルテイ区第 2 ホロー、イフトイロー15、1 レンタロン 422 号室
電話番号	976-94443347
E-mail	wcdc.mn@gmail.com
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/wcdc.mn">https://www.facebook.com/wcdc.mn</a>
代表者名	ブレンジャルガル
活動内容	シングルマザー、低所得者層の女性とその子どもたち、孤児の教育、健康を支援し、生活の知恵を与え、研修を開催しています。
日本・各国との協力状況	グローバルファウンデーションの支援で HIV、結核プロジェクトを 2012 年に実施しました。
JICA との協力状況	

団体名	リベラルウーマン知識基金 NGO
設立年	1992 年
住所	ウランバートル市スフバートル区第 8 ホロー、GB センター3 階 302 号室
電話番号	976-77007999、976-99992552、976-95099699
E-mail	info@leos.mn
URL/Facebook	Либерал эмэгтэйчүүдийн оюуны сан
代表者名	Ts. ブジドマー、G. デルゲルスレン
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>リベラルウーマン知識基金は 1992 年に設立され、21 の県に支部を持つ全国規模の NGO です。</li> <li>モンゴルにおける男女平等、社会のすべての分野で女性が能力、経験を活かして参加できる社会の正当な制度を整えるのに、会員を通じて貢献することを団体の目的にしてきました。</li> <li>女性の優等性、政治参加、有権者教育の分野で活動し、人権、自由、社会の平等、管理職における女性の参加を増やすために研修、調査、啓発活動を行っています。</li> <li>設立以来、管理職の女性数を増やし、国民社会団体の能力強化分野で、継続的に 29 年目の活動を行っています。</li> <li>モンゴルにおける住民社会参加に大きな影響を与える女性たちの NGO を設立するのに、リベラルウーマン知識基金の貢献が不可欠で、リベラルウーマン知識基金から全 36 の団体が支部として誕生し、活動を行っています。</li> <li>リベラルウーマン知識基金は設立以来、政治の男女平等、女性の経済能力向上、決定機関に住民参加を増やす、行政機関の活動、予算、資金、調達過程の透明性を確保するために国民への情報開示を求め、国民社会団体の能力強化のための多くの案件プログラムを実施してきました。</li> </ul>
日本・各国との協力状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>1994 年に日本と東アジアの女性たちの初フォーラムに、当団体の 5 名の代表団がモンゴルを代表し参加しました。</li> <li>2002 年にさいたま市で行われたアジア女性フォーラムにモンゴルの女性 NGO を代表し、当団体から 2 名の代表が参加しました。</li> <li>2013～2015 年に国連女性、ジェンダー平等基金の支援で「国家の発展に女性の優越性」プログラムを実施し、650 名の立候補女性を育成し、有権者教育支援、啓発活動で約 8,000 名と活動しました。</li> <li>2016～2019 年にカナダ政府、アジア基金の支援で「賄賂のない社会のために国民監査」プログラムを実施し、地方予算資金の調整、行政の購入事業の 80 近くの問題を選びモニタリングを行い、助言を提出しました。</li> <li>2020 年にアメリカの開発実施庁、広報担当の支援で「若者、女性の政治、選挙参加強化」案件を実施し、21 の県で 5,000 名近くの若者、女性を対象に活動しました。</li> <li>2020～2022 年に国連開発計画の支援で、モンゴル国政府顧問が実施している「モンゴルにおける専門的、国民中心の政治形成」案件で「政府の</li> </ul>

	<p>ジェンダー平等」案件を実施しています。この案件で「女性の優越性の総括的プログラム」を作成・実施し、将来行政分野で実施するために、行政顧問の2021年5月11日閣議で承認されました。</p> <p>行政におけるジェンダーの平等を確立し、管理職で働いている女性公務員のキャリア開発を支援する目的のこのプログラムは、リーダーシップ研修、メンタープログラム、コーチング研修といった3つの構成で、参加者を3か月間研修に参加させ、知識と経験を積み、成功している行政社会のお手本と新時代のリベラリストから学ぶチャンスをつくり、コーチングの方法を学ばせています。この総合的プログラムに2020年に5名、2021年9、10、11月に3グループ総勢71名の女性公務員が参加しました。</p>
JICA との協力状況	



Canada



ЛИБЕРАЛ ЭМЭГТЭЙЧҮҮДИЙН ОЮУНЫ САН



7700 7999



www.leos.mn





団体名	モンゴル女性労働支協会 NGO
設立年	2014 年
住所	ウランバートル市第 1 ホロー平和大通り 35、UBH center7 階 701 号室
電話番号	976-70137083, 976-88683128
E-mail	<a href="mailto:Mwesf1@gmail.com">Mwesf1@gmail.com</a>
URL/Facebook	<a href="http://www.facebook.com/Монголын-Эмэгтэйчүүдийн-Хөдөлмөрийг-Дэмжих-Холбоо-793447314190280">www.facebook.com/Монголын-Эмэгтэйчүүдийн-Хөдөлмөрийг-Дэмжих-Холбоо-793447314190280</a>
代表者名	Shi. アリウナー
活動内容	<p>モンゴル女性労働支援協会は 2014 年に設立され、女性が就労し、収入を得るのに如何なる暴力や圧力も受けずに、政治、社会、文化、社会の権利を完全に有することができるという見解の上で、自発的に集まった、非営利、非政党の非政府組織です。</p> <p>私たちは女性の能力強化、女性の労働、経済活動への参加を増やし、政策決定者に啓発するために研修、調査、政策提言活動を行い、ウブルハンガイ県、フブスグル県に支部を置き、活動しています。</p>
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	



## MONGOLIAN WOMEN'S EMPLOYMENT SUPPORT FEDERATION

**NON PROFIT, NON POLITICAL PARTY, NON GOVERNMENT ORGANIZATION**

### BRIEF INTRODUCTION

**Our beliefs:**

Girls and women can be free from violence and enjoy social, cultural, political and economic rights as long as they can work and earn their own income.

**Our mission:**

Promote Mongolian women's employment and uphold economic benefits

**The principle:**

Implement the principle of corporate governance. Open and transparent. Participation is ensured and decided by majority vote. Based on voluntary membership.

### GENERAL INFO ABOUT OUR ACTION

**in 2014:**

Five women were created on the initiative to work for the realization of women's labor rights.

A report on the subject of "Discrimination" was prepared in the Human Rights Status Report to the UN Human Rights Committee, supported by the Open Society Forum.

Nine delegates participated in the Global Summit of Women in Paris, France.

**In 2015:**

We organized the National Summit on Employment and Women's Rights, outlining the current need for women to have a child by raising children. Women have also been offered suggestions on labor law and the Family Law, which are being amended by state policy to address this need. Workshop on Sexual Abuse of the Workplace (IAF) has begun.

**In 2016:**

With the support of MONES, we continued the training and awareness-raising programs for citizens, students. Advisory work is done on the Open Government Partnership plan with the support of the Asian Development Bank. We lead policy awareness project about "The impact of the 5 package law reforms" with the support of the Open Society Forum.

11 delegates participated in the Global Summit of Women in Tokyo, Japan.



We organized the Employment and Women's Rights Forum was held at the Government House in March 2015 and was attended by more than 800 women.



Each season we organized "Early bird" meeting and discussion women's issues with members.



Every year we participate and co-organized international Human Rights day to promote women's labor rights.



We created some Recommendations on how to prevent sexual harassment at work for the public.



We has been attending the Global Women's Summit since 2014. It is a travel program aimed at learning from the best women in the world and developing your business.

Утас: +976 70137083, +976 99895070 и-мэйл: mwesf1@gmail.com  
пэяж, page name: Монголын эмэгтэйнүүдийн хөдөлмөрийг дэмжих холбоо



# MONGOLIAN WOMEN'S EMPLOYMENT SUPPORT FEDERATION

## NON PROFIT, NON POLITICAL PARTY, NON GOVERNMENT ORGANIZATION

### In 2017:

With the support of the Open society forum, we had been implementation of the "Administrative law" was monitored and evaluated by the SMD and SRL of the Chingeltei district.

With the support of the MONES, the project entitled "Chance for change I&II" has been implemented with the participation of women and citizen's working on the rubbish dump.

9 delegations was participated the global Summit women, and participated a the tour in Tokyo, Japan.

### In 2018:

with the support of the International Chanel Fund and the MONES, awareness-raising, and outreach activities project has been to make policy advocacy to the NHRC and the female Parliament Members. The project's objective is to put protect issues in the reupdating Labor law to legislate against sexual harassment in work and establish responsibility for the Violation law.

We did "Vulnerable group's human rights" project is being implemented to sent UN Human Rights Council. We organized the group discussions with the government body about the Girls, women's rights information.

Six delegates participated in the Global summit of Women in Sydney, Australia.

### In 2019:

With the support of the Mongolian Human Right's Forum we prepared Vulnerable group rights report and presented in Bayankhongor, Uvurkhangai, Gobisumber, Dornogobi and Bayan-Ulgii province's citizen and presented to Government agencies and they defended their Human Rights Report. All meeting was organized about more than 300 people.

We sent the report to the UN Human Right's Council for UNIVERSAL PERIODIC REVIEW.

Another program was the Sustainable Development goals NGO report. We prepared and discussed with NGO partners SDG8 decent work for women. In this program, we organized more than 10 meetings with NGOs and government bodies. We successfully report and published the report and sent it to the UN with the NGO network of SDG.

### STRATEGIC GOAL FOR 2020-2022

MWESF aims to promote knowledge about girl's and women's labor rights and economic participation and environmental justice. To reflect in policy decisions, improve women's labor rights and to monitor their implementation.

The strategic goal will be implemented through the following 2 main programs:

1. Women's rights protection and advocacy program.
2. Program to strengthen women's movements for social, economic and



Phases I and II of the "Possibility to Change" project to support women living by manual waste sorting at landfills were implemented with the support of MONES. We conducted a study on the quality of living and working environment of about 100 people working at the Tsagaan Davaan landfill, and organized the necessary training and community work for about 600 people in duplicate.



We organized lot's of meeting with government body. Female Parliament members were introduced to the need and formulation to specify sexual harassment in the workplace under the revised version of the Labor Law. It was decided to get their support in this matter.



The first branch of the MWESF was established on May 31, 2019 in Uvurkhangai aimag. They started their careers with the creation of the Dhama Barinta and won an international project. Our branches are being established in Khuvsul, Gobi-Altai, Selenge, Dornod, Khentii and Umnugovi aimags.



The Chairman of the Constitutional Texts sent a request to the members of the Parliament on issues related to the NPC and organized some actions with the media.





**MONGOLIAN WOMEN'S EMPLOYMENT SUPPORT FEDERATION**  
NON PROFIT, NON POLITICAL, NON-GOVERNMENT ORGANAZATION  
ULAANBAATAR, UVURKHANGAI, KHUVSGUL

**ANNUAL REPORT 2020**

**We are:**

Established in 2014 on a voluntary basis, it is a self-governing NGO with branches in Uvurkhangai and Khuvsgul provinces.

**Our beliefs:**

As long as girls and women have jobs and incomes, they can be free from violence and enjoy their social, cultural, political and economic rights.

**Mission:**

Contribute to the right of girls and women to work and equal economic opportunities

**STRATEGY 1: Influencing to protect the labor rights:**

The Ministry of Labor and Social Welfare, the Government and members of the Parliament agreed the issue after many monitored and evaluate the implementation of the policy and legal environment, publicize it, conduct research and influence the situation, and report to the UN Human Rights Committee and the Women's Committee.

**СТРАТЕГИЯ 2: To improve women's empower:**

As part of the campaign to empower girls and women for labor rights, economic and environmental justice, and to strengthen leadership capacity, a total of more than 300 citizens and women were educated on human rights, labor rights, and gender equality.

**Programms in number:**



Analysis of **42** legal, policy and research documents

**974**

questionnaire survey



Meetings with more than **50** target group women in Ulaanbaatar, Uvurkhangai and Khuvsgul aimags



**5** upper and middle level discussions

**COVID 19**  
ADVOCACY

**763** people demand to Government: rent, interest rate unemployment benefits

**300** women are participated the training



**63** times Official requests and demands to members of the Parliament, the Government and relevant officials



**23** legal advice and information services for women



**ЭРТЭЧ ШУВУУХАЙ**

МОНГУЛ ТБС

More than **80** members and supporters meetings



НҮБ  
-Хүний Эрхийн Хоргоо  
-ЭЗНХоргоо

Утас: +976 70137083, +976 99895070 e-mail: mwesf1@gmail.com

Facebook page: Монголын эмэгтэйчүүдийн хөдөлмөрийг дэмжих холбоо

団体名	わたしの家協会 NGO 所属「わたしの家」孤児院
設立年	1998 年
住所	ウランバートル市バヤンズルフ区第 26 ホロー、イフモンゴル地区 901 番棟 1 号室
電話番号	976-91913482 , 976-90903482
E-mail	<a href="mailto:Enhtsetseg972@yahoo.com">Enhtsetseg972@yahoo.com</a>
URL/Facebook	Enhtsetseg Aaya Taij
代表者名	N. ガーマー
活動内容	孤児に対する養護、福祉活動を行っています。
日本・各国との協力状況	<p>1998 年から東京大学教授が「わたしの家協会 NGO」の G. エンフツェツェグ代表らと低所得者層の子ども、家出した子ども、障害児、シングルマザーについて 5 年間調査を行い、14 世帯 18 名の子ども、10 世帯の母子家庭に援助・支援を行ってきました。</p> <p>2003 年から 1～3 歳の 8 名の子どもたちを受け入れ、ウランバートル市子ども保護国家センター提言書特別許可に従い、24 時間体制で 4 名の職員と「ゲル・エージ」福祉センターを開所しました。現在、1～21 歳の 42 名がここで生活しています。</p>
JICA との協力状況	

## Манай гэр 1.2

Асрамжийн газрын үйл ажиллагааны товч танилцуулга

Анх 1998 оноос эхлэн Япон улсын иргэн, Токиогийн их сургуулийн Багш Аратамэ – Кэн манай гэр бүл Нийгэмлэг ТББ-н тэргүүн Г.Энхцэцэг нар нийгэм дэх эмзэг бүлгийн хагас, бүтэн өнчин, орон гэрээсээ дайжсан, хөгжлийн бэрхшээлтэй хүүхдүүд, өрх толгойлсон эмэгтэйчүүдийн талаар 5 жилийн хугацаанд судалгаа явуулж 14 өрхийн 18 хүүхэд, 10 өрх толгойлсон эмэгтэйчүүдийн гэр бүлтэй хамтарч тэдэнд тусламж дэмжлэг үзүүлж ирсэн юм.

1. 2003 оноос эхлэн 1-3 насны 8 хүүхдийг Улаанбаатар хотын ХХҮГ-ын захирамж тусгай зөвшөөрлийн дагуу 24 цагаар 4 ажилтантай / Гэр ээж/ халамжийн төв нээн ажиллуулсан.

2. 2003-с эхлэн 1-16 насны 86 хүүхдийг түр байрлуулах, эрүүлжүүлэх, сургууль цэцэрлэгт хамруулах, орон гэрт нь буцаах, төрөл саданг нь олж өгөх ажлыг тасралтгүй явуулж эхэллээ.



21 дарь эхийн дуулалт бүжиг



21 тамцын бүжиг



3. "Дуугаар хөлөглөсөн ирээдүй" урлагийн их наадамд оролцох мөнгө хүрэл медаль авч үргэлжлүүлэн Монголын анхны хүүхдийн хамтлаг Бөөгийн бүжиг, 21 цамын бүжиг, 10 хангал 21 дарь эх зэрэг үндэсний дуулалт бүжгийг дэглэн олны хүртээл болгосон.

4. Хүүхдүүдийг уран хатгамал, уран холбоо, наамал шигтгээ, хувцас, эсгүүр оёж, бүтээхийг зааж сургаж амьдралд бэлтгэн, урлаж бүтээхийн ач тусыг заан сургасан. Хүүхдүүдийн урласан бүтээлээр 2 удаагийн хүүхдийн үзэсгэлэн гаргасан.



5. Одоогийн байдлаар 5 – 19 насны 25 хүүхдийг БЗД-н 26-р хороо Их Монгол хорооллын арын орс, 1 тоотод, 19- 21 насны 10 хүүхдийг БЗД-н 1-р хороо 26 байрны 16 тоотод 2 салбартайгаар асрамж халамжийн үйл ажиллагаа явуулж байна

6. 2015 оноос эхлэн хүүхдүүдэд байгаль орчиноо хайрлах, ургамал ногоогоо хайрлах, идаж буй ногоогоо ургуулж, тэрхь сургах ажлын хүрээнд хүлэмж, ногоон талбайг байгуулан хүүхдүүдийг ногоо тарих ухаанд суралцуулан, үргэлжилсээр байна.

7. Түшиг, 22-р цэцэрлэгт СӨБ боловсрол, 2, 133-р сургуульд тус тус хүүхдүүд боловсрол эзэмшиж байгаа бол Хамаг Монгол МСҮТ, Эрдэнэ Сумын МСҮТ, Донбоско МСҮТ, Баянчандмань МСҮТ-г нийт 8 хүүхэд төгсөж мэргэжил эзэмшин, мэргэжлээ дээшлүүлэхээр Эко Ази Дээд сургуульд 3 хүүхэд, Сити Их Сургуульд 2 хүүхэд тус тус бакалаврын зэрэг эзэмшин төгссөн.

8. М.Батжаргал, Б.Амгаланбаатар нар нь 2019 – 2020 оны хооронд Япон улс руу Их Сургуулийн Үйлдвэрийн дадлага амжилттай хамгаалаад ирсэн.

9. Б.Батдорж нь 2019 онд хугацаанд цэргийн албанд татагдан, цэргийн алба амжилттай хамгаалж халагдан ирсэн. Одоо Үндэсний аврах бригадд сувагчгаар ажиллаж байгаа.





Б.Батдорж-г Цэргийн албанаас халагдахад нь НОСК-с 1 ерөө байрны батламжийг гардуулж өгөв.

Мөн М.Батжаргал нь МХН Цогц чарамж академид Албан хэрэг хөтлөлт, Нарийн бичиг мэргэжлээр амжилттай төгссөн. 2021 оны 10 сард Япон улсын Сайтама хот дахь EINKOKU сургуульд суралцахаар болсон.



Амьдрах ухаанд бэлтгэгдэн Ногоон тарьж, гурил бүтээгдэхүүнээр талх нарийн боов хийж сурсан.



Улаанбаатар хот, Баянзүрх дүүрэг, 1-р хороо  
26-р байр 16 тоот

БЗ дүүргийн 26-р хороо, Их Монгол хороолол,  
901 байр -1 тоот

Утас: 91913482

И-хэйл: enhtsetseg972@yahoo.com



# МАНАЙ ГЭР

## Асрамжийн газар

### БИДНИЙ ЗОРИЛГО

Манай хамт олон хүүхдийг гэрийн нөхцөлд таатай, тайван, аюулгүй, өвчингүй, дарамт шахалтгүй орчинд асарч, боловсрол эзэмшүүлж, чөлөөт цагийг нь зөв таатай өнгөрүүлж, авьяас чадварыг нь хөгжүүлж, амьдрах ухаанд бэлтгэнэ.



団体名	モンゴル SOS 子どもの村
設立年	2002 年
住所	ウランバートル市バヤンズルフ区第 16 ホロー、16 地区ウランホアラン通り 1
電話番号	976-11-451702
E-mail	Sos.Mongolia@sosmon.mn
URL/Facebook	
代表者名	Ts. ツェレンダワー
活動内容	<p>SOS 子どもの村インターナショナルは、72 年間子ども向け福祉サービスの 1 つである家族に基づいたサービスを、世界の何百万の子どもたちに行ってきました。同団体のモンゴル支部モンゴル SOS 子どもの村は、2002 年から活動を行っていて、現在約 2,400 名の子どもを対象に、安全な家庭環境で生活し、教育を受け、社会で自立して生活できる個人にするとともに、子どもが家族から離れるリスクを予防し、家族を支援しています。</p> <p>19 年間にモンゴル SOS 子どもの村は、青少年、家族の変わりゆくニーズに合わせて活動を広めてきました。現在私たちは 2 つの SOS 子どもの村、2 つの若者対象サービス、1 つの家族支援プログラムを通じて、援助、支援が必要な青少年と家族を対象にサービスを行っています。</p> <p>SOS 子どもの村で生活している子どもたちは、普通の家族と同様に SOS のお母さんと一緒に生活し、幼稚園、小学校に通うと共に、NGO が主催している補講授業（数学、モンゴル語など）、チェス、歌、ダンスのクラブにも通っています。子どもたちは 1 つの家族として一緒に生活しています。</p> <p>若者対象サービスで生活している若者たちは、NGO が主催しているセミナー、活動に参加し、将来自立して生活する生活の知恵、能力を学び、社会におけるマナー、コミュニケーション能力を学ぶなどのセミナー、活動に参加しています。</p> <p>家族支援プログラムでは、子どもが両親、兄弟と一緒に参加し、同プログラムで開催している教育、保健、セミナー、カウンセリング、援助、支援などの活動の対象になります。また両親が裁縫や木工の研修に参加することで、子どもや家族に服を作ってあげる、自分の家の修理など多くのことを自立してできるようになります。これは将来、その家族の経済状況にもプラスの影響を与え、子どもが家族と一緒に生活するチャンスをつくっています。</p>
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	

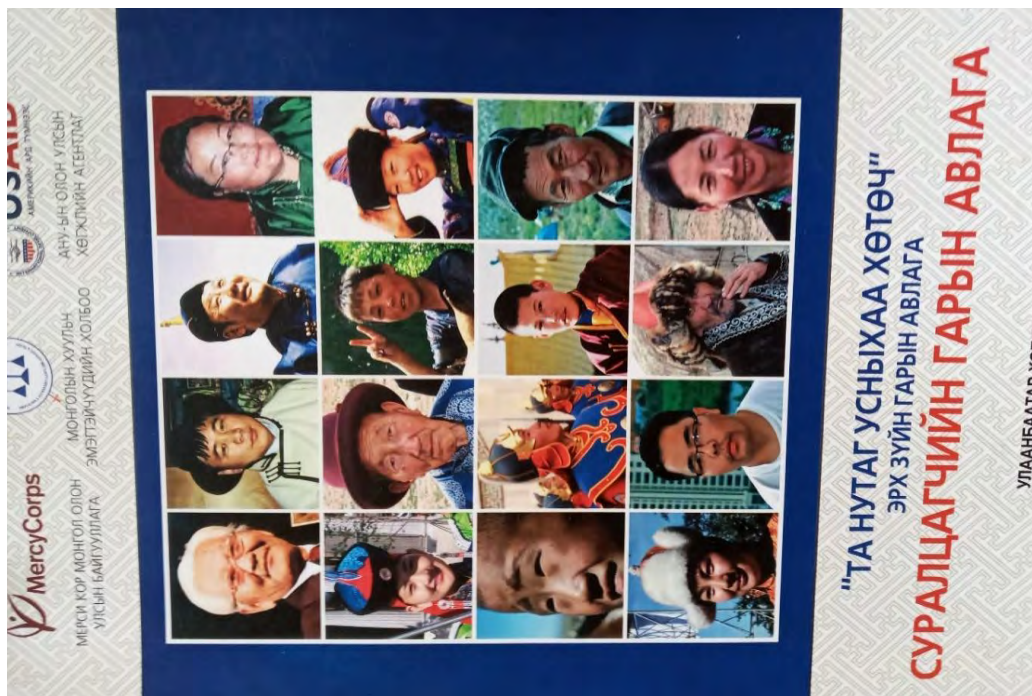




団体名	モンゴル女性法律家協会
設立年	1992 年
住所	ウランバートル市スフバートル区第 6 ホロー、若者通り 2/1
電話番号	976-99115479, 976-99272868, 976-1322212
E-mail	<a href="mailto:Mwla1992@gmail.com">Mwla1992@gmail.com</a> , <a href="mailto:badraadolgor@gmail.com">badraadolgor@gmail.com</a>
URL/Facebook	Монголын Хуульч Эмэгтэйчүүдийн Холбоо
代表者名	B. ドルゴル
活動内容	<p>モンゴル女性法律家協会は、法律家専門の女性たちが集まり、すべての県と区に会員と支部を有し、社会向けサービスを行う NGO であり、来年 30 周年を迎えます。理事会会員 19 名、監査顧問 3 名の幹部で構成されています。</p> <p>モンゴルにおける法改革と法制度を進化させ、ジェンダーの平等性、国民の法的知識を高めるのに貢献する目的で法的サービス、法教育、政策提言、調査、法案作成の分野で活動してきました。家庭内暴力防止法、人身売買防止法、ジェンダーの権利平等法案を作成し、国民、家族、労働などの法律を改正し、人権、ジェンダー、反汚職の方針で政策、プログラムを作成し、法律、政策の実施に調査を行い、ジェンダーの詳細な調査を行い、自然保護に国民の参加を増やすなどの分野で活動を行っています。</p>
日本・各国との協力状況	<p>協会が設立された 1992 年に、初めて日本の女性法律家をモンゴルに招待し、協力関係を築き、これが国際協力のスタートになったことを、私たちは誇りに思っています。この協力の一環で、モンゴルの法律家女性らが 1994 年に日本で視察旅行を行い、専門機関の経験を調査し、関係を確立しました。また、1 名の職員が日本の修士課程で学びました。</p> <p>モンゴル女性法律家協会は国際女性裁判官協会の会員で、定例会議に継続的に参加しています。韓国、台湾の女性法律家協会と姉妹関係のほか、国際会議、協議会に常に参加しています。国際機関と常に協力を発展させてきた例を述べると、世界女性基金、国連開発計画、国連人口基金、EU、ILO、世界銀行、アジア開発銀行、ドイツの GIZ、アメリカの USAID、オーストラリアの AusAID、国際移住機関 (IOM)、スウェーデン開発庁、チェコ開発庁、国際法機関 IDLO、ソロス基金、カナダ基金、アジア基金、チェコの people in need、MercyKorps、ノルウェーの援助機関、ドイツ、オランダの大使館などの機関と協力し、毎年 1~2 件のプロジェクトを実施してきました。</p>
JICA との協力状況	







団体名	フグジリーン・ヘルヘーNGO
設立年	2006年
住所	ウランバートル市バヤンズルフ区第19ホロー、ツァイズ49番通り8号
電話番号	976-91193364,976-91091206
E-mail	Hogjliinhelhee_center@yahoo.com
URL/Facebook	Development Alliance
代表者名	A. ドルゴル
活動内容	<p>2006～2009年にアルコール依存の10世帯、2009～2011年に養育者のいない子どもとその家族、2011～2021年にリスク下にある子どもたちとその家族を対象に、活動してきました。</p> <p>行っているサービス；</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会福祉サービス</li> <li>● 子どもの発達</li> <li>● 社会参加</li> <li>● 心理カウンセリング</li> <li>● メンタルケア</li> <li>● 子どもデイサービス</li> </ul>
日本・各国との協力状況	<p>2009年 ILO</p> <p>2012年カナダ基金</p> <p>2013年カナダのドゥフレネ・ゴリエトリー基金</p> <p>2020年韓国のKOIKA</p> <p>2021年 World Vision</p>
JICAとの協力状況	



団体名	児童発達支援センター
設立年	2009 年
住所	ウランバートル市バヤンゴル区第 17 ホロー、アマルバヤスガラン通り 7、ゴルワン・エルデネ教師大学 101 号室
電話番号	976-99275022
E-mail	<a href="mailto:amandakh5022@yahoo.com">amandakh5022@yahoo.com</a> ; nmandah5022@gmail.com;
URL/Facebook	
代表者名	A. ナランマンダフ
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 就学事前教育改革政策の一環で、教育科学省就学事前教育担当部、国連児童基金、ゼーブ・ザ・チルドレン・ジャパン・モンゴル事務所と共同で、就学事前教育を受けていない子どもの両親、保護者にセミナー、ハンドブック作成、啓発活動を継続的に行っています。</li> <li>2. 教育科学省の戦略的政策計画局の意向で、就学事前教育機関の教育環境スタンダードを作成し、モンゴル規格度量衡庁が承認し、各幼稚園をこれに従い運営しています。</li> <li>3. モンゴル教員研修センター（ITPD）の許可で、2011 年から幼稚園の幹部、幼稚園教諭、教諭アシスタントらの能力向上研修、アドバイス支援、メンタル活動を行っています。</li> <li>4. 2010 年から幼稚園教諭アシスタント育成研修を、2021 年 3 月まで自立的に行った経験があります。2021 年 6 月からゴルワン・エルデネ教育大学の幼稚園教諭アシスタント育成研修を担当しています。</li> <li>5. 国連児童基金「児童の総合的発達」プロジェクトの一環で、トレーナー向けハンドブック、両親向けアドバイスブック、シリーズ教育モジュールを作成し、バヤンホンゴル県、ウヌムゴビ県、ゴビアルタイ県、ザブハン県の 8 つの郡、バヤンズルフ区第 17 ホローの両親、保護者と活動するトレーナーの育成、県のアドバイスチームの育成能力向上研修活動を管理しています。プロジェクト期間は 2021 年 3 月～2022 年 5 月までです。</li> </ol>
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	





団体名	モンゴル女性基金
設立年	2000 年
住所	ウランバートル市スフバートル区バガトイロー、第 6 ホロー、48 番棟 305 号室
電話番号	976-77119991
E-mail	<a href="mailto:info@mones.org.mn">info@mones.org.mn</a>
URL/Facebook	MongolianWomensFund
代表者名	B. アグニ
活動内容	<p>モンゴル女性基金は女性たちの非政府組織で、地方の団体に財政及び技術支援を行うことで、女の子と女性を強くし、社会改革を行うことを目的としている NGO です。この 20 年間で、モンゴル女性基金は、200 万 USD 相当の全 752 の給付金を下記に供与しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フェミニスト活動家、人権保護活動家、女性、女の子自身が管理する機関、女性リーダーによる地方住民に依拠した団体</li> <li>社会で差別を受けた、サービスが届かない女性と女の子、中でも特に貧しい、若い母親たち</li> <li>ジェンダーに基づく暴力、中でも性的暴行に遭った女の子たち</li> <li>全国及び地方レベルにおける女性リーダー、決定者</li> <li>女性実業家、小規模ビジネス実業家</li> <li>自然環境の不正な状況、気候変動、鉱山事業の悪影響を受けた田舎の女性、地方住民</li> </ul> <p>これらの給付金を実施するのに貧困や、田舎の遠隔地に住む女性、女の子が収入を得られる活動に財政的支援、ジェンダーに基づく暴力被害者保護施設の活動経費を融資し、鉱山事業の悪影響を受けた地方住民の権利保護戦略的弁護を行い、女性リーダーの住民社会及び地方住民団体の能力強化、職場におけるハラスメント、中でもセクハラを予防する政策提言を行い、全国及び地方レベルで法律作成者、政策策定者と活動するのに支援を行ってきました。</p>
日本・各国との協力状況	<p>The Global Fund for Women、MamaCash は、モンゴル女性基金設立時から手を差し伸べた初めての機関で、2001 年に 57,000USD の支援を供与しました。政府の融資団体、女性基金、国連及び EU などの国際機関の信託基金、国内企業から資金調達し財源を拡大しています。</p>
JICA との協力状況	



Асан харна  
Эрхээ зорилго

Эмэгтэйчүүдийн тэгш эрхийг хангаж, тэд өөрсдийгөө бүрэн гүйцэд илэрхийлж, нийгмийн оролцогч гол хүчин байж, хүндлэгдэх.

Монголын эмэгтэйчүүдийн хөгжил дэвшлийн төлөө нөөц, баялаг, мэдлэг, арга ухаан хуримтлуулж, санхүүгийн болон мэдлэг арга зүйн дэмжлэг үзүүлнэ.

Эмэгтэйчүүдийн өөдрөг тэмүүлэл, гярхай нүд, уян ухаан, нандин арга, хязгааргүй эрч хүч манай нийгмийг шударга, тэгш болгон өөрчилнө гэдэгт итгэдэг.

Охид, эмэгтэйчүүдийн эрхийн зөрчлийг багасгахын төлөө **хөрөнгө босгодог.**

Охид, эмэгтэйчүүдийн бүтэцлэл оролцоо, дуу хоолойгоо нэмэгдүүлэх, эмэгтэйчүүдийн эрхийн зөрчлийг зогсоохын төлөө тэдний хамтын ажиллагааг **дэмждэг.**

Нийгмийг өөрчлөхийн төлөө хандив өргөх филантропи үзэл санааг **түгээн дэлгэрүүлж байна.**

**БИД** БИД ДАРААХИ 5 ЧИГЛЭЛЭЭР ЭМЭГТЭЙЧҮҮДИЙН ТӨРИЙН БҮС БАЙГУУЛЛАГА, БҮЛГҮҮДЭД ТЭТГЭЛЭГ ӨЛГӨЖ БАЙНА.





団体名	社会パートナーシップネットワーク NGO
設立年	2004 年
住所	ウランバートル市チンゲルテイ区第 4 ホロー、バガトイロー18/1-10
電話番号	976-11-329888, 976-99192169,976- 99030762
E-mail	<a href="mailto:nts2019rsc@gmail.com">nts2019rsc@gmail.com</a> , <a href="mailto:tsevelmaaenkhuya@gmail.com">tsevelmaaenkhuya@gmail.com</a>
URL/Facebook	<b><u>Social Partnership network/Нийгмийн Түншлэлийн Сүлжээ/</u></b>
代表者名	Ts. エンフトヤ
活動内容	<p>社会パートナーシップネットワークは、住民、団体、職員、地方団体のパートナーシップ、協力を発展させ、地方の社会、経済の持続的発展を支援する目的の NGO です。社会パートナーシップネットワークは、デンマーク・モンゴル協会が社会の低所得者層に社会福祉、サービスを行い、ソーシャルワーカーを育成する過程で誕生し、地方のソーシャルワーカーの協力、パートナーシップの成果として 2004 年に設立されました。同団体はメンバー約 2,000 名、県、首都の地区の全 12 か所に支部があります。</p> <p>保護下でない子どもたちに学習の機会を与えて専門を身につけさせ、低収入世帯住民の能力強化、貧困をなくすのに貢献し、地方で住民の社会団体を強化する案件を実施し、約 400 の貯蓄信用機関を設立しました。これに基づき約 200 のマイクロ、小規模ビジネス実業家の能力強化、特許権や許可所有企業、組合を設立しました。地方で社会パートナーシップネットワーク、その支部を強化し、人々に知られるようになりました。社会パートナーシップネットワークは、オランダ国際開発機関及び CISU から財政援助を得てきました。また、デンマーク・モンゴル協会と効果的に協力してきました。</p> <p>社会パートナーシップネットワークは 12 の支部で住民に研修、アドバイスをを行い、貯蓄信用機関を設立し、団体の能力強化、社会及び啓発活動を行っています。</p>
日本・各国との協力状況	デンマークの NGO と長年協力しています。2000 年に保護下でない 10 名ほどの子どもが専門研修を受ける際に、日本の支援団体と協力しました。
JICA との協力状況	



団体名	モンゴル女性生活センター
設立年	2005 年
住所	ウランバートル市スフバートル区第 8 ホロー、バガトイロー1、アマル通り 22a 、 302
電話番号	976-99818199, 976-99277083,976-85818199
E-mail	<a href="mailto:Jambaladya500@gmail.com">Jambaladya500@gmail.com</a> , <a href="mailto:dariatt567@gmail.com">dariatt567@gmail.com</a>
URL/Facebook	ЖамбалАдъяа, Daria Tsetsegdari
代表者名	J. アディヤ
活動内容	<p>私たちは母子家庭、障害者、高齢者、低所得者層の女性たちを支援し、彼女たちのスポーツ、文化芸術の機会を提供し、研修や会合を開き、プログラムを作成し、同様の目的を持った団体と協力しています。</p> <p>私たちはモンゴル女性基金、アドラ基金、人権フォーラム、モンフェムネット、バヤンゴル区、ハンウール区、スフバートル区、バヤンズルフ区の区長、警察、ソーシャルワーカー、バヤンホンゴル県ポーツァガン郡、フブスグル県ムルンに住んでいる女性たち、県庁所在地の管理職らと共同で、対象となる女性たちに研修を行い、果実や野菜（じゃがいも、キャベツ、にんじん、玉ねぎ、にんにく）を栽培し、家庭で消費するほか販売し、世帯収入を増やすことにつなげています。</p> <p>また、法律についてインタビューを行い、意見を届ける活動をしています。社会発展の効果を改善するのに、住民の社会参加を増やすオンライン研修に参加し、インタビューを行いました。</p>
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	







団体名	バダムリャンファ子どもセンター
設立年	1995 年
住所	ウランバートル市バヤンズルフ区第 20 ホロー、ガチョールト、バガアム 2-32
電話番号	976-99789750, 976-99132100
E-mail	<a href="mailto:info@lotuschild.org">info@lotuschild.org</a>
URL/Facebook	Lotus children center mongolia
代表者名	B. ボロルマー
活動内容	バダムリャンファ子どもセンター、1995 年から子ども養護福祉活動を行っている非政府組織の孤児院です。現在、2～18 歳の 69 名の子どもたちが生活しています。寄付や支援で運営が成り立っています。
日本・各国との協力状況	オランダ、オーストラリア、イギリスから個人で継続的に支援している方がいます。
JICA との協力状況	









団体名	よい未来のために NGO
設立年	2008 年
住所	ウランバートル市バヤンズルフ区第 5 ホロー、モネル 26 通り 576
電話番号	976-91641006,976- 99778695,976- 96644284
E-mail	<a href="mailto:Oyunaa1957@gmail.com">Oyunaa1957@gmail.com</a> , <a href="mailto:Ssuk358@gmail.com">Ssuk358@gmail.com</a>
URL/Facebook	
代表者名	J. オユンビレグ
活動内容	<p>私たちは 3 つの分野で活動を行っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子ども発達センター：2～7 歳の 25 名の子どもたちが、このセンターを利用して。また、母子家庭の子どもと低所得者層の子どもたちが利用しています。</li> <li>2. シングルマザー支援：若いシングルマザーに無料で住まいを提供し、職場を紹介し、住まいと自立した生活のチャンスに導いています。</li> <li>3. デイケア：面倒を見る人がいない子どもたち、アルコール依存症の両親を持つ子供たち、低所得者層の子どもたち向けのデイケア。デイケアに来て、温かい料理を食べ、宿題をし、お風呂に入り、快適な環境にて、ソーシャルワーカーの専門サービスを受けることができます。</li> </ol>
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	



団体名	モンゴル教育協会
設立年	2004 年
住所	ウランバートル市スフバートル区第 1 ホロー、チンギス通り 15/1
電話番号	976-11-310663, 318149, 324285
E-mail	<a href="mailto:info@mea.org.mn">info@mea.org.mn</a>
URL/Facebook	Website: <a href="http://www.mea.org.mn">www.mea.org.mn</a>
代表者名	B. バトジャルガル
活動内容	<p>モンゴル教育協会は、2004 年 8 月に設立されたモンゴルの教育分野で継続的に活動を行っている NGO です。モンゴル教育協会の目的は、モンゴルの若者たちに包括的で平等な質の高い教育を行うために、効果的なパートナーシップを発展させ、政策に提言し、教育機関、参加者側の能力を強化することです。この目的で学校、教師の発展を支援する「オープンな学校」プログラム、児童の発達を支援する「Step by Step」プログラム、思春期の若者たちの発達を支援する「青少年」プログラムで社会参加、平等な価値に基づく学校、幼稚園の発展に貢献し、子ども中心でアクティブな方法を普及させ、青少年参加及び意見表明の権利を支持し、児童の発達に両親と社会のかかわりを増やし、質の調査と評価を行い、全国的に活動を行っています。</p> <p>モンゴル教育協会は児童の成長、青少年の発達、学校教師の発達を支援する 3 つの基本的プログラム、平等な教育という方面で設立されてから 17 年間、モンゴルのすべての義務教育学校で活動してきました。</p> <p>モンゴル教育協会は、次の方針で学校と幼稚園教育分野に支援を行い、協力しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 就学事前教育、初等中等教育の質、普及を高める。</li> <li>- 平等性、社会における創造的参加を高める。学校マネジメントで学校の発展を支援する。</li> <li>- 子ども中心でアクティブな、新しい方法を普及させる。子どもと接する教師、保護者にアクティブで創造的な思考の学習方法を広める。</li> <li>- 両親の教育、児童の発達における両親の参加、両親を通じた就学準備をする。</li> <li>- 教師の専門的継続的な発達を支援する新しい方法を試し、広める。</li> <li>- 子どもの参加と見解を表明する権利を支援し、課外活動を豊かにする。</li> <li>- 教育の普及、質、権利の平等、一般的責任を強化させるに当たり直面している問題を調査で明らかにし、教育分野と社会に広める。</li> <li>- 平等な教育、教育の質、教師の専門発展、効果的ガバナンス、証拠に基づいた政策過程を発展させ、支援する啓発活動を広める。</li> </ul>
日本・各国との協力状況	<p>モンゴル教育協会は、国内外の多くのネットワークと一つになり、新しいアイデア、活動、内容、方法をモンゴルに根付かせ、自らの方法や経験を他の国に広め積極的に協力しています。</p> <p>加盟団体:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- International Step by Step Association (児童の発達、教育分野で活動しているユーロアジアネットワーク)</li> <li>- Network of Education Policy Center (調査、政策提言活動をしている東・中央ヨーロッパ、中央アジア、モンゴルを含んだネットワーク)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>- International Consortium for RWCT (創造的な読み書き能力を発達させる)</li> <li>- Asia South Pacific Association for Basic and Adult Education (地域で学び教育する権利、質の高い教育、生涯教育、成人の教育のための活動を各国、地域、世界規模で行っている)</li> <li>- International Debate Education Association</li> <li>- Central Asia and Mongolia Initiative on Early Childhood Education and Development</li> </ul> <p>2010年、2013年に教育科学省、労働社会保障省及び学校、幼稚園の代表ら向けに日本の教育制度、幼稚園、学校視察スタディツアーを開催しました。</p>
JICA との協力状況	<p>2006～2009年にJICAが実施した「子どもの発達を支援する指導法改善プロジェクト」及びその後2010～2013年に実施したフェーズ2のプロジェクトと協力し現地調査を行いました。</p>

団体名	ハイル・エルデム・ビルグ NGO
設立年	2020 年
住所	ウランバートル市バヤンゴル区第 17 ホロー、76 番ビル 28 号室
電話番号	976-98225566
E-mail	<a href="mailto:havir.erdem.bilge@gmail.com">havir.erdem.bilge@gmail.com</a>
URL/Facebook	<a href="https://havirerdem.org/contact-us/">https://havirerdem.org/contact-us/</a>
代表者名	サリフ マルハバ
活動内容	<p>「進歩的な若者、明るい未来」という目的の下、現代の IT インフラを改革し、国際的スタンダード水準にし、母国の未来である若者たちの目的を果たす懸け橋になるために支援し、手を差し伸べる、社会的弱者のための団体です。</p> <p>教育総合サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 教育システム</li> <li>* IT インフラ</li> <li>* 他国の国立図書館の電子サービス、経験を研究する</li> <li>* 現在勤務している専門家らに必要な能力習得の研修に段階的に参加させる</li> <li>* IT、外国語、その他必要な専門家らを呼ぶ</li> </ul>
日本・各国との協力状況	イギリス、トルコ、オランダの NGO と協力し、プロジェクトを実施しています。
JICA との協力状況	



団体名	Mongolian Association of Lesson Study (MALS)
設立年	2013 年
住所	ウランバートル市スフバートル区第 8 ホロー、教師開発宮殿
電話番号	976-94490108, 976-99231521
E-mail	<a href="mailto:mals.mongolia@gmail.com">mals.mongolia@gmail.com</a>
URL/Facebook	Web: mals.mn FB: Монголын хичээлийн судалгааны нийгэмлэг
代表者名	B. ヒシグバヤル、N. オユンツェツェグ
活動内容	<p><b>目的:</b>モンゴルの教育における授業研究方法を研究・開発するために、子どもを発達させる新しい方法技術を提供し、全国規模で広め、教師の専門性の継続的発達、学校マネジメント向上のために、教育の質を改善することを目的としています。</p> <p><b>活動:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業研究分野で研修を開催し、調査を行う。</li> <li>子ども中心の平等な参加、デジタル技術を活用した教育の新しい方法を試し、効果話し合い、広める。</li> <li>教師、両親向けのオンラインプラットフォームを開発し、ビデオ動画作成、オープンサイトをつくる。</li> <li>教員養成大学、義務教育学校との協力を広げるために、授業研究、子どもの発達支援方法、技術を提供し、全国規模で広める。</li> <li>授業研究方法の対面及びオンライン研修を開催し、モニタリングを行い、カウンセリング、広報活動、国内外の経験を研究する。</li> <li>授業研究方法分野で高度に専門習得した専門家（エキスパート、顧問、トレーナーなど）を育成する。</li> <li>授業研究方法を発展させるために、外国の授業研究協会と協力、関係を拡大し、国際（WALS）及びその他学術研究会議に参加し、会議を開催し、経験を共有する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>授業研究方法のために、日本及びその他の国で研修に参加する。</li> <li>学校が教師の専門向上事業を発展させ、学校マネジメントを改善する。</li> <li>教育省管轄教師専門向上研究所と共同で、学術研究フォーラムを毎年開催する。</li> </ul> </li> </ul>
日本・各国との協力状況	日本の大学（東京学芸大学、埼玉大学、岡山大学）の教授らから助言をいただき、義務教育学校訪問・経験共有のために 2014 年以降、毎年（7 年間で約 100 名の教師、校長）日本で研修を行いました。WALS（World Association of Lesson Study）主催の国際学術会議に 2015～2019 年に出席し、発表しました。
JICA との協力状況	<p>JICA と次の案件で協力しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 子どもの発達を支援する指導法改善プロジェクト（2006～2009 年）</li> <li>2) 子どもの発達を支援する指導法改善プロジェクトフェーズ 2（2010～2013 年）</li> <li>3) 「児童中心型教育支援プロジェクト（PROCESS）」（2016～2019 年）</li> </ol> <p>2013 年 8 月 21 日にこれらの案件で活動した大学、義務教育学校、専門機関の代表が提案し、同協会を設立しました。JICA が実施した案件の持続性を確保し、モンゴルにおける授業研究を全国規模で広めるために、教育の質を改善する目的で設立しました。</p> <p>2020～2021 年に JICA からの依頼で「授業改善マネジメント」ビデオ作成作業を遂行しました。この作業の一環で、授業改善 PDCA モデルを作成し、オープンな情報源として利用し、授業で広めています。</p>



**Зорилго:** Япон багш нарын арга зүйгээс суралцах

**Нийт оролцогч 16.** Үүнээс:

- ❖ БМДИ-ийн арга зүйч- 10
- ❖ БСГ-ын дарга- 2
- ❖ БСГ-ын мэргэжилтэн- 1
- ❖ ЕБС-ийн захирал-1
- ❖ ЕБС-ийн багш- 2





**"Монголын хичээлийн судалгааны нийгэмлэг"-ийн Явон дахь сургалт (2019 он)**

Хугацаа: 2019.11.08 (Ян) - 11.13 (Пн)  
 Орнооног: 19.00-и  
 Көмөөр:

Сар адр	Цаг	Лекц/интеракц өгөгч	Тайлбар
11.08 (Ян)	14.30	Нэгдэл мессе Фурланд Бухе (СӨМӨТ)	Сонд-лайнер гурвал галт тээвэр Сургуулид буулгагч руу явах
11.07 (Ян)	09.00-11.00	Нэгдэл төлөөлөгчид Явон: Явон-Болсгор	Нийслэл Сэвэг, Хурал Төвөгч Най
	14.00-14.30	Төвөгч иж сургуулийн ажилчид "Учиртөр, ажилчид үргэлжлэлтэд Дуулигчид ишиг"	Хичээлч Кавалгуч, Төвөгч иж сургуулийн ажилчид автобусар месс 12.30-и иж сургуулийн өргөлч чөлөөгч иршигчид ишигчид
	14.30-16.00	Вангсэ Бэйшэнгэ Явон, Хичээлчид Бөтлөгчид сургалт	Нийслэлч - Шанхайч, Шанхайч Көмөгчид ишигчид ишигчид Кайшэн Бэйшэнгэ явон автобусар месс Сургуулийн өргөлчид ишигчид ишигчид (Явон хүмүүс 210 явон)
11.08 (Ян)	08.30-11.30	"Мингэч дүүргийн Судалгааны Гурвалчид Сургалт" (Явон Бэйшэнгэ сургуулийн ажилчид)	07.30 Сургуулийн ажилчид Буулгагчид ишигчид
		Сургалтчид үеийн өргөлчид Агаарчид руу явах	Сургалтчид - Агаарчид (10 явон)
11.11 (Ян)	10.00-12.00	"Мингэчид ишигчид" чөлөөгчид ишигчид" ТБС-ийн төлөөлөгчид	Нийслэлчид Шинэчид • Төвөгчид Бэйшэнгэ, Фурланд Бухе чөлөөгчид ишигчид" ТБС • Мингэчид Фурландчид ишигчид ишигчид ишигчид
	14.00	Мингэчид дүүргийн болсгорчид ишигчид Хичээлчид дарагчид ишигчид, Мингэчид дүүргийн болсгорчид ишигчид ишигчидчид ишигчид ишигчидчид ишигчид	Мингэчид Фурландчид ишигчидчид ишигчидчид ишигчидчид ишигчидчид ишигчидчид ишигчидчид ишигчидчид ишигчидчид ишигчидчид ишигчидчид
11.12 (Ян)	10.30	Төвөгчид Гурвалчид иж сургуулийн өргөлчид Сургалтчид иж сургуулийн өргөлчид	Нийслэлчид - Мингэчид Хичээлчид Фурландчид иж сургуулийн руу автобусар месс Сургуулийн өргөлчид ишигчид ишигчид (Явон хүмүүс 400 явон)
11.13 (Ян)	13.30	Нутагчид Бухе (СӨМӨТ)	

Зочидчид Бухе: Сургалтчид Нийслэлчид Бухе  
 (Мингэчид Судалгааны нийгэмлэгчид 8 явончид, Ян Нийслэлчид ишигчидчид 10 явончид)  
 Сургалтчид хуралчид хүлэ: Ишигчид Төвөгчид  
 Галчид утасчид: 81-90-82453380





団体名	国民教育センター
設立年	1992 年
住所	ウランバートル市チンゲルテイ区 MN Tower (チンギス映画館南側) 15 階 1505 号室
電話番号	976-99117383
E-mail	narangerelrinchin37@gmail.com
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/cce.mongolia">https://www.facebook.com/cce.mongolia</a>
代表者名	R. ナランゲレル
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 義務教育学校の教師、生徒、都市と地方の若者、住民、公務員に民主主義教育を広め、様々な研修、プロジェクトを実施しています。</li> <li>2. 青少年にエコロジー教育を通じて、自然環境保護の習慣を身に付ける活動を行っています。</li> <li>3. アメリカ・ロシア・モンゴルの自然保護職員の交流プログラムを実施しました。</li> <li>4. 教師の専門性向上、教授法改善研修、セミナー開催、書籍、ハンドブックの出版を行っています。</li> <li>5. 地方自治機関、国民代表会議の代表に、住民参加型地方開発ノウハウ紹介セミナーを開催しています。</li> <li>6. 国連人口基金と共同で「若者開発プログラム」をウランバートル市、11 の県、3 つの郡で実施しました。</li> <li>7. 国連開発計画を通じて「国民の教育を通じて若者を発達させる」プロジェクトを実施しました。</li> <li>8. アメリカの国際開発庁の支援で LEAD プログラム、国民プロジェクトを全国で実施しました。</li> <li>9. 「皆は若者のために、若者は皆のために」プロジェクトを EU の支援でカリタス・チェコ・リパブリック、モンゴル若者連合と共同で実施しています。</li> </ol>
日本・各国との協力状況	<p>日本の UI-ZENSEN 労働者団体とセレンゲ県ユルー郡の住民民主主義エルチ NGO とパートナー関係があり、毎年 UI-ZENSEN のボランティアを招いて活動してきました。</p> <p>アメリカの教師会、Center for Civic Education、Russell Sage College、ポーランドの民主主義のための教育基金、国際 CIVITAS International などの団体と長年協力しています。</p>
JICA との協力状況	







団体名	トルゴイト地域開発センター
設立年	2004 年
住所	ウランバートル市ソングノハイルハン区第3ホロー、バガナラン 43 番通り 4 号
電話番号	976-99182317, 976-99832121
E-mail	<a href="mailto:tolgoit@tcdc.mn">tolgoit@tcdc.mn</a>
URL/Facebook	Бэб хуугас: <a href="http://www.tcdc.mn">www.tcdc.mn</a>
代表者名	T. アムガラン（理事会会員） M. ドゥルグーン（プログラムリーダー） O. ゴルザヤ（地域コーディネーター）
活動内容	<p>トルゴイト地域開発センターは、2004 年 9 月に設立された非営利の NGO です。私たちの目標は、トルゴイト地区に居住している住民のイニシアティブ、要求に基づいて地域開発における住民参加を支援し、地域団体のパートナーシップを発展させ、地域ガバナンス力を強化することです。下記の目的を挙げて活動しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地域開発における住民参加を支援するため、地域の自治を発展させる。</li> <li>◆ 住民のボランティアグループの支援で環境に優しい地域計画強化。</li> <li>◆ 住民の社会健康教育を向上させる。</li> <li>◆ 困難な状況で生活している子どもとその家族に人道支援を行う。</li> </ul> <p>上記目的を公衆衛生、地域の自治、グリーン・ホロー、子ども保護の 4 つのプログラムで実施しています。</p>  <p>写真 1：毎年 5 月に開催する「グリーン・ホロー」行事の際に住民に植林、環境整備作業を地域のエコグループの子どもたちが率先して行っています。</p>
日本・各国との協力状況	<p>滋賀県大津市の「特定非営利活動法人京滋・モンゴル住民友好関係ネットワーク」と共同で、2018 年 3 月から家庭から出る生ごみで堆肥を作るイニシアティブを継続し、4 年目になっています。私たちのこのような活動は、同じ地域に生活している人々自らの参加でよりきれいに地域を発展させるのに役立っているということで意義がある活動です。このイニシアティブの枠組みで「トルゴイトにおける生ごみリサイクルネットワーク」を設立し、活動しています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p><b>トルゴイト生ごみリサイクル ネットワーク</b></p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真 2: サポート 5 世帯の 1 つに選ばれたオチルダリさんが生ごみから堆肥を作り紹介したのは、良い手本になりました。(2021 年)</p> </div> </div>

	<p>ネットワークの活動を各家庭のビジネス、地域住民の協同組合を作るための活動に向けて、世帯レベルで家庭菜園を行っている5つの家庭を元に野菜作り、生ごみから堆肥を作る、近所に宣伝する「サポート世帯」を設立し、彼らの協力を活性化し、能力強化する活動を行っています。「ケイジ・モンゴル住民友好関係ネットワーク」の支援で、同センターの2名が日本で生ごみから堆肥を作る研修に2019年に参加しました。</p> <p>2010年から現在まで「トルゴイト地区の貧困家庭の子どもたち、その家族支援」プロジェクトを実施しています。このプロジェクトはセンターの子どもたちの成長、保護プログラムの活動を支援し、毎年特別支援学校で学ぶことができていない子どもたち向けに「家庭学習」、夏休みに家で弟妹の面倒を見るために家に残っている援助が必要な子どもたち向けに「デイリーキャンプ」活動を開催しています。</p>  <p>写真3:夏のデイリーキャンプに毎年30名ほどの子どもたちが参加しています。</p>
<p>JICA との協力状況</p>	<p>2013～2015年に JICA 海外協力隊を受け入れ、一緒に活動しました。</p> <p>JICA の「農牧業バリューチェーンマスタープランプロジェクト」の一環で、ソングノハイルハン区のトルゴイト地区から選ばれた96世帯の食料消費、栄養状態を調査するとともに、新型コロナウイルス感染拡大の影響で貧困家庭、特に子どもの栄養不足を予防する目的で612名に食料品を届ける短期プロジェクトを2020年7月7日～9月18日まで11週間行いました。</p> <p>この活動のの目的は、1) 農業分野のバリューチェーンパイロットプロジェクトに貢献し、2) 新型コロナウイルス感染拡大の影響で貧困家庭、特に子どもの栄養不足予防、3) 食料品を受け取った家庭の食料消費、栄養状態を明確にすることでした。活動は貧困の悪循環から抜け出せない、新型コロナウイルス感染拡大の際に職と収入を失い、さらに困難になった家庭の家計支援になり、すべての人々の健康、精神及び家族関係に良い影響をもたらすことができました。また、世帯の食料消費、栄養状態についての調査を3回行いました。</p>  <p>写真4:子どもの栄養不足予防目的で、96世帯612名にお弁当と食料品を届けました。</p>

団体名	シネレグ・トゥルフール開発文化センター
設立年	2002年
住所	ウランバートル市ソングノハイルハン区トルゴイト地区
電話番号	976-88662444
E-mail	<a href="mailto:Shinelegchild@gmail.com">Shinelegchild@gmail.com</a>
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/Shineleg-Child-Development-Centre-248383675324389/">https://www.facebook.com/Shineleg-Child-Development-Centre-248383675324389/</a>
代表者名	S. プレンメンド
活動内容	私たちはトルゴイト地区の対象地域の子どもたちに、芸術を通じて社会性を発達させるサービスを行っています。ソングノハイルハン区トルゴイト地区は首都郊外に位置し、この地域に予防と保護のリハビリサービスが主に必要になっています。私たちは対象地域の学校で、偏見に遭っている子どもたちやひとり親世帯、孤児、養育者を対象に活動しています。サービスを日中と授業時間外に行い、日本の大正琴（右脳左脳を発達させる）を使って、すべての子どもたちの才能に合った手工芸や、生活知識の研修を通じて発達させるサービスを行うほか、子どもセンターにいる間に自分の家にいるような環境を提供するほか、温かい食事とその他応急手当サービスを行っています。このようなサービスを総合的に行うことで、子どもたちとその家族に見られる変化・効果を短期間で見ることができます。私たちは子どもたちだけでなく、その家族・養育者・支援者たちと共に、義務と責任を変えることを重要視しています。
日本・各国との協力状況	新潟県の学校が2年ごとに開催する大正琴国際フェスティバルに、2016年以降モングル国を代表し、3~4人のチームで出場しています。
JICAとの協力状況	








団体名	ウールクラフト支援センター
設立年	2007 年
住所	ウランバートル市バヤンズルフ区第 12 ホロー、116 号
電話番号	976-454676, 976-99315599, 976-88315599, 976-96885599
E-mail	Woolcraft_center@yahoo.com
URL/Facebook	
代表者名	Ts. ツェンドアヨーシ
活動内容	<p>私たちは次の活動を行っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家畜の毛を利用し、フェルト工芸の初級及び上級研修を開催。</li> <li>2. 原料となる羊毛を準備し、染色し、原料供給作業を行う。</li> <li>3. 羊毛から糸を紡ぎ、編む研修を開催。</li> <li>4. 事業を行っている協同組合にアドバイスを行う。</li> </ol> <p>21 の県でウールクラフト研修を開催した結果、約 5,000 人が研修を受けただけでなく、ビジネスを開始させ、多くの世帯の収入アップにつながりました。</p> <p>「ノーソン・ザンギラー」協同組合の「ツァガーン・アルト」ショップのスタッフたちに研修を行い、大きな成功につながったと見なしています。</p>
日本・各国との協力状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ノルウェーの支援機関プロジェクト（1995 年～2005 年の 10 年間）</li> <li>2. チェコのプロジェクト（2013～2014 年の 1 年間）</li> <li>3. モンゴル・韓国知的財産プロジェクト（2015～2017 年の 2 年間）</li> </ol>
JICA との協力状況	「モンゴルの羊毛を活用した手編み物生産に関する技術支援プロジェクト」（2009～2011 年）







団体名	モンゴル自然環境国民委員会
設立年	2008 年
住所	ウランバートル市ハンウル区ザイサン、淡水資源自然保護センター310 号室
電話番号	976-70131400, 976-99176580
E-mail	<a href="mailto:Irgenii.zuwlul@gmail.com">Irgenii.zuwlul@gmail.com</a> , <a href="mailto:amgalanbaatarsukh@gmail.com">amgalanbaatarsukh@gmail.com</a>
URL/Facebook	Mecc.mn, <a href="https://www.facebook.com/Монголынбайгальорчныиргэнийзөвлөл">https://www.facebook.com/Монголынбайгальорчныиргэнийзөвлөл</a>
代表者名	S. アムガランバートル
活動内容	 <p>モンゴル自然環境国民委員会は、21の県に支部があります。全国規模のNGOであり、自然環境人権分野で活動を行っているNGO、国民、個人、行政のすべての機関と協力しています。</p> <p><b>目標</b>；モンゴルの自然環境分野で活動を行っている NGO の能力強化、自然環境保護活動を全国規模で強化するのに、モンゴルの政府、国際機関との協力を発展させることが目標です。</p> <p><b>目的</b>；教育科学省が、自然環境汚染・破壊を予防するために、植物、生物の種類、生息環境の保護、次世代に健康で手つかずの自然を残すことが目的です。</p> <p><b>歴史</b>；モンゴル自然環境国民委員会は、2008 年 11 月 25 日に行われたモンゴル自然環境 NGO 第 1 回会議で設立され、自然環境分野で活動を行っているすべての NGO をボランティアに基づき統合した総合機関です。</p> <p><b>活動</b>；モンゴル自然環境国民委員会がモンゴル自然環境の初の議会を設立し、2011 年 1 月 27 日にモンゴル国大統領府所属国民会議で成功裏に開会しました。この議会は 51 人の議員から成り、彼らは自然環境保護の 350 の NGO の代表です。モンゴルの自然環境議会の目的は、自然環境について固守している政策、法律、規則において直面している問題を協議し、この問題で国家及びその他の法律実施機関に提言する 1 つの手段になっています。</p> <p><b>戦略</b>；</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. モンゴル自然環境国民委員会を国家及び国際的に認められた機関にし、強化する</li> <li>2. 自然環境 NGO の専門、マネージメント活動を改善させるのに支援を行うことで、自然環境保護を行う貢献を高める</li> <li>3. 自然環境保護法的に好ましい環境をつくる啓発活動を主催する</li> <li>4. 自然環境保護監査</li> <li>5. 社会の自然環境教育、知識を向上させる</li> <li>6. モンゴル国の行政、国際機関と協力する</li> </ol>
日本・各国との協力状況	<p>2015～2021 年アジア開発銀行の国民社会顧問委員会のメンバーとして活動しています。</p> <p>2012 年から現在まで JICA の支援で建設された淡水資源自然保護センターの 310 号室に本部を置き、モンゴル全国ですべての国民、青少年に持続的な開発教育とエコロジー教育、ごみ捨てマネージメント改善活動を行っています。2014～2017 年に日本人ボランティアによるグリーン施設セミナー、日本人講師による放射線物質についての全 5 回のセミナーを行いました。</p>

	<p>2019年にモンゴル自然環境国民委員会メンバーがモンゴル観察・調査協会 NGO、パラシュート会 NGO、開発のためのパートナーシップ NGO の代表が、千葉県の NGO と農業企業を視察し、経験共有しました。現在、日本の経験からいちご栽培をしています。</p> <p>2018～2019年にEUの融資で「呼吸する大気」プロジェクトをチェコのピン NGO と自然環境観光省と共同でウランバートル市、アルハンガイ県、ウブスハンガイ県で実施しました。</p>
JICA との協力状況	<p>2012年から現在まで、JICA の支援で建てられた淡水源自然保護センターの 310号室に本部オフィスを置いています。</p>



エコロジー警察局と全国規模協力契約に署名（2020年）



グリーン議会議員（2019～2021年）

モンゴル自然環境国民委員会が自然環境観光省と共同で2018～2019年にウランバートル市の大気汚染削減事業を提唱し、開催しました。

団体名	WASH Action of Mongolia
設立年	2014 年
住所	ウランバートル市チンゲルテイ区第1 ホロー、ゲレルセンター302 号室
電話番号	976-11-330368
E-mail	<a href="mailto:ariunaa@washaction.mn">ariunaa@washaction.mn</a> ; <a href="mailto:bodigerel@washaction.mn">bodigerel@washaction.mn</a> ,
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/WaSHAction">https://www.facebook.com/WaSHAction</a>
代表者名	P. アリウナー
活動内容	<p>私たちは 2014 年から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 水の普及を増やし、水の適切な使用を宣伝する</li> <li>- 屋外トイレモデルを提供し、環境衛生を改善する（家庭ごみ、有機ごみの再利用）</li> <li>- 学校、幼稚園、寮のトイレ、衛生環境を改善する</li> <li>- 社会に衛生的で正しい習慣を広め、宣伝する目的でプロジェクトを実施してきました。</li> </ul> <p>特に教育科学省、国連児童基金と共同で幼稚園、学校寮の水供給とトイレ状況を改善し、衛生的で正しい習慣を広める広報活動を継続的に行っています。この一環で、ウランバートル市郊外や地方の学校のトイレを新規改善する様々な作業を行ったほか、社会に情報提供し、宣伝するキャンペーン活動を開催し、社会の傾向を変えるのに貢献してきました。保健教師らの能力向上を支援し、思春期の女の子たちに生理の教育を行い、<a href="http://www.namuu.mn">www.namuu.mn</a> と OKY アプリケーションを運営しています。</p>
日本・各国との協力状況	<p>私たちは国連、アジア開発基金、フォード基金、カナダ基金、アジア基金、ACF International、Rustic Pathway などの団体と共同でプロジェクトを実施してきました。専門分野で SUSANA、Water keeper Alliance、Water Institute、Global water partnership 団体に加盟し、研修、経験共有、専門能力向上などで協力しています。</p>
JICA との協力状況	



各家庭のトイレを 2 つに分け、子どもが使いやすいようにしました。(2020 年、バヤンホンゴル県)



第 85 番学校の建物の離れにあるトイレ（2017 年）



学校における石鹼寄付キャンペーン資料（2020）

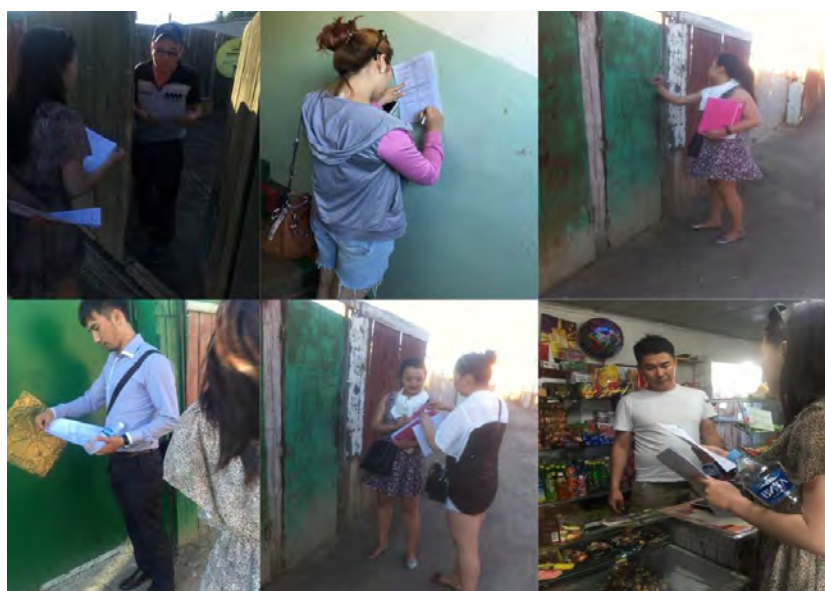


団体名	自然環境健康センター
設立年	2007 年
住所	ウランバートル市チンゲルテイ区第 4 ホロー、バガトイロー47-03
電話番号	976-99132958, 976-95257562
E-mail	dula_lod@yahoo.com
URL/Facebook	
代表者名	L. ドガルマー
活動内容	<p>自然環境健康センターは、自然環境保護、自然環境汚染・悪化の復元、自然環境、環境衛生、健康についてアドバイスし、研修を開催し、調査を行う目的で 2008 年に設立されました。同団体の理事会はエコロジスト、環境衛生士、医師、化学者、毒物学医、法律家などの専門家たちから構成されるほか、行政機関で 26 年、NGO で 5 年以上勤務した教授、博士、修士号取得者、専門教育を受けた経験ある人材が勤務しています。</p> <p>活動紹介；</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 同 NGO 代表及びその他の人々が、オランダ政府及び国連開発計画の支援で、自然環境観光省のモデル統合計画作成案件のワーキングチームリーダーとして、案件を成功裏に実施しました。</li> <li>2. 国際的に固守している「廃棄物のコード化リスト、危険レベル」を作成し、自然環境観光省に提出しました。</li> <li>3. オープンフォーラム奨学金プログラムの「危険廃棄物マネージメント改善、社会の知識向上キャンペーン活動」案件で、危険廃棄物について 3 冊の本を執筆・出版し、すべての県の自然環境局及び専門家に書籍形式とオンライン形式で配布しました。</li> <li>4. アメリカの世界資源研究所とオープンフォーラム共同で「自然環境汚染の総括情報」案件を実施しました。この案件の一環で、郡の廃棄物マネージメントハンドブック、パンフレット作成、河川の水質汚染状況と社会の監視を行うハンドブック、パンフレット作成、「水ガバナンス」をテーマに、協議会を水専門家、国立大学教員、専門学校研究者の間で開催し、このテーマで L. ドガルマーが書籍「開発の鍵は水」を 2018 年に、「水のガバナンス」論文を発表しました。トール川の河川領域でモニタリングを行うなどの活動を行いました。</li> <li>5. オープンフォーラム、自然環境改革Ⅱ案件で「地方の自然環境問題管轄専門家能力強化」研修をダルハン市で開催しました。この研修にダルハンウール県、オルホン県、セレンゲ県のすべての郡の自然環境専門家、監視員らが参加しました。</li> <li>6. 「責任ある鉱山提唱」NGO と共同で、モンゴル全土で活動を行っての鉱山事業に責任感を持たせ、特に環境汚染・破壊から保護する目的の「責任ある鉱山の選抜指標」作成ワーキングチームリーダーとして選抜指標を作成し、この指標でモンゴルにおいて責任ある鉱山を開発する方針を固守するために、2012 年から政府</li> </ol>

	<p>計画に入れました。</p> <p>7. 同センターは農業で使用している化学的有毒物質の監査、調査で活動することを目的にしています。現在、私たちは農業で使用している化学的有毒物質農薬について「農薬について 44 の質問」小冊子を翻訳し、食品連合 NGO と共同で研修セミナーを行いました。</p> <p>8. オープンフォーラムの支援で「病院、歯科医院、薬局に水銀が含まれた器具の使用・販売がなされているか否かのモニタリング調査」を行う案件をウランバートル市、ダルハン県、セレンゲ県で監査を行い、報告書を出しました。</p> <p>9. 「農薬使用の適切な状態モニタリング」中央県、セレンゲ県のいくつかの郡で植えている野菜、食品を扱う大きなスーパー、市場で売られている野菜、果物から 7 のサンプルを取り、要約が明らかになり結果報告を出しました。この一環で、私たちは国際的に使用禁止になった農薬のリストと比較し、調査しました。EU の国際農薬情報基金 (EU Pesticides Database-European Commission) に国際的に使われている、使用禁止された 1,418 農薬リストで禁止された農薬を、モンゴルの使われている農薬リストと比較し、調査しました。</p>
日本・各国との協力状況	アメリカの世界資源委員会と共同でプロジェクトを実施しました。
JICA との協力状況	



団体名	Institute for Future
設立年	2005 年
住所	ウランバートル市ハンウール区淡水センター303 号室
電話番号	976-99129913,976- 99251884
E-mail	<a href="mailto:Ochbol35@gmail.com">Ochbol35@gmail.com</a> , <a href="mailto:misheelmaral0505@gmail.com">misheelmaral0505@gmail.com</a> , <a href="mailto:tunza_mgl@yahoo.com">tunza_mgl@yahoo.com</a>
URL/Facebook	<a href="http://www.facebook.com/Ирээдүйн-Хөгжлийн-Хүрээлэн">www.facebook.com/Ирээдүйн-Хөгжлийн-Хүрээлэн</a>
代表者名	M. オюнチメグ、B. ミシェール
活動内容	<p>私たちの団体は、次の 4 つの方針で活動を行っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 持続可能な開発、自然環境、社会と環境の健康分野で調査を行う</li> <li>2. 持続可能な開発教育、自然環境保護の知識を与え、能力強化する学習モジュールプログラムを作成し、研修を開催する</li> <li>3. 持続可能な開発教育、行動を変える情報コミュニケーション活動を開催（宣伝、啓発、広報、キャンペーン活動）</li> <li>4. 国連自然環境プログラムの TUNZA ネットワークの一環で、国際若者ボランティアと自然環境団体と協力</li> </ol>
日本・各国との協力状況	<p>国連自然環境計画の TUNZA 国際・地域会議、フォーラム、会合に青少年の代表を積極的に参加させてきました。国連自然環境計画の TUNZA 東北アジア若者自然環境ネットワーク（NEAYEN）国際会議をモンゴルで 2008 年と 2013 年に開催しました。2008～2010 年に中国、韓国、日本で国連自然環境計画 TUNZA 国際青少年会議にモンゴル代表ボランティアメンバーを選抜し、参加させました。</p> <p>2021 年に Mosksop26 国際若者会議で M. ミシェール副代表が、モンゴル代表ハイレベル宣言を発表しました。</p>
JICA との協力状況	



持続可能な開発、自然環境と社会の健康に関する調査



持続可能な開発教育、自然環境保護についての学習セミナー



国連自然環境計画のTUNZA 雑誌をモンゴル語に訳して配布



国連自然環境計画の TUNZA 北東若者自然環境ネットワーク国際会議





**НУББОХ-ийн Олон улсын хүүхдийн хурал, Тэжон, БНСУ, 2009**



**Монгол –Солонгосын Хүүхдийн зуны ЭКО зуслан, Тэрэлж, 2008**

団体名	麻薬・薬物から国民を守る会
設立年	1999 年
住所	ウランバートル市チンゲルテイ区第 2 ホロー、イフトイロー15—1、レンタロンビル 219 号室
電話番号	976-99199228
E-mail	<a href="mailto:appdomongolia@gmail.com">appdomongolia@gmail.com</a> , <a href="mailto:shkhagvasuren2014@yahoo.com">shkhagvasuren2014@yahoo.com</a>
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/appdomongolia">https://www.facebook.com/appdomongolia</a>
代表者名	Sh. ラハグワスレン
活動内容	<p>麻薬・薬物から国民を守る会の目的</p> <p>酒、タバコ、薬物なしの健康的な環境をつくり、HIV、その他性感染症を予防し、薬物のない国、国民になる、健康な生活と習慣的行為を形成し、人道的民主主義社会の発展に貢献することが目的です。</p> <p>麻薬・薬物から国民を守る会の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.国民の酒、タバコ、麻薬・薬物の使用状況を明らかにし、調査を行い、酒、タバコ、薬物の悪影響から国民を守り、健康な環境を作るのに意義がある研修やセミナーを開催します。</li> <li>2.青少年の麻薬・薬物使用を予防し、使用してしまった青少年や女性の習慣的行為を変える研修を行い、悪習慣を払しょくさせます。</li> <li>3.薬物使用者の中で悪影響を減らすためのプログラム、健康教育を向上させ、鍼灸を通じて使用を止め、HIV、その他性感染症予防研修を行い、発的に検査や助言を受け、習慣的行為を変える研修を行い、心理的アドバイスをを行い、麻薬の被害についての知識教育を与え、さらなる使用を拒むようにさせます。</li> </ol>
日本・各国との協力状況	<p>1999 年に設立以降</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* モンゴル・オーストラリア開発協力プログラム SAS</li> <li>* WHO の支援で PAF プログラム</li> <li>* 国連 UNODC の支援で「薬物のないモンゴル国」DAPC プロジェクト</li> <li>* 保健省、グローバル基金の支援で HIV、結核プロジェクト</li> <li>* 法務内務省、犯罪防止調整委員会、ウランバートル市健康局、モンゴル女性基金、オーストラリア開発協力 CAB、SAF プロジェクト</li> <li>* 保健省、保健支援基金、ウランバートル市議会、犯罪防止調整委員会、ウランバートル市長事務局によるマスタートレーナー育成プロジェクト</li> <li>* 国連人口基金、生殖保健 NGO ネットワーク、アドラ国際機関、モンゴル家族の幸せ協会、警察庁などの支援で 51 件のプロジェクトを実施</li> </ul> <p>2000 年に在モンゴル日本大使館と協力し、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件で 16,739 ドルの案件を実施しました。この案件で技術、設備支援を受け、事業強化できました。</p>
JICA との協力状況	







団体名	サンライズ・ハーフウェイ・ハウス福祉サービスセンター
設立年	2014 年
住所	ウランバートル市バヤンゴル区第 2 地区平和大通り第 4 ホロ-3—55
電話番号	976-91918132
E-mail	<a href="mailto:tumee_b2000@yahoo.com">tumee_b2000@yahoo.com</a>
URL/Facebook	Донтох эмгэгийн мэдээлэл
代表者名	B. トゥメンデムベレル
活動内容	<p>WHO と国連薬物犯罪事務所の政策、モンゴルの酒酔い防止法、麻薬、精神に影響を与える薬物貿易監視法、精神的健康法をそれぞれ方針として、行政及び国際的に同様の活動を行う団体と協力しています。</p> <p>私たちは次の目標を掲げ、活動を行っています。</p> <p>1. 依存症に対する支援サービスの普及を広め、質を改善する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-酒、タバコ、薬物使用者に社会的・精神的支援、アドバイスを行うアドバイザー育成研修を開催、これまでに 400 名のアドバイザーを育成しました。</li> <li>-ホームレスのアルコール依存症患者にメンタル支援サービスを行っています。</li> </ul> <p>2. 精神病・依存症について保健教育を与え、知識を高め、予防する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-青少年に酒、タバコ、薬物の予防研修を行い、番組を作成し、社会的啓発を行う活動を行っています。</li> </ul> <p>3. 依存症患者向け社会福祉サービスシステムを先進的にし、改善する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-決定・政策作成レベルの人々に問題について情報提供し、法的環境を整えるために活動を行っています。</li> <li>-依存症分野で活動を行っているアメリカと日本の NGO と協力し、諸国の経験を母国に普及させる目的で活動しています。</li> </ul>
日本・各国との協力状況	<p>2007 年に大阪市の MAC (Mary knoll Alcoholic Center)NGO の活動を視察する機会に恵まれました。依存症患者を回復させる社会福祉制度を知り、モンゴルで普及させたいと思いました。その時から同様の活動を行っている日本の NGO と関係ができました。</p> <p>2018 年に横浜市の RDP (Recovery Dynamic Program Yokoyama) プログラム実施 NGO 団体の活動を視察・調査しました。2021 年から横浜市の Y-ARAN NGO と協力を開始しています。</p>
JICA との協力状況	





団体名	モンゴル養蜂家協会
設立年	1991 年
住所	ウランバートル市バヤンズルフ区第 25 ホロー、マルガド・タウン 1 号室
電話番号	976-90111141
E-mail	Ttuya24@gmail.com
URL/Facebook	https://www.facebook.com/MongolianBeekeepersAssociaition
代表者名	トヤー
活動内容	養蜂家、養蜂業を行っている住民、企業、団体が職員の権益を守り、生活レベルを保障するのを援助・支援助し、科学の倫理と実践を組み合わせ、養蜂業の発展を支援しています。
日本・各国との協力状況	日本の農林水産省と林業国際協力協会 JAICAF、 BeeDeep-Mongol I. II
JICA との協力状況	「地方での生計維持を目指した養蜂振興プロジェクト」（2019 年 3 月～2021 年 12 月）

### БИДНИЙ ТУХАЙ



Монгол оронд "нэгдэх сүрэм" суурьшин, үр шимээ өгч эхэлсэнээ хойш бараг хорь мяахан жилийн дараа буюу 1977 онд засгийн ахлах байгууллага болох "Залуу засгийн тээвэр" байгуулагдсан. 1991 онд Сэлэнгэ аймгийн Шаамар суманд болсон Засгийн ахлах төлөөлөгчдийн сангаар "Монголын засгийн нийгэмлэг" илг үүссэн байгуулсан.

2003 онд болсон засгийн төлөөллийн хурлаар "Монголын засгийн нийгэмлэг"-ийн ерөнхийлөгчөөр Г.Очирагч, Гүйцэтгэх захирал, тухайн мэдээллийн эрхлэгчээр Х.Оюунболор нар ажилласан. 2013 оны 4-р сард Монголын Засгийн III чуулганаа зохион байгуулж Нийгэмлэгийн дугуйд зарим эмхэт өргөлдөлт оруулж, удирдах зөвлөлийн 11 гишүүдийг бүрдүүлжүйтэй, ерөнхийлөгчөөр Ц.Тувааныг сонгож, гүйцэтгэх захирлаар Т.Түвшэг төмөрчон ажиллуулж байна.

Өдгөө Гүйцэтгэх захирлын ажлын албана "Мэргэжлийн зөвлөх баг" нь засгийн аж ахуйн мэргэжлээр, эрдэмтэн, докторуудаа бүрдсэн 20 гишүүнтэй үйл ажиллагаа явуулж байна.

Монголын Засгийн нийгэмлэг нь засгийн мэргэжлээр ба засгийн сургах, хөгжүүлэх, зөвлөхөөр, засгийн аж ахуй, түүний бүтээгдэхүүн, засгийн тээвэрлэлийн талаар зөвлөж, зөвлөх, ном товчлол, эрдэм шинжилгээний асуудлыг шийдүүлэх, суралцаа ба эрдэм шинжилгээний чиглэлээр дэмжлэг болон ОУ байгууллагуудтай хамтран, кластер хөгжүүлэх, түүнчлэн, засгийн аж ахуй эрхлэгчдэд санхүүгийн дэмжлэг олох зэргэ олон талаар ажлуудыг хийдэг.

### АЛСЫН КАРАА

Монголын Засгийн Нийгэмлэг нь эх орныхоо өндөр байгалийн засгийн аж ахуйгаар дэмжүүлэн ирээдүй хойч үедээ өвлүүлэн үлдээхэд тэргүүлэгч байгууллага байна.



### ЭРХЭМ ЗОРИЛГО

Монголын Засгийн Нийгэмлэг нь гишүүдийнхээ эрх ашгийг дээдэлэн, шинжлэх ухаанд суурилсан мэдлэгээр чадавхижуулж, чанар стандартад нийцсэн засгийн бүтээгдэхүүнийг Гэлхийд таниулахад дэмжжж ажилладаг, менежмент, санхүүгийн бие даасан байгууллага байна.



### ҮЙЛЧИЛГЭЭ БА ХӨНГӨЛӨЛТ

ҮЙЛЧИЛГЭЭНИЙ ТӨРӨЛ	Засгийн гишүүн	Бүрэн эрхтэн гишүүн
1 Сургалтын чиглэлээр	10%	20%
1.1 Засгийн " гэрчилгээ өгөх сургалт	✓	✓
1.2 Бизнес хөгжлийн сургалт	✓	✓
1.3 Засгийн аж ахуйн заналын дандыг илэрүүлэх сургалт	✗	✓
1.4 Орлогын засгийн аж ахуйн сургалт	✗	✓
2 Засгийн аж ахуйн бизнес эрхлүүлэх, хамтран ажлаа чөлөөтэй		
2.1 Засгийн аж ахуйн төлөөлөгч төрлийн сургалт өгөх	✓	✓
2.2 МЭН гишүүнчлэлийн уудалт	✓	✓
2.3 Дэлхийн засгийн их хуралд оролцох (AFIMONDIA)	✗	✗
3 Засгийн аж ахуйн сурталчилгаа		
3.1 МЭН-ийг ашиглаж дээр, бүтээгдэхүүнийг ашиглах аргаар	✓	✓
3.2 Засгийн өргөжлөгч сурталчилгааг ашиглах	✗	✓
3.3 Засгийн биеийн бие үзүүлэлт өгөх	✗	✓
3.4 ОУ-ийн үзүүлэлт өгөх	✗	✓
4 Мэдээлэл хангах чиглэлээр		
4.1 2 цагийн лекц үйлдүүлэх	✓	✓
4.2 Монголын засгийн аж ахуйн тухай тухайн талаарх сурталчилгаа үр дүн, мэдээлэл	✗	✓
4.3 ОУ-ийн засгийн аж ахуйн сурталчилгаа үр дүн, мэдээлэл	✗	✗
5 Засгийн үйлчилгээний чиглэлээр	10%	20%
5.1 Засгийн бүтэц аргачлалыг өргөтгөх	✓	✓
5.2 Засгийн үрэгтэй жээг	✓	✓
5.3 Засгийн бичлэг, баян урлагийг	✓	✓
5.4 Засгийн аж ахуйн бизнес төлөөлөгч	✗	✓
5.5 Засгийн аж ахуйн заналын дандыг илэрүүлэх	✗	✓
5.6 Орлогын засгийн аж ахуй	✗	✓

## БИДНИЙ ХИЙСЭН АЖИЛ

### 1.Бодлого, өмгөөлөл, бизнес хөгжлийн чиглэлээр:

- 2014 онд ХХААХУАм, Дэлхийн Зоч ОУБ -тай хамтын ажиллагааны гэрээг бичигт гарын үсэг зурсал.
- 2015 оноос Монгол засгийн байгууллагад үзүүлж чиглэр стандартын хяналтын төл дүр Улсын яамт зөвхө өргөн дэргэйн төл байрлалын хамтран ажиллаж байна.
- 2015 оноос "JAICAF" ОУБ-тай хамтран засгийн аж ахуйн төслүүдийг дэмжүүлэх төслийг хэрэгжүүлсэн.
- 2015 оноос Монгол улсад засгийн аж ахуйн кластерийг хөгжүүлэх, засгийн аж ахуйн үйлдвэрийн чөлөөт зоогийн зоогийн бизнес үйлдвэрлэл, барууны дэмжих зорилгоор "Араван бизнес нэгдэл" ТББ "Гагурт" ХХК-тай хамтран ажиллаж байна.
- 2016 онд Оросын хуулийн төрийн хуулийн ажлын хэргийг ажиллаж, Органик засгийн аж ахуйн журмыг батлуулсан.
- 2016 оноос Дэлхийн Зогийчдийн Холбоо болох Arimonia ОУБ-г өндөржүүлсэн.
- 2017 оноос Зогийн аж ахуйн үйлдвэр ортлогын сүлжээ бий болгох АХБ-ийг төслөөр сунгуулж эхэлсэн.
- 2017 оноос Европын ерэнхөн бодлого засгийн бизнесийн санхүүжилтээр Жижиг Бизнесийн Саналдлага Комитетийн Монголд үр дүнтэй, бизнес сунгуулалтын байгууллагуудыг хөгжүүлэх төслийг хэрэгжүүлж байна.

### Сургалт, хөгжил, зөвлөгөө чиглэлээр:

- 2013 онд ОХУ-ын Банкны үйлчилгээний "Зогийн эрдэм шинжилгээний судалгааны төл" төл нэгт хамтын ажиллагаатай ажиллаж туршицаа сайжруулах ажил эхлүүлсэн.
- 2014 оноос Сэлэнгэ аймгийн Шаамар суман дахь МСТов болон Хөдөлмөрийн хамтын хамтран Зогийн аж ахуйн сургалтын хамтаар боловсруулсан.
- 2014 онд Турк улсад Азийн засгийн аж ахуйн холбооны бага хурал өргөжүүлсэн.
- 2014-2016 онд НТБ-ийн Хүнс ХАА Байгууллагын Огноо-Өвчлөлийн хамтын ажиллагааны төслийн хүрээнд засгийн байгууллагад үзүүлж чиглэр төл, сэмжээр хэлсэн ажилласан.
- 2015 онд Сэлэнгэ улсын Даржага хотноо болон "Arimonia-44" их хурал төлөвлөгөөний өргөжүүлсэн.
- 2017 онд Турк улсын Истанбул хотод "Arimonia-45" их хурал өргөжүүлсэн.
- 2018 оноос Европ орны үйлдвэрлэл төлөгч хамтран засгийн мэргэжлийн сургалтын үйлдвэр төлөгч судалгааны ажлыг явагдаж байна.

### 2.Чуулалт, семинар, ивэн чиглэлээр:

- 2013 онд Монголын Зогийчдийн III хурал
- 2014 онд Зогийчдийн Ундрах ажиллагаа семинар
- 2015 онд "Тайжамгийн хамтдаа бүтээг" симпозиум
- 2015 онд "Зогийн аж ахуйн төлөгчдийн бэлтгэл" сургалт
- 2016 онд "Халбага засгийн баг авт"
- 2017 онд "Зогийн байгууллага"
- 2018 онд "Монголын Зогийн аж ахуйн Кластерийн төлөгч"

### ХАМТРАН АЖИЛЛАЖ БҮЙ БАЙГУУЛЛАГУУД



### ОРОЛЦСОН ОЛОН УЛСЫН ИХ ХУРЛУУД



### ХОЛБОО БАРИХ



### "МОНГОЛЫН ЗӨГИЙЧДИЙН НИЙГЭМЛЭГ" ТББ

Дэлхийн тэтгэх зөгий



ДЭЛХИЙН ЗӨГИЙЧДИЙН ХОЛБООНЫ ГИШҮҮН БАЙГУУЛЛАГА

団体名	モンゴル農業進歩協会
設立年	2015 年
住所	ウランバートル市ハンウール区第 3 ホロー、シャラブ 32 番棟 2-194
電話番号	976-89993006, 976-80013365
E-mail	<a href="mailto:jantsankhorol05@yahoo.com">jantsankhorol05@yahoo.com</a> s.yundendorj@gmail.com
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/groups/1684093911805719">https://www.facebook.com/groups/1684093911805719</a>
代表者名	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● モンゴル農業進歩協会は 2015 年 8 月 12 日に設立された NGO です。</li> <li>● 設立者 14 名、入会者 6 名の現在 20 名の会員で活動を行っています。</li> <li>● 協会の目的は、農業、食品生産に科学技術を取り入れ、国内外の先端技術を普及させ、牧民の能力向上、伝統的牧畜業と自然環境に優しい農業に力を入れた産業と食品生産を発展させ、植物性原料、製品の備蓄、オーガニック食品生産を増やすのに必要な専門と手段に支援を行い、農業と食品分野の発展のために、政策提言することです。</li> </ul> <p>モンゴル農業進歩協会会員の 60%にあたる 12 名は、博士、教授、准教授の学位を持ち、6 名にあたる 30%が修士、顧問、全会員の 90%が関係省庁、国際機関のプロジェクト、プログラム、NGO で管理担当を務め、知識、経験、専門的能力が高い人々です。</p>
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	JICA の研修員同窓会と共同で「ビニールハウス野菜、果実栽培技術を家庭菜園に普及させ、消費を増やす」というテーマで研修セミナーを、2019 年 11 月 29 日に食糧農業軽工業省で開催しました。







団体名	人権開発センター
設立年	1998 年
住所	ウランバートル市チンゲルテイ区第 3 ホロー、平和大通り 54、ピースタワー11 階 1103
電話番号	976-11325721, 976-11-319037
E-mail	chrdd@mongolnet.mn
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/chrdd.mongolnet">https://www.facebook.com/chrdd.mongolnet</a>
代表者名	G. ウランツォージ
活動内容	<p>私たちは地方住民の決定機関への参加、実施監査、評価、責任感を持たせる共同能力向上を支援し、次の 3 つの分野で活動しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人権啓発プログラム</li> <li>2. 人権擁護プログラム</li> <li>3. 職員能力向上プログラム</li> </ol>
日本・各国との協力状況	日本の JANIC、韓国、タイの団体と協力しています。
JICA との協力状況	







団体名	男女平等センター
設立年	2002 年
住所	ウランバートル市チンゲルテイ区第 5 ホロー、ビクトリーセンター4 階 404 号室
電話番号	976-11-311 512
E-mail	<a href="mailto:genderegcn@magicnet.mn">genderegcn@magicnet.mn</a> ; <a href="mailto:mongoliangenderequalitycenter@gmail.com">mongoliangenderequalitycenter@gmail.com</a>
URL/Facebook	Mongolian Gender Equality Center/ Хүйсийн тэгш эрхийн төв
代表者名	G. ガンバヤスガフ
活動内容	<p>男女平等センターは、ジェンダーに基づく暴力防止の多方面の活動を行っている NGO です。同センターは被害者保護、予防、啓発活動の 3 つのプログラムを行っています。</p> <p>私たちは 2002 年 1 月 4 日の設立以来、性暴力、強姦事件の被害者を対象とした支援サービス、被害者支援活動を 2003 年から、母国に安全をもたらし、初期段階の援助支援を行い、社会復帰させるリハビリ活動を 2007 年から、人身売買事件の予防目的で 24 時間体制の 1903 電話サービスを 2006 年からそれぞれ行っています。</p> <p>これまでに総勢 2000 名近くに支援を行ったうちの 742 名(2019 年 3 月 31 日)は人身売買の被害者、189 名は強姦・性暴力被害者の子どもたちでした。被害者の 73%が女性、11%が子ども、70%が性的搾取、25.8%が労働搾取の被害者で、そのうちの 2 人に 1 人が中国で、4 人に 1 人がモンゴル国内で売買されました。海外 9 カ国から 286 名の被害者をモンゴルに帰還させ、外国人 8 名を母国に帰還させるのを支援しました。</p> <p>同センターはウランバートル市とザミンウードに保護施設を有し、被害者を 1 日から 3 か月まで保護することができます。2007 年以降、ウランバートル市の施設で 361 名、ザミンウードの施設で 164 名を保護しました。</p> <p>警察機関に 424 名の被害者の 232 件の事件について届け、裁判で 129 名の被害者の 47 件の事件の弁護支援を行い解決しました。</p> <p>同センターは、電話サービスにかかってきた 9,642 件の電話に情報やアドバイスを行い、暴力、人身売買の被害者 2,000 名近くに保護サービスを行い、100 名近くの被害者と 40 件近くの事件を裁判で解決しました。</p> <p>2002 年以降、男女平等センターは法律機関の職員、NGO、専門家など 250,000 名近くに約 200 回の研修を開催しました。</p>
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	

団体名	トゥゲーマル権利開発 NGO
設立年	2014 年
住所	ウランバートル市スフバートル区第 8 ホロー、若者通り 9-B01
Утасны дугаар	976-99088306
E-mail	<a href="mailto:saruul@urdinstitute.com">saruul@urdinstitute.com</a>
URL/Facebook	<a href="http://www.urdinstitute.com">www.urdinstitute.com</a>
代表者名	T. サロール
活動内容	<p>トゥゲーマル権利開発NGOは、2014年に人権についての研究を行う法律家、研究者の提唱によって設立されました。</p> <p>団体の目的は、人権、自由、民主主義の自由な社会の価値原則を尊重し、人権の確立、保護、法的価値強化に貢献することです。私たちは非従属的な研究、研修、国際会議開催、顧問サービス、社会の権益保護に戦略的弁護を行う専門的研究所になる目的で活動しています。</p> <p>私たちの活動のもう一つの特徴は、芸術文化を通じて人権の啓発活動を行うことです。</p>
日本・各国との協力状況	<p>トゥゲーマル権利開発 NGO は設立以来、海外の法律、人権分野で年に 1 回以上国内外の会議、啓発活動を主催してきました。下記に記したのは、私たちが主催した学術研究会議、シンポジウム、セミナーの年ごとのリストです。</p>

	<p>2014</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Seminar on Free Trade Agreement</b> Guests: Prof.Yasukhei Taniguchi (Tokyo University) Prof.Yasukhei Taniguchi (Kyoto University) Co Host: National Legal Institute of Mongolia</li> <li>• <b>Seminar on Human Rights Approach to Save the Natural Environment</b> Guests: Prof.Diana Shelton (Jorj Washington University) Co Host: National Legal Institute of Mongolia</li> <li>• <b>Seminar on Human Rights Development: Role of Korean Constitutional Court</b> Guest: Prof.Kyong Wahn Ahn (Seoul National University) Co Host: Judicial General Council of Mongolia, Human Rights Commission of Mongolia, Open Society Forum.</li> </ul> <p>2016</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>International Symposium on Interaction Between Court and Arbitration</b> Guests: Prof.Yasukhei Taniguchi, Prof. Philip Jimenez Co Host: Judicial General Council of Mongolia, National and International Arbitration of Mongolia, Graduate University of Mongolia</li> </ul> <p>2017</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>International Symposium on Freedom of Speech on the occasion of the 70<sup>th</sup> anniversary of the Universal Declaration of Human Rights</b> • Guests: Philip Jimenez (Santa Clara University); Yasuhei Taniguchi(Kyoto University); Kyong Whan Ahn(Seoul National University/SNU);Etsuo Doi(Foley&amp;Lardner LLP); Sang Jo Jong(SNU) • Co Host: HR Commission of Mongolia; Mongolian Bar Association; Globe Intenational Centre;</li> <li>• <b>Seminar on Immigrants' Rights</b> • Guest: Mr.Marcus Kozin (Immigrants' Rights Specialist USA, Japan) • Co-host: Mongolia Immigration Agency, Graduate University of Mongollia</li> <li>• <b>Eco Women National Summit 2019</b> Co Host: In cooperation with 4 local NGOs</li> <li>• <b>International Symposium on Water Rights-Human Rights</b> Guests: Environmentalists, human rights activists and artisits from 8 countries Co Host: Human Rights Commission of Mongolia</li> <li>• <b>"Save Khuvsgul" Multi Lateral Discussion.</b> Co Host: Khuvsgul Dalai Eej Society, Khatgal Community Association in Ulaanbaatar      Guests: ADB, NUM professors, Tourism and Environmen issue related specialists and NGOs</li> <li>• <b>Eco Women National Summit 2021</b> Co-Host: National Gender Committee Guests: 8 Guest speakers who are young eco- influencers and online platform participants</li> </ul> <p>2021</p>
JICA との協力状況	







団体名	ボランティア開発センター
設立年	2009 年
住所	ウランバートル市スフバートル区第 8 ホロー、ハブイノベーションセンター2 階
電話番号	976-99019645, 976-70117085
E-mail	<a href="mailto:vdcenter.ngo@gmail.com">vdcenter.ngo@gmail.com</a> ; <a href="mailto:byambabat@vdc.org.mn">byambabat@vdc.org.mn</a>
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/VolunteerDevelopmentCenter">https://www.facebook.com/VolunteerDevelopmentCenter</a>
代表者名	M. ビャンババト
活動内容	<p>若者のボランティア参加を支援し、社会の発展に貢献するのが目的です。</p> <p>主な活動内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ボランティア育成</li> <li>- 社会に効果的なボランティア活動を主催する</li> <li>- 社会にボランティア活動を広報・紹介する</li> <li>- 社会向け活動を行っている団体とボランティアメンバーを結びつける</li> <li>- 旅行しながらボランティア活動を行うプログラムを実施する</li> <li>- ボランティアの交流事業開催</li> </ul>
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	







団体名	心理学国家センター
設立年	2010 年
住所	ウランバートル市スフバートル区第 1 ホロー、ビジネスプラザ 5 階 505 号室
電話番号	976-77324233
E-mail	<a href="mailto:psychology.npc@gmail.com">psychology.npc@gmail.com</a>
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/NationalPsychologyCenter">https://www.facebook.com/NationalPsychologyCenter</a>
設立者名	B. ウーガンツェツェグ
活動内容	<p>心理学国家センターは心理科学を発展させ、啓発し、日常生活で普及させるなどの目的で活動を継続的に行っている専門団体の 1 つです。同センターは理論と実践を組み合わせ、個人、子ども、家族、団体に心理学的サービスを行っています。心理学的な個別及びグループのカウンセリング、心理学セミナー、啓発活動を行っています。</p> <p>社会の心理学教育向けに心理学の書籍、専門家向けの手引きを作成し、届けています。</p>
日本・各国との協力状況	World vision、Good neighbors、カリタス・モンゴル NGO、ドイツの協力協会 GIZ と協力しています。心理学カウンセリング、心理学セミナー、プログラムを共同実施しています。
JICA との協力状況	JICA とセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが共同実施している「モンゴルにおける子どもの権利・保護法成立後の要保護児童支援制度定着化支援事業」の「ポジティブ・ディシプリン」セミナー共同実施団体



Good neighbors 国際機関と共同で顧問専門家らが「カウンセリング能力」セミナーに参加し、証明書を授与しました。(2017年ウランバートル市にて)



World Vison 国際機関と共同で「両親としての知恵」講義を段階的に開催しました。ウランバートル市、バヤンウルギー県、ザブハン県、ヘンティー県にて2017年。



家族ラジオと共同で、心理学の知識情報を家庭に与える活動を2010年から継続的に行っています。



私たちのチーム、職員は社会的心理学教育向を啓発するために、テレビ番組に継続的に出演しています。

Podcast

MOIN MOIN  
Mongolia

**Өсвөр үеийнхэний  
сэтгэл зүй болон  
эцэг эхчүүддээ хүргэх  
зөвөлгөө**

❖ Өсвөр насны хүүхдийн  
сэтгэл зүйн онцлог

❖ Сэтгэл гутрал болон үүнийг  
хэрхэн даван туулах вэ?

❖ Эцэг эхчүүд хүүхдүүдийнхээ  
хэрхэн сайн найз нь байх вэ?

Зочин: "Сэтгэл судлалын  
үндэсний төв"-ийн  
Сэтгэл судлаач: Г.Отгонцэцэг




思春期の子どものための心理学教育を向上させることを重要視しています。

Hosted by:  Partnered with:  

# СЭТГЭЛ ЗҮЙН МИНИ ФОРУМ



**Стресс менежмент**  
Б.Ууганцэцэг



**Харилцаагаа удирдаж  
EQ-дээ анхаарья**  
Б.Энхбаяр



**Гэр бүлийн  
сэтгэл зүй**  
Г.Наранбаатар



**Шинэ мянганы ажлын  
байрны сэтгэл зүй**  
Ц.Энхжаргал



**Хүүхдийн сэтгэл  
зүйн онцлог**  
Ц.Нямцэцэг



**Өсвөр насны хүүхдийн  
нийгмийн харилцааны  
онцлог**  
Г.Отгонцэцэг



**Залуусын  
сэтгэл зүй  
(19-25 нас)**  
Б.Энхлэн



**Сэтгэл зүйн  
аппликэйшн**  
Б.Батжаргал

🕒 2021 оны 11 сарын 27, Бямба гараг, 10:30 - 13:00 цагт  
📍 Сүүл Бизнес Төв, 3 давхар, #Mstars Hub (Чингис зочид буудлын ард)

団体名	ウブディス心理学センター
設立年	2003 年
住所	ウランバートル市ハンウール区第 1 ホロー、15 番棟 4 号室
電話番号	976-95863958
E-mail	uvdiscenter@gmail.com
URL/Facebook	Ariunaa Uvdis
代表者名	I. アリウナー
活動内容	<p><b>目的</b> ; 国民と障害者に心理学的総合サービスを行うことで、彼らの生活の質を向上させることが目的です。</p> <p><b>活動内容</b> ;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理学的サービス、メンタルケア、精神診断を行う</li> <li>2. 就労支援</li> <li>3. 社会の多様な課題について研修セミナーを開催する <ol style="list-style-type: none"> <li>a. 心理学教育</li> <li>b. 保健教育</li> <li>c. 音楽教育</li> <li>d. ビジネス実業家教育 等</li> </ol> </li> <li>4. 支援グループ活動</li> </ol> <p>当センターは設立以来、モンゴル国保健省、自然保護省、世界保健機関、労働福祉サービス局、Oyu-Tolgoi 社、世界自然保護基金等の機関と提携し、活動してきました。</p>
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	





団体名	イウェール・ツォグツ開発センター
設立年	2014 年
住所	ウランバートル市ソングノハイルハン区第 31 ホロー、ハイルハン 5
電話番号	976-89985394, 976-99777261
E-mail	dmdora_7@yahoo.com
URL/Facebook	Holistic Blessing Development NGO
代表者名	
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個人開発セミナー</li> <li>2. 心理学的カウンセリング、セミナー開催</li> <li>3. 調査、研修プログラム作成</li> <li>4. 案件プログラムの実施</li> <li>5. 子ども、思春期世代、保護者向け研修プログラム開催</li> <li>6. 障害者会員の介護者向け研修プログラム、カウンセリング</li> </ol>
日本・各国との協力状況	
JICA との協力状況	



団体名	モンゴル家族の幸せ協会
設立年	1994 年
住所	ウランバートル市チンゲルテイ区第 3 ホロー、ピースタワー909 号
電話番号	976-70183514
E-mail	info@mfw.mn
URL/Facebook	<a href="http://www.mfw.mn">www.mfw.mn</a> <a href="https://www.facebook.com/mfw.mn">https://www.facebook.com/mfw.mn</a>
代表者名	B. ムンフツェツェグ
活動内容	<p>モンゴル家族の幸せ協会は 1994 年に設立され、県、郡に全 15 の支部、思春期世代向けの 10 のセンター、婦人科病院、ボランティアメンバー、若者たちを通じて、人々に性・生殖保健、権利についての教育と情報を与え、支援サービスを行う活動を行っている非営利、非宗教的、非政治的、非政府組織です。</p> <p>活動の基本方針:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, 性と権利についての教育を行い、支援サービスを行うとともに政策、法的支援環境を整える</li> <li>2, 思春期世代に性権利についての情報を与え、知識、能力を習得させる</li> <li>3, 性について質の良い、総合的援助サービスを行う</li> <li>4, ボランティア、メンバー、支援者による有能な人材を有し、責任ある団体</li> </ol>
日本・各国との協力状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1, 国際家族計画連合（IPPF）加盟団体</li> <li>2, 日本の協力機構（JOICFP）から自転車の寄付をいただき、地方、遠隔地の人々及び低所得者層の人々に供与しました。</li> <li>3, ハンガリー、カザフスタンの家族計画協会、タイの人口開発協会、国際避妊基金などの機関と協力契約を締結し、活動しています。</li> </ol>
JICA との協力状況	<p>共同実施したプロジェクトはありませんが、2010 年以前に協会の 4 名の職員が JICA を通じて日本での課題別研修に参加しました。</p>





団体名	モンゴル放射線医学協会
設立年	1995 年
住所	私書箱 34、支局 48、ウランバートル市 13374、モンゴル国
電話番号	976-99063486
E-mail	<a href="mailto:mongolia.radiology@gmail.com">mongolia.radiology@gmail.com</a>
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/The-Mongolian-Society-of-Radiology-100715675687736">https://www.facebook.com/The-Mongolian-Society-of-Radiology-100715675687736</a>
代表者名	D. ゴンチグスレン
活動内容	<p>モンゴル放射線医学協会は 21 の支部、約 500 名の会員で活動を行っています。放射線技師専門試験及び研修医の卒後試験を自立的に行い、技師に専門性を与え、向上させるすべての研修に当協会の教授が参加しています。私たちの分野は、モンゴル放射線技師協会の活動を広め、画像診断設備の数、供給が増えていることに関連し、放射線技師の需要、知識教育の向上が不可欠になっています。</p> <p><b>活動分野:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 画像診断の研修、研究</li> <li>• モンゴル放射線医学雑誌</li> <li>• 会員の発達</li> <li>• 卒後研修</li> <li>• 国際協会と共同研修、協議会</li> </ul>
日本・各国との協力状況	<p>次の団体と研修、共同協議、共同調査を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Asian Oceanian Society of Radiology</li> <li>• Japanese Society of Radiology</li> <li>• Korean Society of Radiology</li> <li>• Radiology Across Borders</li> </ul>
JICA との協力状況	



コロナ画像診断オンラインセミナー講師陣

МОНГОЛЫН ДҮРС ОНОШИЛГООНЫ ЭМЧ НАРЫН  
ҮНДЭСНИЙ ЧУУЛГАН - 2017



Корпорейт зочид буудал, Улаанбаатар хот  
2017.09.15-17

モンゴル画像診断医国家フォーラム

KSR-MSR Virtual Friendship Symposium

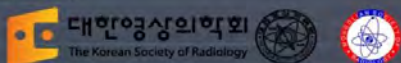
November 20th(Saturday), 2021  
9am - 1pm in Mongolia / 10am - 2pm (in Korea)

 <b>YUSUHN KANG</b> Seoul National University Bundang Hospital	 <b>Prof. R. ASAI</b> National Cancer Center of Mongolia	 <b>JUNG JOON-YONG</b> Seoul St. Mary's Hospital	 <b>B.ONONCHIMEG</b> Intermed Hospital Mongolia
 <b>EUN HAE PARK</b> Chonbuk National University Hospital	 <b>HEE DONG CHAE</b> Seoul National University Hospital	 <b>AHN KYUNG-SIK</b> Korea University Anam Hospital	 <b>SUN JOO LEE</b> Inje University Busan Paik Hospital



Registration

Organized by



Contacts:

Cellphone: +976-88103672  
E-mail: mongolia.radiology@gmail.com

韓国・モンゴル放射線医学協会共同会議

団体名	モンゴル栄養士協会
設立年	2007 年
住所	ウランバートル市スフバートル区第 8 ホロー、GB センター201 号室
電話番号	976-99123635, 976-99844021
E-mail	rem145e@must.edu.mn
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/MongolianNutritionSociety">https://www.facebook.com/MongolianNutritionSociety</a> <a href="https://www.facebook.com/groups/1963398450647759">https://www.facebook.com/groups/1963398450647759</a>
代表者名	G. エンフタイワン
活動内容	<p>同協会は、栄養学分野で活動している専門的 NGO で、人々の健康のもとである食事、栄養状態、食品供給、安全性について専門性を活かし、助言、援助、政策支援、協力などを行い、研修、学術研究、情報提供やカウンセリングなどを行い、国内外の関係を発展させるために、会員の活動と積極的提案を支援しています。</p> <p>栄養学分野の様々な活動を実施していて、主に幼稚園と学校の子どもたちの食事の質と栄養を改善し、人材能力強化を行っています。モンゴルで義務教育学校の調理サービスについての法律を提唱し、承認のために活動しています。</p>
日本・各国との協力状況	<p>世界栄養科学連盟（IUNS）、アジア委員会の加盟団体です。</p> <p>The Japanese Society of Nutrition and Dietetics、 British Nutrition Society、 Chinese Nutrition Society、 Korean Nutrition Society と MOU を締結しました。</p> <p>IUNS、FANS 専門の協力機関の活動を支援し、4 年ごとに大会議及びその他会議、協議会に継続的に参加しています。</p>
JICA との協力状況	モンゴル学校給食導入プロジェクト







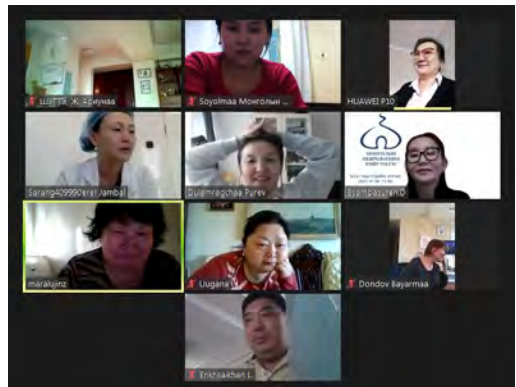
Prof G. Enkhtaivan and Prof Philip Calder,  
President of British Nutrition Society,  
2017



団体名	モンゴル神経学協会
設立年	2014 年
住所	ウランバートル市教育大学交差点 UBH center3 階 315 号室
電話番号	976-99233332
E-mail	info@mongolianneurology.org
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/mongolianneurology/">https://www.facebook.com/mongolianneurology/</a>
代表者名	P. ソヨルマー
活動内容	<p>モンゴル神経学協会は、モンゴルの神経科医、教師、研究者らをまとめ、彼らの知識能力、協力を強化するために、研修、研究活動を主催しています。約 300 名の神経科医を含む会員で構成されています。</p> <p>私たちの目的：モンゴルの精神科医の知識、能力をひとつにし、国内外の医者との関係、協力を発展させるために、精神病支援サービスを改善し、モンゴルの保健分野の発展に貢献することを目的にしています。</p> <p>協会の基本活動方針：</p> <p>研修：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 四半期ごとの研修</li> <li>● 毎月行われる協議会</li> <li>● 毎年 INFO 神経学国際会議</li> <li>● 若い精神研究者向けの夏期・冬季集中講座</li> </ul> <p>プロジェクト：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● トレーナー育成研修</li> <li>● 支援サービスの改善</li> <li>● 神経学専門学位授与試験</li> </ul> <p>出版：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 神経学モンゴル雑誌</li> <li>● ハンドブック</li> </ul> <p>社会向けイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際てんかんの日</li> <li>● 世界脳内出血と闘う日</li> </ul> <p>国内活動：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 選挙、会員会議</li> <li>● シニア専門医表敬</li> <li>● ウェブサイトなどオンラインによる情報提供</li> </ul> <p>国際交流：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 共同学術研究、臨床研修</li> <li>● 経験共有視察</li> <li>● 若者の実習、研修</li> <li>● 患者の共同診察</li> </ul>
日本・各国との協力状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 愛媛大学睡眠健康センター</li> <li>● ドイツの神経学協会</li> <li>● 韓国の神経学協会</li> </ul>

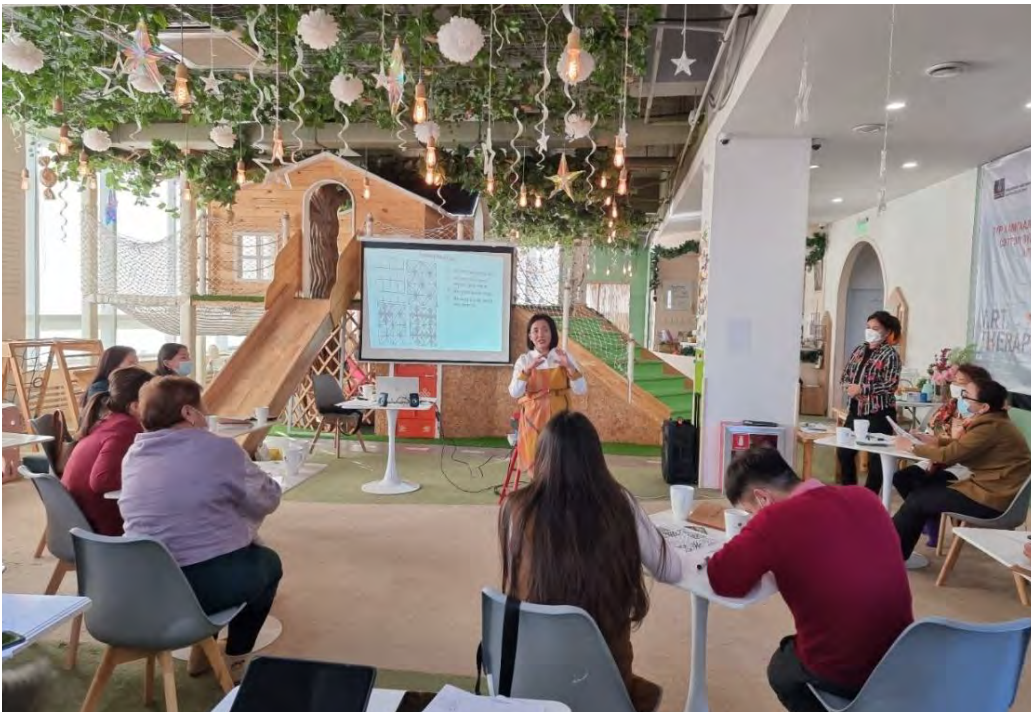
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• パーキンソン病、運動病理国際協会</li> </ul>
JICA との協力状況	





団体名	モンゴルアートセラピー専門協会
設立年	2017年
住所	ウランバートル市バヤンズルフ区第6ホロー、第13地区A-405
電話番号	976-99122858
E-mail	bereearththerapy@gmail.com
URL/Facebook	<a href="https://www.facebook.com/Mongolian-Professional-Art-Therapy-Association-458008187934323">https://www.facebook.com/Mongolian-Professional-Art-Therapy-Association-458008187934323</a> <a href="http://arttherapy.mn/language/en/">http://arttherapy.mn/language/en/</a>
代表者名	B. ベルツェツェグ
活動内容	<p>私たちの目的は、アートセラピー、芸術的心理療法サービスを国際専門スタンダード、道徳規範を固守し、全国的に普及させることです。</p> <p>アートセラピー研修、オンラインミーティングイベント、プロジェクトプログラム、アートセラピー専門管理を提供します。私たちは個人、家族、団体向けに活動を行っています。</p> <p>実施しているプロジェクト、プログラム；</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 地方、都市、区、地区の子ども保護専門家、ソーシャルワーカー、心理学者、法的監視機関、子どもの発達、保護分野で活動している政府及び非政府機関の職員に「アートセラピー研修」</li> <li>* 思春期世代や児童虐待・育児放棄に遭った子どもたちの恐怖、脅威を取り除き、自分に自信を持たせ、乗り越える力をつけさせる「お助けモンゴル犬」アートセラピープログラム。</li> <li>* いじめ、暴力の防止、予防、保護、対応サービスを行う「お助けモンゴル犬」アートセラピープロジェクト。プロジェクトで「同年代のトレーナー」育成、子ども同士で啓発する機会を与えます。また、子ども、両親、教師がひとつの理解であるための研修を開催します。</li> <li>* カウンセリングチーム、新型コロナウイルスビデオ動画、プロジェクト、家族、団体、仲間にアドバイスをを行います。</li> <li>* ポジティブ・ディシプリン研修を教師、両親に芸術に基づいた方法を使い開催しています。</li> </ul>
日本・各国との協力状況	アートセラピー、芸術を通じた心理療法を行うアートセラピーを発展させるために、外国のアートセラピストと協力しています。
JICA との協力状況	







女の子「一人で寝るのは怖いよ、泣いちゃうよ」  
お助けモンゴル犬「じゃ、一緒に遊ぼう」



女の子「わたしの一番いい友達だね。歯を磨いて、本を読んで、一緒に寝ようね」



団体名	モンゴル麻酔科医協会
設立年	2002 年
住所	ウランバートル市チンゲルテイ区第 4 ホロー、バガタイロー、ゾースゴヨル・ビル 306 号室
電話番号	976-88081072
E-mail	khurelochirt@gmail.com
URL/Facebook	Mongolian Anaesthesia Group
代表者名	
活動内容	モンゴルの麻酔科医の権利を保護するボランティアの非政府組織で、専門分野で研修を開催し、専門性を向上させる活動を行っています。
日本・各国との協力状況	世界麻酔科医協会加盟
JICA との協力状況	

団体名	オルビス国際機関モンゴル支部
設立年	2021年
住所	ウランバートル市スフバートル区第3ホロー、トゥグルドゥルオフィス4階
電話番号	976-99186985
E-mail	Chimgee.chuluunkhuu@orbis.org
URL/Facebook	
代表者名	Ch. チムゲー
活動内容	保健機関と共同で、子どもと成人の眼科支援サービス改善プロジェクトを実施しています。プロジェクトで医師、医療専門家の研修、病院へ設備提供、眼科支援サービス制度を改善する活動を行っています。
日本・各国との協力状況	オルビスの本部はアメリカのニューヨークにあり、オルビス国際機関のプロジェクト実施諸国と協力しています。
JICAとの協力状況	





団体名	モンゴル看護師協会
設立年	1996 年
住所	ウランバートル市バヤンズルフ区平和大通り 49
電話番号	976-99263317, 976-95221001, 976- 91910830
E-mail	<a href="mailto:Nyamsuranmna@gmail.com">Nyamsuranmna@gmail.com</a> urnaa0830mna@yahoo.com
URL/Facebook	Монголын Сувилагчдын Нийгэмлэг
代表者名	D. ニャムスレン
活動内容	<p>モンゴル看護師協会は、72 の支部、約 9,500 名の会員がひとつになり、会員の一般的權益を保護し、看護師の知識、教育、能力を向上させ、学術研究活動、創造的活動を支援し、社会の健康を発展させる目的で、活動を行っています。</p> <p>2000 年 5 月 26 日に初フォーラムで「看護師の宣誓」、「看護師が尊重する道理」を承認し発表しました。2001 年にスウェーデンに本部がある国際看護師協会に正式に加盟しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 全国的に 4 年ごとに会議、フォーラム、会合を開催しています。</li> <li>-フォーラムを 2 年ごとに開催し、活動を明確にしています。</li> <li>-国際看護師協会の呼びかけで、毎年 5 月 12 日の国際看護師の日に、看護師の声を政府に届け、創造的活動を支援し、看護師を表彰しています。</li> <li>-毎年、国際看護学術研究会議を国内外の機関と共同開催しています。</li> <li>-保健省、保健開発センター、JICA 及びその他国内外の関係機関と共同で、15 のテーマで看護師の短期・長期研修を講義室、職場、遠隔、オンライン形式で開催しています。</li> <li>-韓国、日本、ドイツ、中国、ロシア、台湾などの国々と、経験共有のために看護師の知識専門を高めています。</li> </ul>
日本・各国との協力状況	<p>「新人看護師」ハンドブックを出版し、35 の団体と看護師らに、全 10 回 800 名を対象に研修セミナーを開催しました。</p> <p>「高齢者介護」テーマで家庭保健センターを対象に医師、看護師研修を 100 名に行いました。</p> <p>「新人看護師研修」全 5 回の研修に 500 名を対象に開催しました。</p> <p>「母子応急処置サービス」研修を地方で開催しました。</p>

JICA との協力状況

JICA 帰国研修員同窓会の支援のもと、「手の衛生」ハンドブックを出版し、80の保健機関に配布し、研修を開催しました。

「新人看護師」ハンドブックを作成し、地区病院に配布し、研修を開催しました。

「新型コロナウイルス監視と予防」書籍を地方、地区、中央病院に配布し、全8回の研修を開催しました。

「新型コロナウイルスの監視と予防」11のテーマのビデオ動画を作成しました。更に現在は「医師及び看護師の卒後研修能力強化プロジェクト」と協力し、看護師の研修強化に取り組んでいます。



「国際看護師の日」に「労働権利」のテーマで1000名の看護師フォーラム



СУВИЛАХУЙН ТУСЛАМЖ ҮЙЛЧИЛГЭЭНИЙ ШИНЭЧЛЭЛ 20 ЖИЛД  
Монгол улсад сувилагчдын анхны мэргэжлийн нийгэмлэг үүсэн  
байгуулагдсаны 20 жилийн ойн хүндэтгэлийн үйл ажиллагаа  
СУВИЛАГЧДЫН IV ЧУУЛГАН



Улаанбаатар хот  
2016.09.12-16

モンゴル初の看護専門協会設立 20周年記念行事



JICA モンゴル事務所の佐藤睦元所長による  
「看護師分野で実施しているプロジェクトの必要性、効果、今後の活動」セミナー







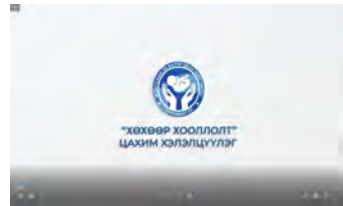
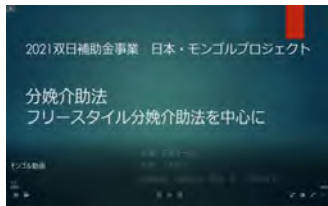
団体名	モンゴル助産師協会
設立年	2006 年
住所	首都フレー産院内
電話番号	976-99165858
E-mail	<a href="mailto:mongolianmidwivesassociation@gmail.com">mongolianmidwivesassociation@gmail.com</a> <a href="mailto:davaasurenerdamba888@gmail.com">davaasurenerdamba888@gmail.com</a>
URL/Facebook	Монголын эх баригчдын нийгэмлэг
代表者名	S. ダワースレン
活動内容	<p>モンゴル助産師協会は、助産師の知識、専門能力を向上させ、専門学位を取得し、学術研究活動を広めるのに、専門的管理方法を提供し、助産師の権利を守り、助産技術の質と普及を改善し、家族計画、社会保障を進展させ、助産師の活動を活性化させるのに貢献する目的で活動している NGO です。</p> <p>モンゴル助産師協会は 21 の県、360 の郡、ウランバートル市の 9 つの地区で助産師の代表、約 1,000 名の会員がいる独立した NGO です。モンゴルで全 1067 名の助産師が働いていて、39.6%が郡の保健センター、郡内の病院、24.4%が総合病院、地区の保健センター、産院、15.3%が問い合わせセンターで助産サービスを行っています。</p>
日本・各国との協力状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>2010 年に国際助産師協会の正式な加盟国になり、協力関係にあります。</li> </ul> <div data-bbox="692 879 994 1091" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本看護師協会と 2014 年に提携を結び、2015 年に Twinning プロジェクトを開始し、モンゴルの助産分野が直面している問題の 1 つである妊婦の肥満、巨大胎児の問題を注視し、「モンゴルにおける妊婦の肥満の現状」調査を 2017、2018 年に全国規模で行いました。</li> </ul> <p>日本助産師会の幹部、九州大学の博士、教授らと共同で上記研究の成果を紹介し、「妊娠期の肥満予防における助産師の介入」テーマで研修、協議会を 3 年連続で開催しました。</p> <p>このプロジェクトの一環で「妊娠期肥満予防」ハンドブック、パンフレットを作成・出版し、保健機関に配布しました。また携帯電話の「Happy Baby、Healthy Mom」アプリケーションを開発しました。</p> <div data-bbox="459 1506 1159 1671" data-label="Image"> </div>



- 2016～2018年にフランスのサンテシュードNGOと「助産師の能力強化」プロジェクトで協力しました。
- 2019年に国際ロータリー基金、日本の宜野湾ロータリー、横浜ロータリー、モンゴルのツール・ロータリークラブ、日本助産師協会と共同で「Happy birth & Happy baby」プロジェクトを実施し、「赤ちゃんの心臓、肺の蘇生処置」のトレーナー育成、助産師らの職場実習研修を開催しました。プロジェクトで全110名のトレーナー、重複数字で全1450名の助産師が「赤ちゃんの心臓、肺の蘇生処置」技能取得研修に参加しました。



- 2020～2021年に日本の東京助産師会と共同で、コロナ禍における日本・モンゴルの「新しい生活を迎える文化」を支援し、助産師の産科サービスと専門教育を向上させるために、共同プロジェクトを実施しています。このプロジェクトの目的は、モンゴル助産師協会と日本助産師会の協力を通じて、モンゴル・日本の助産支援サービスの現状を盛り込んだビデオ動画を作成し、ビデオ動画に基づいたオンライン協議を行い、両国の文化の違いを相互理解すること、助産支援サービスの質を高め、助産師と助産師専門で学んでいる学生たちの教育に貢献することです。



JICA との協力状況

同協会は 2022 年から JICA の「医師と看護師の卒後研修強化プロジェクト」で協力することが決まっており、2021 年 12 月 16 日に「助産師の私たちに直面している問題、助産師の未来を見る」テーマで協議会を開催しました。



団体名	レインボーチルドレン
設立年	2021 年
住所	ウランバートル市スフバートル区第1 ホロー、太陽通り 60-84
電話番号	976-99010190
E-mail	<a href="mailto:Info@rainbow-children.mn">Info@rainbow-children.mn</a>
URL/Facebook	<a href="http://www.rainbow-children.mn">www.rainbow-children.mn</a> <a href="https://www.facebook.com/MongolianMaternityMark">https://www.facebook.com/MongolianMaternityMark</a>
代表者名	M. バヤルジャルガル
活動内容	レインボーチルドレンの基本目的は、母と子どもの健康促進と、母と子どもに優しい環境づくりに貢献することです。 活動内容：  1. マタニティマークモンゴル版を普及させるために、情報、広報活動を行う。 2. 妊産婦と思春期の子どもたちのメンタルケアを目的とした心理カウンセリング、相談活動。
日本・各国との協力状況	International Community Club <a href="http://www.icc-npo.com">www.icc-npo.com</a>
JICA との協力状況	



## 第5章 関連機関連絡先

### モンゴル国家登録局

住所：ウランバートル市スフバートル区第11ホロー警察ストリート

電話：976—1800—1890

E-mail：[contact@burtgel.gov.mn](mailto:contact@burtgel.gov.mn)

就業時間：月～金 8：30～17：30（昼休み12：30～13：30）

### 大蔵省

住所：ウランバートル15160、S. Danzan ストリート政府第2棟

電話：51-267468

FAX：51-267468

### 法務・内務省

住所：ウランバートル市チンゲルテイ区 B. Shirendev ストリート8/4 政府第5棟

電話：976-51-267533

FAX：976-51-267533

E-mail：[info@mojha.gov.mn](mailto:info@mojha.gov.mn)

### 外務省

住所：ウランバートル14210、平和大通り7A

電話：976-70082222

FAX：976-11-322127

E-mail：[info@mfa.gov.mn](mailto:info@mfa.gov.mn)

### 外国人管理局

住所：ウランバートル市ハンウール区第21ホローボヤントオハー

電話：976-1800-1882

FAX：976-7013-3458

E-mail：[visasection@immigration.gov.mn](mailto:visasection@immigration.gov.mn)

HP：[immigration.gov.mn](http://immigration.gov.mn)

### 在モンゴル日本国大使館

私書箱：Embassy of Japan in Mongolia

Elchingiin gudamj10, Ulaanbaatar14210

Central P. O. Box1011

電話：976-11-320777

E-mail：[protocol-section@ul.mofa.go.jp](mailto:protocol-section@ul.mofa.go.jp)

### **JICA モンゴル事務所**

住所：ウランバートル市スフバートル区3ボディタワー7階

私書箱：Central P. O. Box682, Ulaanbaatar15160, MONGOLIA

電話：976-11-312393, 311329

FAX：976-11-310845

E-mail：[mg\\_oso\\_rep@jica.go.jp](mailto:mg_oso_rep@jica.go.jp)

Web：[www.jica.go.jp/Mongolia/index.html](http://www.jica.go.jp/Mongolia/index.html)

FB：JICA Mongolia

YouTube：JICA Mongolia-YouTube

### **在日モンゴル国大使館**

住所：〒150-0047 東京都渋谷区神山町21-4

電話：03-3469-2088

FAX：03-3469-2216

E-mail：[tokyo@mfa.gov.mn](mailto:tokyo@mfa.gov.mn)

## 第6章 モンゴルにおける草の根技術協力案件一覧

モンゴル国における草の根技術協力事業実績（2022年2月時点）

草の根協力支援型			
No	実施期間	案件名	実施団体
1	2022年3月～2025年3月	二つのモデル公立学校を対象にした学校歯科検診の仕組みプロジェクト	特定非営利活動法人健康都市活動支援機構
2	2021年5月～2023年2月	モンゴルにおける牧草飼料生産にかかる農作業請負組織化促進事業	十勝農業機械協議会
3	2018年7月～2020年12月	モンゴル国における妊婦健康管理に関する指導能力及び助産技術強化プロジェクト	医療法人葵鐘会
4	2017年10月～2019年5月	モンゴル国乳幼児のむし歯予防	徳島モンゴル医療交流協会
5	2016年9月～2019年8月	モンゴル障害児療育・教育支援及び療育関係者の育成事業	特定非営利活動法人ニンジン
6	2015年8月～2018年8月	モンゴル国ダルハンオール県における生活習慣病に対する保健・医療改善事業	社会福祉法人水戸済生会総合病院
7	2013年11月～2015年9月	モンゴル国寒冷地における建設工事の安全施工管理技術の向上プロジェクト	一般財団法人北海道建設技術センター、一般社団法人北海道建設業協会
8	2014年1月～2016年3月	先天性股関節脱臼ハイリスク児の育児指導	公立大学法人札幌市立大学
9	2011年6月～2014年5月	ウランバートル市における野菜栽培によるゲル地区住民の生活改善プロジェクト	埼玉大学
10	2011年6月～2013年9月	モンゴル国バヤンホンゴル県における農業自給体制の実現をめざす農業指導者の育成事業	特定非営利活動法人農業塾風のがっこう
11	2009年10月～2011年3月	日本伝統治療（柔道整復術）普及事業	社団法人東京柔道接骨師会
12	2009年6月～2012年3月	モンゴルの羊毛を活用した手編み物生産に関する技術支援プロジェクト	仙台いぐね研究会

13	2008年9月～2011年8月	モンゴル国・バガノール区住民による植林事業及びエコロジー学習の自立運営体制の構築	東アジア環境協働行動よこはま
14	2004年12月～2006年11月	バガヌール区生活環境整備(生活道路の舗装)	一般社団法人国際建設技術協会
15	2004年5月～2005年3月	バガヌール地区振興の為の野菜栽培と栄養改善事業	特定非営利活動法人日本モンゴル農業交流協会
16	2003年10月～2004年9月	モンゴル国一村一品運動地域活性化推進事業	財団法人大分県国際交流センター

草の根パートナー型			
No	実施期間	案件名	実施団体
1	2020年10月～2025年10月	新ブランド作物(玉ねぎ)による農家の収入向上—フードバリューチェーンの構築—	一般社団法人滝川国際交流協会
2	2019年3月～2021年12月	地方での生計維持を目指した養蜂振興プロジェクト	公益社団法人国際農林業協働協会
3	2018年9月～2022年8月	モンゴルにおける子どもの権利・保護法成立後の要保護児童支援制度定着化支援事業	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
4	2018年8月～2023年2月	モンゴルにおける地方小学校教員の質の向上—地域性に即したICTを活用した教材開発を通じて	国立大学法人東京工業大学
5	2017年10月～2022年9月	モンゴル・ホブド県における地球環境変動に伴う大規模自然災害への防災啓発プロジェクト	国立大学法人東海国立大学機構(国立大学法人名古屋大学)
6	2017年7月～2019年5月	モンゴル介護人材育成プロジェクト	特定非営利活動法人ワークフェア
7	2015年9月～2019年8月	思春期からの健康なライフスタイル構築のための持続可能な仕組みづくりプロジェクト—性感染症と不適切な妊娠を予防し、豊かな自己実現をめざして—	学校法人自治医科大学
8	2015年4月～2018年4月	養蜂振興による所得向上プロジェクト	公益社団法人国際



		ト	農林業協働協会
9	2015年5月～2018年4月	モンゴルにおける要保護児童支援制度の改善および強化支援事業	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
10	2012年3月～2017年3月	モンゴルにおける地方小学校教員の質の向上—地域性に即した ICT を活用した教材開発を通じて	東京工業大学
11	2011年9月～2016年8月	日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト	公益社団法人日本柔道整復師会
12	2008年10月～2011年9月	子どもの権利実現のための暴力のない公平な教育環境推進事業	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
13	2007年12月～2010年12月 2011年3月～2013年3月	雇用機会を創出するための住民参加型生活道路整備の技術移転事業 フォローアップ:ゲル地区住民による生活道路整備事業の自立事業化支援事業	社団法人国際建設技術協会
14	2008年1月～2010年12月 2011年1月～2012年12月	ボルガン県ボルガン市第3地区における「母と子のための」地域ぐるみ健康町づくりプロジェクト フォローアップ:ボルガン県ボルガン市第3地区における「母と子のための」地域ぐるみ健康町づくりプロジェクト	公益財団法人国際看護交流協会
15	2006年2月～2009年1月	モンゴル国獣医サービス提供システム再構築プロジェクト	有限会社アイエムジー

地域活性化型			
No	実施期間	案件名	実施団体
1	実施前	路床の凍上性に着目したモンゴル国ウランバートル市内における生活道路の質的向上に向けたプロジェクト	北見国際技術協力推進会議
2	2021年10月～2024年10月	東ゴビ砂漠における深穴方式による乾燥寒冷地緑化推進技術協力事業	特定非営利活動法人新潟県対外科学技術交流協会
3	2021年10月	モンゴル国ドルノゴビ県の官民連携	静岡県

	～2024年3月	による未処理污水改善プロジェクト	
4	2018年6月～2022年2月	塵肺症および石綿（アスベスト）曝露による呼吸器疾患の早期診断能力の向上プロジェクト	特定非営利活動法人総合遠隔医療支援機構
5	2016年12月～2019年11月	北海道滝川市発—地方農民の収入向上を目指したアグリビジネス振興プロジェクト（高付加価値作物の生産と新しい農産加工品開発）	一般社団法人滝川国際交流協会
6	2016年12月～2019年12月	モンゴル国生活習慣病予防と患者のセルフケア能力向上のための看護職人材育成事業	北見国際技術協力推進協議会
7	2016年1月～2018年12月	ウランバートル市送配水機能改善協力事業	公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター
8	2016年3月～2019年3月	農産物等の流通改善および土壌改良による農業者の収益向上事業	一般社団法人北海道中小企業家同友会とかち支部
9	2015年11月～2018年3月	ドルノゴビ県の下水道運営能力向上プロジェクト	静岡県
10	2014年10月～2017年3月	寒冷地における道路工事の品質確保プロジェクト	旭川市国際交流委員会
11	2014年～（終了）	寒冷地における地域医療と保健衛生	北見国際技術協力推進会議（日赤北海道看護大学）
12	2014年12月～2017年3月	モンゴル国ウランバートル市地区排水技術協力事業	（特活）新潟県対外科学技術交流協会
13	2013年8月～2016年3月	ウランバートル消防技術支援事業	ウランバートル消防技術支援事業実行委員会
14	2014年1月～2016年12月	再生可能エネルギー（地中熱）省エネ施設園芸による野菜生産技術支援事業	空知エコ普及環づくり協議会
15	2014年2月～2017年1月	畜産糞尿利用による循環型農業の確立および環境保全事業	（株）エコ・エネルギーシステム
16	2014年2月～2016年6月	農産物の安定供給のための貯蔵技術	（一社）北海道中

		改善・普及プロジェクト	小企業家同友会と かち支部
17	2013年9月～2016年9月	サインシャンド工業団地緑化と自生種の苗木生産による地域振興協力事業	新潟県モンゴル緑化推進技術協力実行委員会
18	2013年6月～2016年3月	ウランバートル市植林技術支援事業	蒼いウランバートル技術支援実行委員会
19	2013年4月～2016年3月	ウランバートル市ゲル地区住民に対する地域保健活動のための看護職人材育成事業	北見国際技術協力推進会議
20	2011年6月～2014年3月	寒冷地における都市開発技術改善事業	旭川市国際交流委員会
21	2010年7月～2013年3月	新潟県・ウランバートル市道路排水計画技術協力事業	新潟県モンゴル技術協力推進実行委員会
22	2010年5月～2013年2月	モンゴル中央県・中央病院における人残布の健康管理向上プロジェクト～妊娠高血圧症候群の「予防」「発見」「治療」の技術移転～	鳥取県
23	2008年5月～2008年11月	牛乳及び乳製品製造技術の普及	南日本酪農協同株式会社
24	2007年4月～2008年3月	感染症のサーベイランスのための検査システムと情報の収集解析システムに関する研修	神奈川県衛生研究所
25	2007年8月～2008年12月	モンゴル国乾燥地緑化リーダー育成事業	NPO モンゴル緑化日本協会
26	2006年～（終了）	モンゴルの知的資源である新規乳酸菌の開発技術の普及	南日本酪農協同株式会社
27	2006年7月～2006年10月	モンゴル国・バヤンホンゴル県における地域活性化パイロット事業	NPO 法人・大分一村一品国際交流推進協会
28	2005年～（終了）	堆肥化施設管理・運営経理指導	鳥取県モンゴル中央県親善協会
29	2004年～（終了）	公害対策・環境保全に関する技術研修	福岡県保健環境研究所

30	2004年～（終了）	モンゴル中央県野菜生産指導及び堆肥生産技術・流通指導専門家派遣	鳥取県モンゴル中央県親善協会
31	2004年～（終了）	産業の変遷と地域振興	北見国際技術協力推進会議
32	2004年～（終了）	寒冷地における地域医療と保健衛生	北見国際技術協力推進会議
33	2004年3月～2005年1月	内科・産婦人科診断技術	鳥取県
34	2003年～（終了）	堆肥生産技術および野菜生産技術専門家派遣	鳥取県モンゴル中央県親善協会

出典：[国別事業一覧【モンゴル】](#) | [市民参加](#) | [事業・プロジェクト](#) - JICA